

平成28年度

京都府民歯科保健実態調査報告書



平成29年3月

京都府 健康福祉部 健康対策課

目 次

I	調査の概要	
1	調査の目的	1
2	調査対象者	1
3	調査期間	1
4	調査内容	1
5	実施主体	1
6	実施方法	1
II	調査結果	
1	被調査者数	3
2	口腔診査	5
	(1) 歯の状況	5
	(2) 欠損補綴の状況	15
	(3) 歯肉の状況	17
	(4) 口腔清掃状態	29
	(5) 顎関節の異常	30
3	アンケート調査	31
III	「京都府歯と口の健康づくり基本計画」評価	56
1	「京都府歯と口の健康づくり基本計画」の概要	56
2	平成28年度京都府民歯科保健実態調査からみる歯科口腔保健の現状	58
IV	平成28年度京都府民歯科保健実態調査検討会設置要領	60
V	調査の実施	61
1	診査基準	61
2	調査票記入方法	64
	(1) 様式1 口腔診査票	67
	(2) 様式2 アンケート調査票	68

I 調査の概要

1 調査目的

府民の歯科保健に関する実態を把握することにより、今後の京都府における「8020運動」の推進に必要な基礎資料とする。

2 調査対象者

20歳以上の府民（京都市を除く25市町村在住者）

- 1) 歯科医院受診者
- 2) 市町村健診受診者
 - ・市町村実施イベントにおける成人歯科健診（舞鶴市）
 - ・市町村実施成人歯科健診（京丹波町）

3 調査期間

平成28年9月～11月

4 調査内容

（1）口腔診査

- 1) 現在歯数
- 2) 喪失歯及びその補綴状況
- 3) 歯肉の状況
- 4) 口腔清掃状態
- 5) 顎関節の異常 等

（2）アンケート調査

- 1) 歯科疾患の予防の状況
- 2) 義歯の使用状況 等

5 実施主体

京都府

6 実施方法

- （1）有識者（歯科関係団体、歯科教育機関、行政関係者）等で構成する検討会を設置（事務局：京都府健康福祉部健康対策課）し、調査方法及び集計・分析、報告書の作成について検討する。

(2) 調査については、一般社団法人京都府歯科医師会に委託及び市町村の協力により行う。

Ⅱ 調査結果

1 被調査者数

被調査者数の総数は1,545名となっており、内訳としては男性が566名(36.6%)、女性が975名(63.1%)となっている。

【表1 性別・年齢別 被調査者数】

	平成28年度				平成23年度			平成18年度		
	全体	男性	女性	不明	全体	男性	女性	全体	男性	女性
20歳代	142	51	91	0	178	50	128	212	70	142
30歳代	209	82	126	1	269	77	192	487	154	332
40歳代	270	89	181	0	254	87	167	252	112	138
50歳代	260	95	163	2	259	82	177	309	105	201
60歳代	346	130	216	0	361	143	218	238	87	149
70歳代	247	95	152	0	275	114	161	160	77	81
80歳以上	68	23	44	1	69	24	45	59	15	44
不明	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,545	566	975	4	1,665	577	1,088	1,717	620	1,087

◆保健所圏域別被調査者数

【表2 保健所圏域別・性別・年齢別 被調査者数】

		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
全体	乙訓	7	26	36	29	56	39	9	0	202
	山城北	52	60	92	85	99	67	22	2	479
	山城南	11	27	27	16	27	11	4	0	123
	南丹	29	26	36	37	38	30	7	0	203
	中丹西	9	22	25	21	14	8	1	0	100
	中丹東	21	32	38	50	90	65	16	1	313
	丹後	13	16	16	22	22	27	9	0	125
	合計	142	209	270	260	346	247	68	3	1,545
男性	乙訓	2	9	14	10	18	13	5	0	71
	山城北	17	24	28	31	37	28	6	1	172
	山城南	5	12	8	3	14	5	2	0	49
	南丹	9	12	11	16	15	12	2	0	77
	中丹西	4	3	8	9	7	5	0	0	36
	中丹東	9	14	9	19	29	23	5	0	108
	丹後	5	8	11	7	10	9	3	0	53
	合計	51	82	89	95	130	95	23	1	566
女性	乙訓	5	17	22	19	38	26	4	0	131
	山城北	35	35	64	53	62	39	15	1	304
	山城南	6	15	19	13	13	6	2	0	74
	南丹	20	14	25	20	23	18	5	0	125
	中丹西	5	19	17	12	7	3	1	0	64
	中丹東	12	18	29	31	61	42	11	1	205
	丹後	8	8	5	15	12	18	6	0	72
	合計	91	126	181	163	216	152	44	2	975

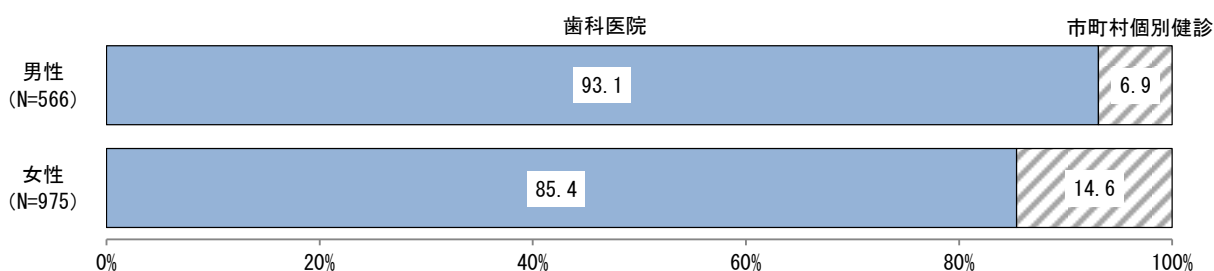
◆ 調査場所別データ

【表3 性別・年齢別 調査場所別データ】

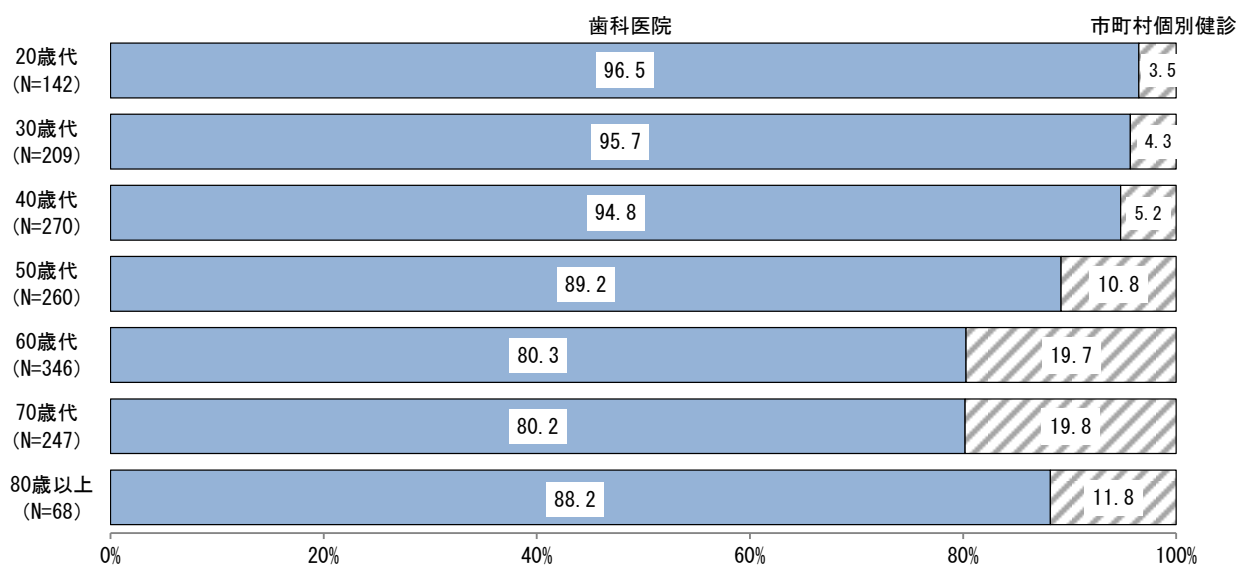
	歯科医院	市町村 個別健診	合計
男性	527 93.1%	39 6.9%	566 100.0%
女性	833 85.4%	142 14.6%	975 100.0%
不明	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%
合計	1,364 88.3%	181 11.7%	1,545 100.0%

	歯科医院	市町村 個別健診	合計
20歳代	137 96.5%	5 3.5%	142 100.0%
30歳代	200 95.7%	9 4.3%	209 100.0%
40歳代	256 94.8%	14 5.2%	270 100.0%
50歳代	232 89.2%	28 10.8%	260 100.0%
60歳代	278 80.3%	68 19.7%	346 100.0%
70歳代	198 80.2%	49 19.8%	247 100.0%
80歳以上	60 88.2%	8 11.8%	68 100.0%
不明	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%
合計	1,364 88.3%	181 11.7%	1,545 100.0%

【図1 性別 調査場所別データ】



【図2 年齢別 調査場所別データ】



2 口腔診査

(1) 歯の状況

1) 一人平均健全歯数

一人平均健全歯数は、全体で 12.6 本となっており、前回 (12.4 本) に比べて 0.2 本多い。

年齢別にみると、前回に比べて 20 歳代では 0.2 本少なくなっているものの、30 歳代以上ではいずれも多くなっており、特に 30 歳代・40 歳代ではともに 1 本増加している。

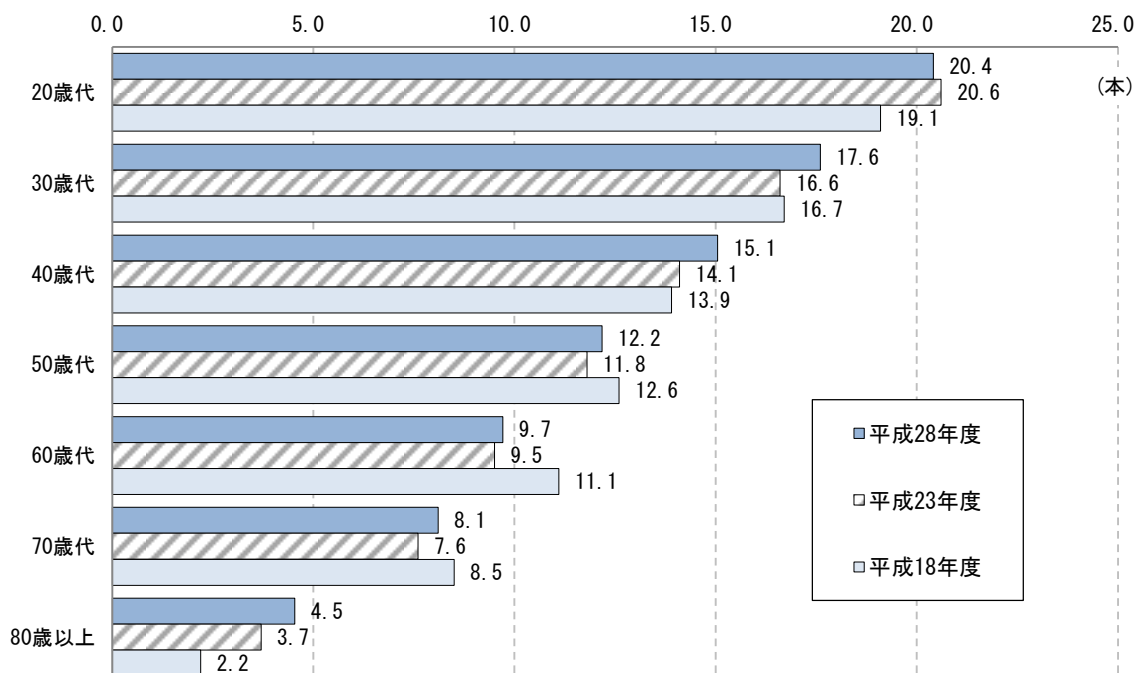
【表 4 性別・年齢別 一人平均健全歯数】

	平成28年度			平成23年度			平成18年度		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
20歳代	20.4	20.2	20.5	20.6	19.9	21.0	19.1	18.6	19.4
30歳代	17.6	17.7	17.5	16.6	16.6	16.6	16.7	17.0	16.5
40歳代	15.1	16.3	14.4	14.1	14.3	14.1	13.9	14.2	13.8
50歳代	12.2	13.5	11.3	11.8	12.5	11.5	12.6	14.3	11.6
60歳代	9.7	10.6	9.2	9.5	11.2	8.4	11.1	12.3	10.4
70歳代	8.1	7.8	8.3	7.6	7.7	7.5	8.5	9.9	7.2
80歳以上	4.5	5.1	4.3	3.7	4.3	3.4	2.2	5.1	1.2
全体	12.6	13.2	12.3	12.4	12.3	12.4	13.8	14.4	13.5

【表 5 年齢別・保健所圏域別 一人平均健全歯数】

	乙訓		山城北		山城南		南丹		中丹西		中丹東		丹後	
	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値
20歳代	7	22.7	52	19.3	11	22.3	29	19.9	9	26.4	21	22.5	13	15.9
30歳代	26	16.0	60	16.7	27	17.2	26	19.0	22	21.6	32	18.6	16	14.7
40歳代	36	16.6	92	14.2	27	14.8	36	15.8	25	17.0	38	15.1	16	12.3
50歳代	29	12.4	85	11.1	16	12.9	37	12.1	21	15.0	50	13.3	22	10.5
60歳代	56	11.1	99	8.0	27	9.4	38	9.5	14	13.4	90	10.4	22	9.1
70歳代	39	8.3	67	7.6	11	11.2	30	5.3	8	11.6	65	8.9	27	7.9
80歳以上	9	7.1	22	4.6	4	3.8	7	4.4	1	2.0	16	4.8	9	2.1
全体	202	12.6	479	11.9	123	13.9	203	13.0	100	17.3	313	12.5	125	10.4

【図 3 年齢別・経年 一人平均健全歯数】



2) 一人平均未処置歯数

一人平均未処置歯数は、全体で1.2本となっており、前回と同じ値となっている。

年齢別にみると、男性では20歳代で3.1本、30歳代で2.2本と多くなっている。一方、女性では20歳代で2.8本と最も多く、前回(1.6本)と比べて1.2本増加している。

性別にみると、60歳代を除く各世代において、女性より男性のほうが未処置歯が多い。

口腔清掃状態別にみると、状態が良いほど処置完了者が多くなる傾向にある。

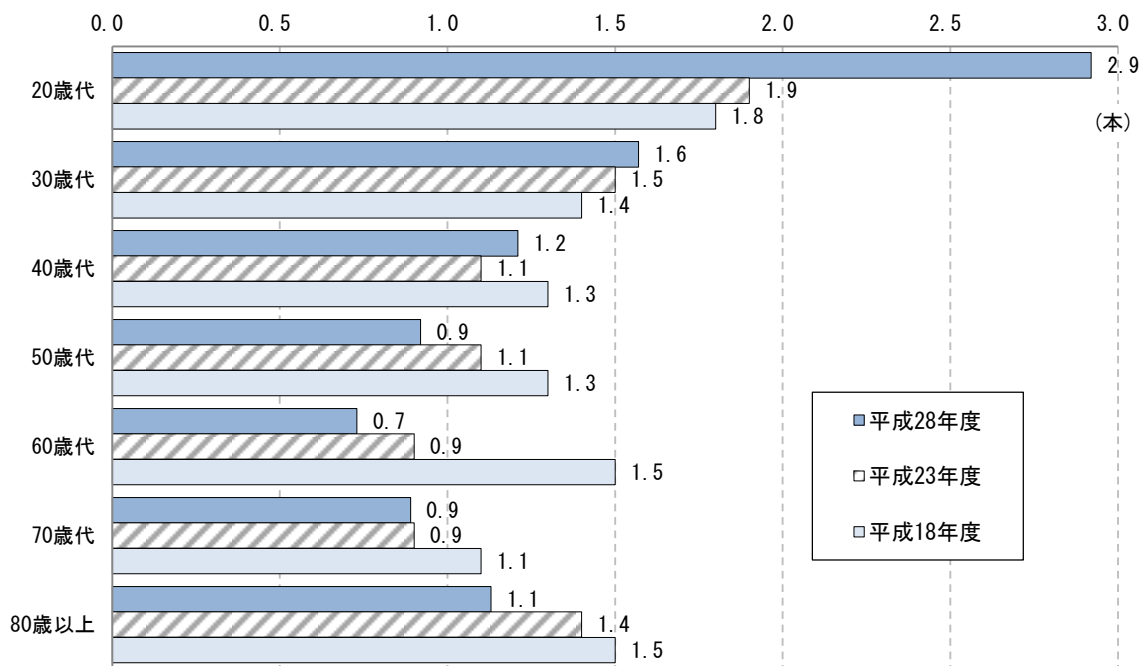
【表6 性別・年齢別 一人平均未処置歯数】

	平成28年度			平成23年度			平成18年度		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
20歳代	2.9	3.1	2.8	1.9	2.8	1.6	1.8	2.5	1.4
30歳代	1.6	2.2	1.2	1.5	2.5	1.1	1.4	2.0	1.1
40歳代	1.2	1.5	1.1	1.1	1.1	1.1	1.3	1.6	1.1
50歳代	0.9	1.2	0.8	1.1	1.4	1.0	1.3	1.1	1.4
60歳代	0.7	0.6	0.8	0.9	0.9	0.9	1.5	1.9	1.3
70歳代	0.9	1.2	0.7	0.9	0.8	0.9	1.1	1.3	1.0
80歳以上	1.1	1.8	0.8	1.4	2.0	1.1	1.5	2.4	1.2
全体	1.2	1.4	1.1	1.2	1.4	1.1	1.4	1.7	1.2

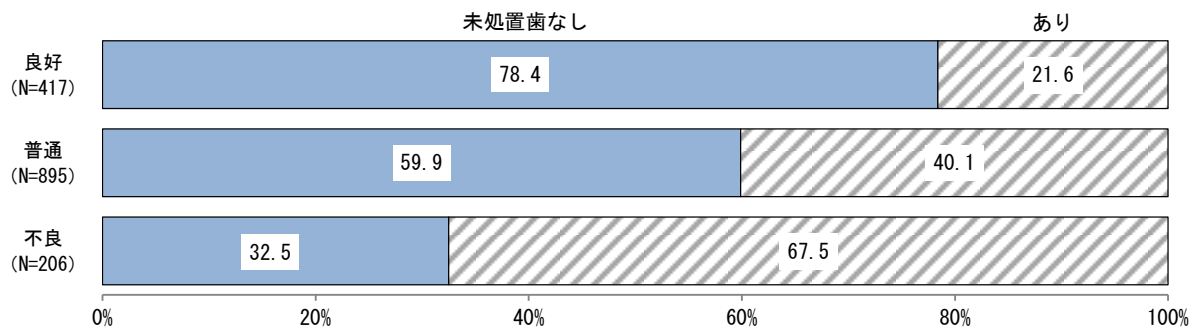
【表7 年齢別・保健所圏域別 一人平均未処置歯数】

	乙訓		山城北		山城南		南丹		中丹西		中丹東		丹後	
	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値
20歳代	7	1.1	52	3.6	11	2.3	29	3.9	9	0.2	21	1.0	13	4.8
30歳代	26	0.5	60	2.3	27	1.3	26	1.3	22	0.6	32	1.5	16	3.1
40歳代	36	1.2	92	1.0	27	1.7	36	1.3	25	0.5	38	0.8	16	3.6
50歳代	29	0.6	85	1.1	16	1.6	37	0.9	21	0.5	50	0.9	22	0.7
60歳代	56	0.5	99	0.8	27	1.2	38	0.4	14	0.4	90	0.5	22	2.4
70歳代	39	0.7	67	0.8	11	0.9	30	0.9	8	0.5	65	0.7	27	2.0
80歳以上	9	0.4	22	0.7	4	0.5	7	1.6	1	0.0	16	1.1	9	2.9
全体	202	0.7	479	1.4	123	1.4	203	1.4	100	0.5	313	0.8	125	2.5

【図4 年齢別・経年 一人平均未処置歯数】



【図5 口腔清掃状態別 未処置歯の有無】



3) 一人平均処置歯数

一人平均処置歯数は、全体で 11.3 本となっており、前回 (11.1 本) に比べて 0.2 本多い。

年齢別にみると、男性では 60 歳代で 11.6 本、女性では 50 歳代で 14.3 本とそれぞれ最も多くなっている。また、前回と比べると、80 歳以上において男性で 3.9 本、女性で 4.7 本増加している。

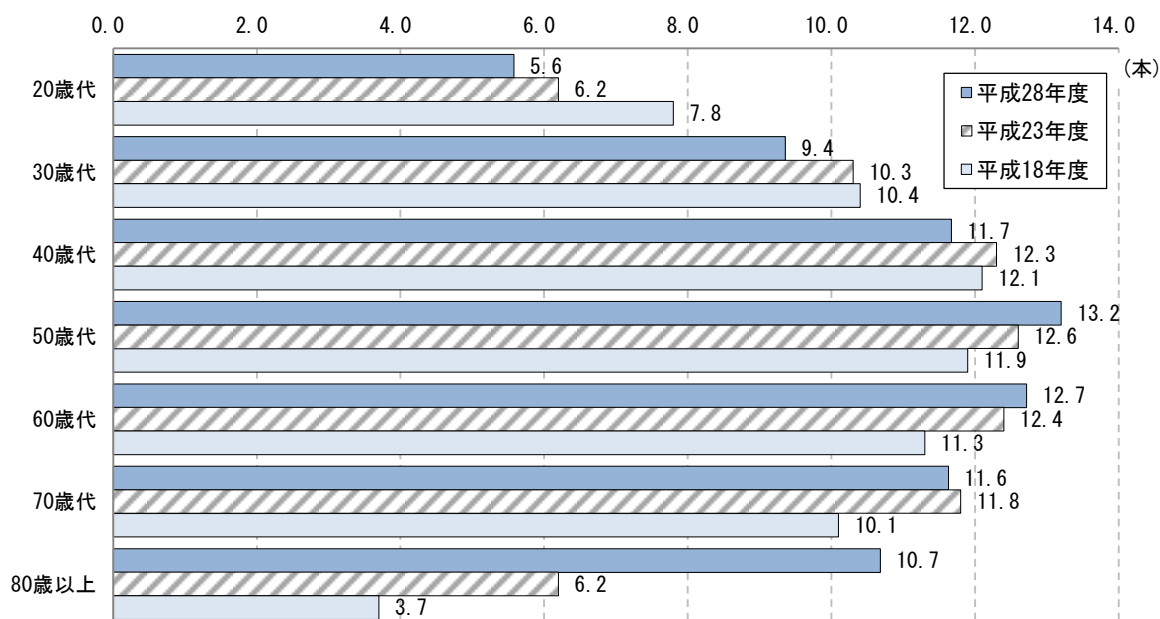
【表 8 性別・年齢別 一人平均処置歯数】

	平成28年度			平成23年度			平成18年度		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
20歳代	5.6	5.9	5.4	6.2	6.3	6.2	7.8	7.8	7.8
30歳代	9.4	9.0	9.7	10.3	9.7	10.5	10.4	9.5	10.8
40歳代	11.7	10.2	12.4	12.3	12.2	12.3	12.1	11.3	12.8
50歳代	13.2	11.5	14.3	12.6	11.3	13.3	11.9	10.1	12.8
60歳代	12.7	11.6	13.4	12.4	11.4	13.1	11.3	8.9	12.7
70歳代	11.6	10.4	12.4	11.8	11.0	12.3	10.1	9.2	10.6
80歳以上	10.7	9.9	11.0	6.2	6.0	6.3	3.7	7.1	2.5
全体	11.3	10.2	11.9	11.1	10.5	11.4	10.5	9.6	10.9

【表 9 年齢別・保健所圏域別 一人平均処置歯数】

	乙訓		山城北		山城南		南丹		中丹西		中丹東		丹後	
	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値
20歳代	7	5.1	52	6.3	11	4.8	29	5.3	9	3.2	21	5.1	13	6.6
30歳代	26	11.9	60	9.4	27	10.7	26	8.2	22	6.7	32	8.4	16	10.4
40歳代	36	10.6	92	12.4	27	11.6	36	11.5	25	11.2	38	11.3	16	12.1
50歳代	29	13.6	85	14.1	16	12.6	37	13.8	21	11.1	50	12.4	22	12.3
60歳代	56	11.9	99	13.2	27	12.1	38	13.9	14	11.7	90	12.6	22	12.3
70歳代	39	13.6	67	12.0	11	10.7	30	11.6	8	10.5	65	10.7	27	10.9
80歳以上	9	10.2	22	10.6	4	10.0	7	12.3	1	23.0	16	9.0	9	12.0
全体	202	11.9	479	11.7	123	10.9	203	11.1	100	9.6	313	10.9	125	11.1

【図 6 年齢別・経年 一人平均処置歯数】



4) 一人平均現在歯数

一人平均現在歯数は、全体で 25.1 本となっており、前回 (24.6 本) に比べて 0.5 本多い。

年齢別にみると、いずれの年齢層も増加傾向にあり、特に 80 歳以上で 5.1 本増加 (前回 11.3 本→今回 16.4 本) となっている。

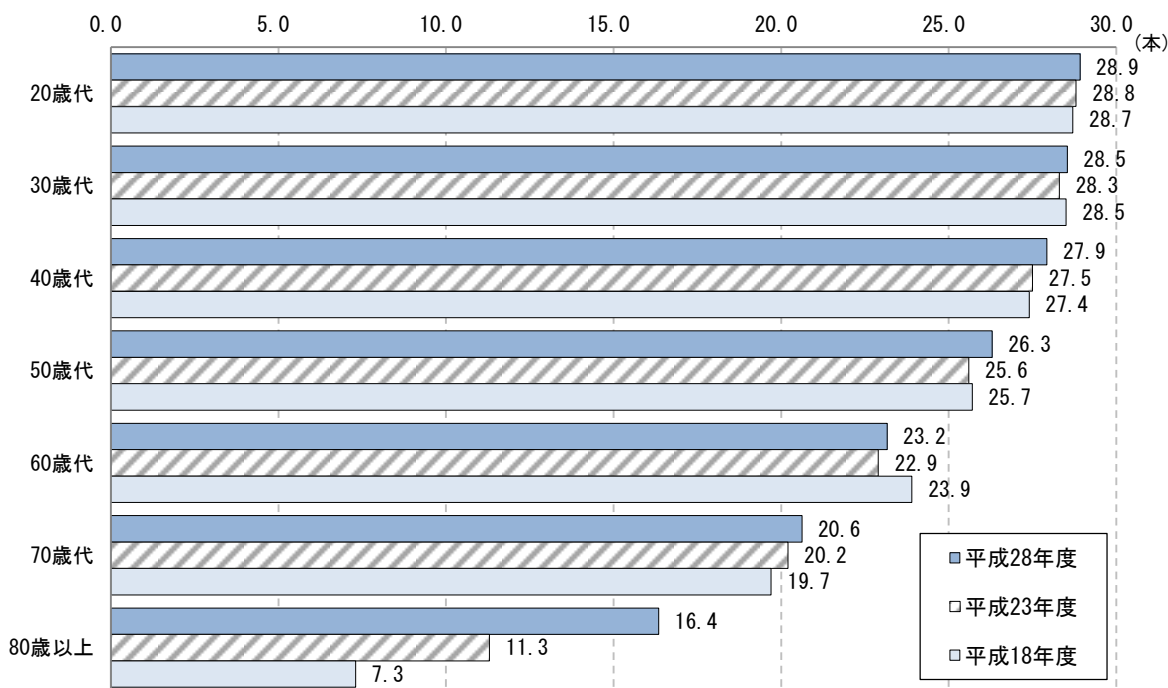
【表 10 性別・年齢別 一人平均現在歯数】

	平成28年度			平成23年度			平成18年度		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
20歳代	28.9	29.3	28.7	28.8	28.9	28.8	28.7	29.0	28.6
30歳代	28.5	28.8	28.4	28.3	28.7	28.2	28.5	28.6	28.5
40歳代	27.9	28.0	27.9	27.5	27.5	27.5	27.4	27.1	27.6
50歳代	26.3	26.2	26.4	25.6	25.2	25.8	25.7	25.5	25.8
60歳代	23.2	22.8	23.4	22.9	23.5	22.5	23.9	23.1	24.4
70歳代	20.6	19.4	21.4	20.2	19.5	20.7	19.7	20.5	18.7
80歳以上	16.4	16.7	16.1	11.3	12.3	10.8	7.3	14.6	4.8
全体	25.1	24.8	25.2	24.6	24.3	24.8	25.7	25.7	25.7

【表 9 年齢別・保健所圏域別 一人平均現在歯数】

	乙訓		山城北		山城南		南丹		中丹西		中丹東		丹後	
	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値
20歳代	7	29.0	52	29.1	11	29.4	29	29.0	9	29.9	21	28.7	13	27.2
30歳代	26	28.4	60	28.4	27	29.1	26	28.5	22	28.8	32	28.5	16	28.1
40歳代	36	28.4	92	27.6	27	28.1	36	28.6	25	28.7	38	27.1	16	27.9
50歳代	29	26.6	85	26.4	16	27.1	37	26.8	21	26.5	50	26.5	22	23.5
60歳代	56	23.5	99	22.1	27	22.7	38	23.8	14	25.5	90	23.5	22	23.7
70歳代	39	22.6	67	20.4	11	22.8	30	17.8	8	22.6	65	20.4	27	20.7
80歳以上	9	17.8	22	15.9	4	14.3	7	18.3	1	25.0	16	14.9	9	17.0
全体	202	25.2	479	24.9	123	26.2	203	25.5	100	27.4	313	24.2	125	24.0

【図7 年齢別・経年 一人平均現在歯数】



無歯顎者（現在歯数が0本の者）は、50歳代以上で見られ、全体で14人となっている。

【表12 性別・年齢別 無歯顎者の状況】

	全体			男性			女性		
	総数 (人)	無歯顎者 (人)	構成比	総数 (人)	無歯顎者 (人)	構成比	総数 (人)	無歯顎者 (人)	構成比
20歳代	142	0	0.0%	51	0	0.0%	91	0	0.0%
30歳代	209	0	0.0%	82	0	0.0%	126	0	0.0%
40歳代	270	0	0.0%	89	0	0.0%	181	0	0.0%
50歳代	260	1	0.4%	95	1	1.1%	163	0	0.0%
60歳代	346	3	0.9%	130	2	1.5%	216	1	0.5%
70歳代	247	5	2.0%	95	4	4.2%	152	1	0.7%
80歳以上	68	5	7.4%	23	1	4.3%	44	4	9.1%
全体	1545	14	0.9%	566	8	1.4%	975	6	0.6%

<歯と口の健康づくりに関する目標項目>

	目標値	今回調査結果
60歳（55～64歳）で24本以上の歯を有する者の割合	75%	73.3%
80歳（75～84歳）で20本以上の自分の歯を有する者の割合	55%	58.3%

5) 一人平均喪失歯数

一人平均喪失歯数は、全体で3.6本となっており、前回(4.1本)に比べて0.5本少ない。

年齢別にみると、20歳代を除くいずれの年齢層も減少傾向にあり、特に80歳以上で5.1本減少(前回17.1本→今回12.0本)となっている。

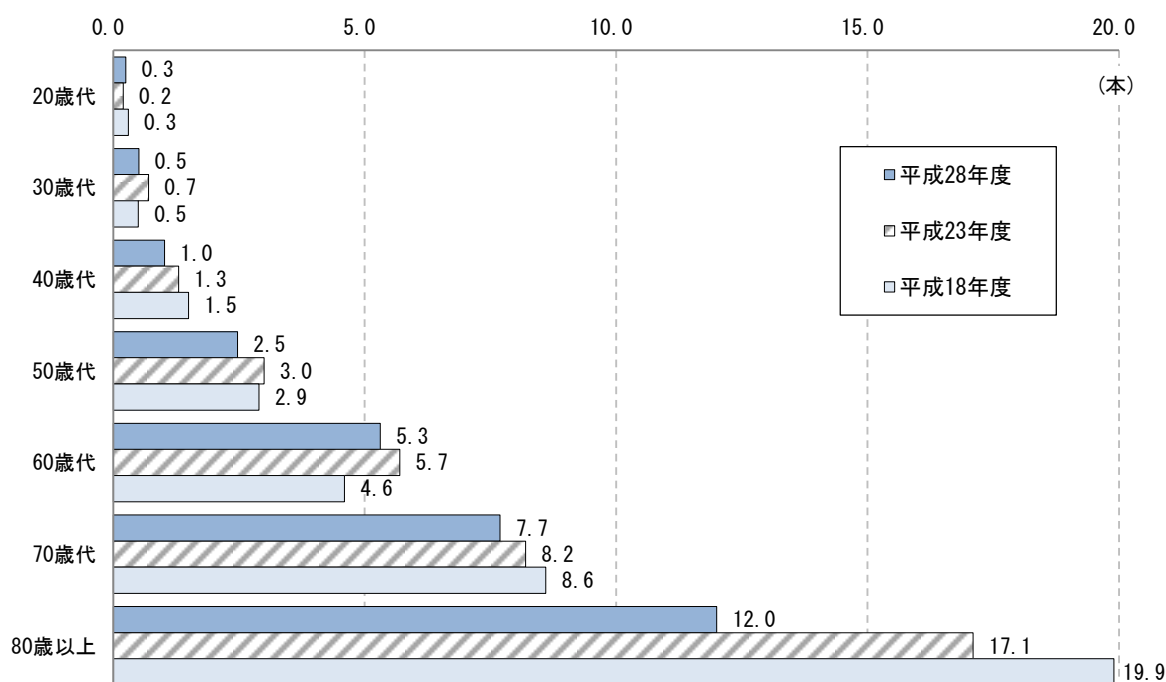
【表13 性別・年齢別 一人平均喪失歯数】

	平成28年度			平成23年度			平成18年度		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
20歳代	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3
30歳代	0.5	0.3	0.6	0.7	0.7	0.7	0.5	0.6	0.5
40歳代	1.0	1.2	1.0	1.3	1.4	1.2	1.5	2.0	1.1
50歳代	2.5	2.7	2.3	3.0	3.5	2.8	2.9	3.4	2.7
60歳代	5.3	5.8	5.0	5.7	5.4	5.9	4.6	5.8	4.0
70歳代	7.7	9.0	6.9	8.2	9.1	7.6	8.6	8.1	9.4
80歳以上	12.0	11.7	12.2	17.1	16.1	17.7	19.9	13.8	22.0
全体	3.6	4.0	3.4	4.1	4.6	3.8	3.1	3.3	3.0

【表14 年齢別・保健所圏域別 一人平均喪失歯数】

	乙訓		山城北		山城南		南丹		中丹西		中丹東		丹後	
	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値
20歳代	7	0.1	52	0.2	11	0.0	29	0.1	9	0.0	21	0.3	13	1.1
30歳代	26	0.7	60	0.5	27	0.4	26	0.7	22	0.6	32	0.3	16	0.8
40歳代	36	0.7	92	1.4	27	0.7	36	0.5	25	0.6	38	1.7	16	0.8
50歳代	29	2.0	85	2.4	16	1.3	37	1.8	21	2.8	50	2.5	22	5.0
60歳代	56	5.0	99	6.3	27	5.5	38	4.9	14	3.0	90	5.0	22	4.7
70歳代	39	5.6	67	8.1	11	5.4	30	10.4	8	6.5	65	7.9	27	7.6
80歳以上	9	10.6	22	12.6	4	13.8	7	10.3	1	3.0	16	13.3	9	11.3
全体	202	3.4	479	3.8	123	2.6	203	3.3	100	1.8	313	4.4	125	4.5

【図8 年齢別・経年 一人平均喪失歯数】



6) 一人平均欠損補綴歯数

一人平均欠損補綴歯数は、全体で2.7本となっており、前回(3.2本)に比べて0.5本少ない。年齢別にみると、80歳以上で9.8本と、前回(14.9本)に比べて5.1本減少している。

【表 15 性別・年齢別 一人平均欠損補綴歯数】

	平成28年度			平成23年度		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
20歳代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
30歳代	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2
40歳代	0.5	0.5	0.5	0.5	0.7	0.5
50歳代	1.6	1.8	1.5	1.9	2.1	1.8
60歳代	4.1	4.5	3.9	4.4	4.0	4.6
70歳代	6.2	7.5	5.5	7.2	8.1	6.5
80歳以上	9.8	9.4	10.0	14.9	13.2	15.8
全体	2.7	3.1	2.5	3.2	3.6	2.9

7) むし歯の状況

むし歯有病者率は、全体で97.2%となっている。

【表 16 性別・年齢別 一人平均喪失歯数】

	全体			男性			女性		
	総数(人)	むし歯有病者(人)	構成比	総数(人)	むし歯有病者(人)	構成比	総数(人)	むし歯有病者(人)	構成比
20歳代	142	125	88.0%	51	45	88.2%	91	80	87.9%
30歳代	209	207	99.0%	82	82	100.0%	126	124	98.4%
40歳代	270	268	99.3%	89	88	98.9%	181	180	99.4%
50歳代	260	256	98.5%	95	93	97.9%	163	161	98.8%
60歳代	346	342	98.8%	130	127	97.7%	216	215	99.5%
70歳代	247	240	97.2%	95	90	94.7%	152	150	98.7%
80歳以上	68	61	89.7%	23	21	91.3%	44	39	88.6%
全体	1545	1502	97.2%	566	547	96.6%	975	951	97.5%

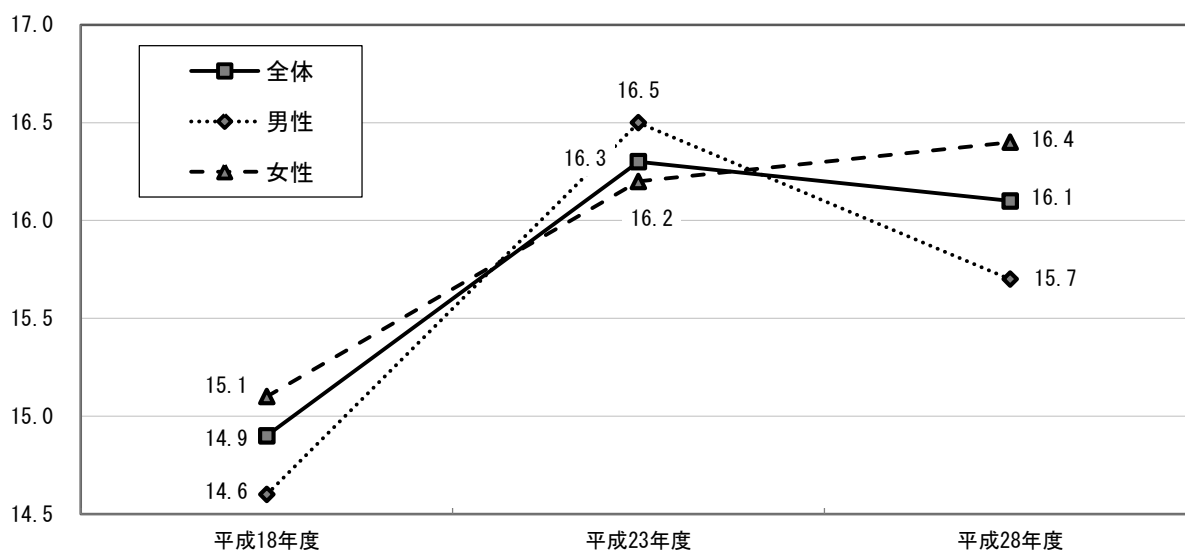
一人平均むし歯数(DMFT指数*)は全体で16.1本みられ、前回(3.2本)に比べて0.2本少ない。年齢別にみると、男性・女性ともに年齢層が高くなるほど多くなる傾向にあり、70歳代以上では20本以上となっている。

【表 17 性別・年齢別 一人平均むし歯数(DMFT指数)】

	平成28年度			平成23年度			平成18年度		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
20歳代	8.8	9.3	8.5	8.4	9.2	8.1	9.8	10.6	9.5
30歳代	11.4	11.5	11.5	12.4	12.9	12.2	12.3	12.1	12.4
40歳代	13.9	12.8	14.4	14.6	14.6	14.6	14.9	14.9	15.0
50歳代	16.6	15.4	17.4	16.8	16.3	17.0	16.1	14.6	16.9
60歳代	18.8	18.0	19.3	19.1	17.7	19.9	17.4	16.6	18.0
70歳代	20.2	20.6	20.0	20.8	20.9	20.8	19.8	18.6	20.9
80歳以上	23.8	23.4	24.0	24.7	24.1	25.1	25.1	23.3	25.6
全体	16.1	15.7	16.4	16.3	16.5	16.2	14.9	14.6	15.1

*DMFT指数：永久歯のむし歯で、未処置(Decayed)、抜去(Missing)、処置を完了(Filled)した歯数の合計の平均値

【図9 一人平均むし歯数の年次推移】

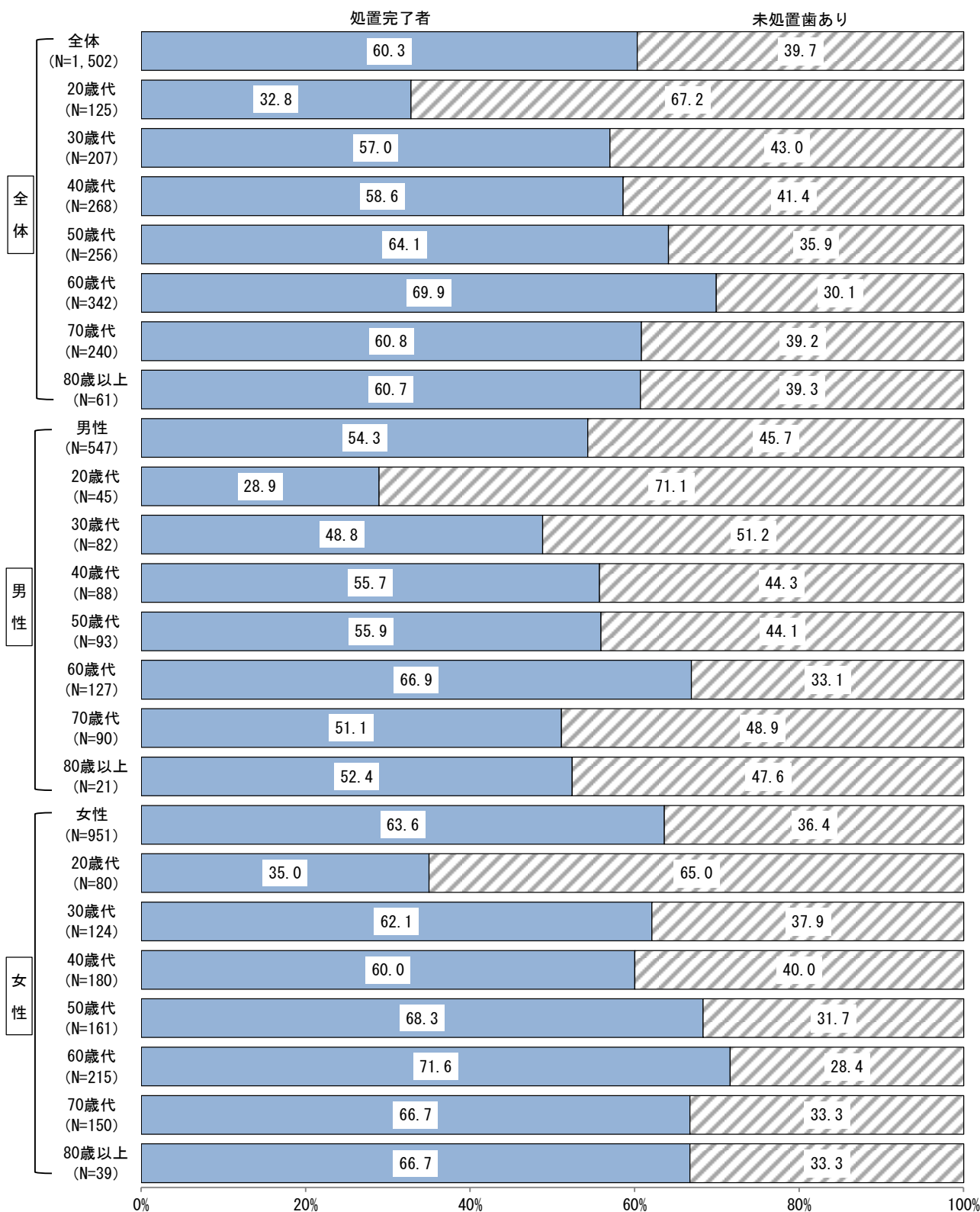


【表 18 年齢別・保健所圏域別 一人平均むし歯数 (DMFT 指数)】

	乙訓		山城北		山城南		南丹		中丹西		中丹東		丹後	
	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値
20歳代	7	6.4	52	10.0	11	7.1	29	9.3	9	3.4	21	6.4	13	12.5
30歳代	26	13.0	60	12.2	27	12.3	26	10.1	22	7.8	32	10.2	16	14.2
40歳代	36	12.5	92	14.7	27	14.0	36	13.3	25	12.2	38	13.7	16	16.4
50歳代	29	16.2	85	17.7	16	15.5	37	16.5	21	14.4	50	15.8	22	18.0
60歳代	56	17.3	99	20.3	27	18.9	38	19.2	14	15.1	90	18.1	22	19.4
70歳代	39	19.8	67	20.8	11	17.0	30	22.9	8	17.5	65	19.3	27	20.4
80歳以上	9	21.2	22	23.9	4	24.3	7	24.1	1	26.0	16	23.4	9	26.2
全体	202	16.0	479	16.9	123	14.9	203	15.8	100	11.9	313	16.2	125	18.1

むし歯の処置状況を年齢別にみると、20歳代では約7割に未処置歯を認め、性別にみると、女性は20歳代を除くいずれの年齢層も処置完了者が6割以上を占めており、60歳代(71.6%)、50歳代(68.3%)では7割前後と高い。一方、男性では60歳代で66.9%みられるものの、そのほかの年齢層は概ね5割前後となっている。

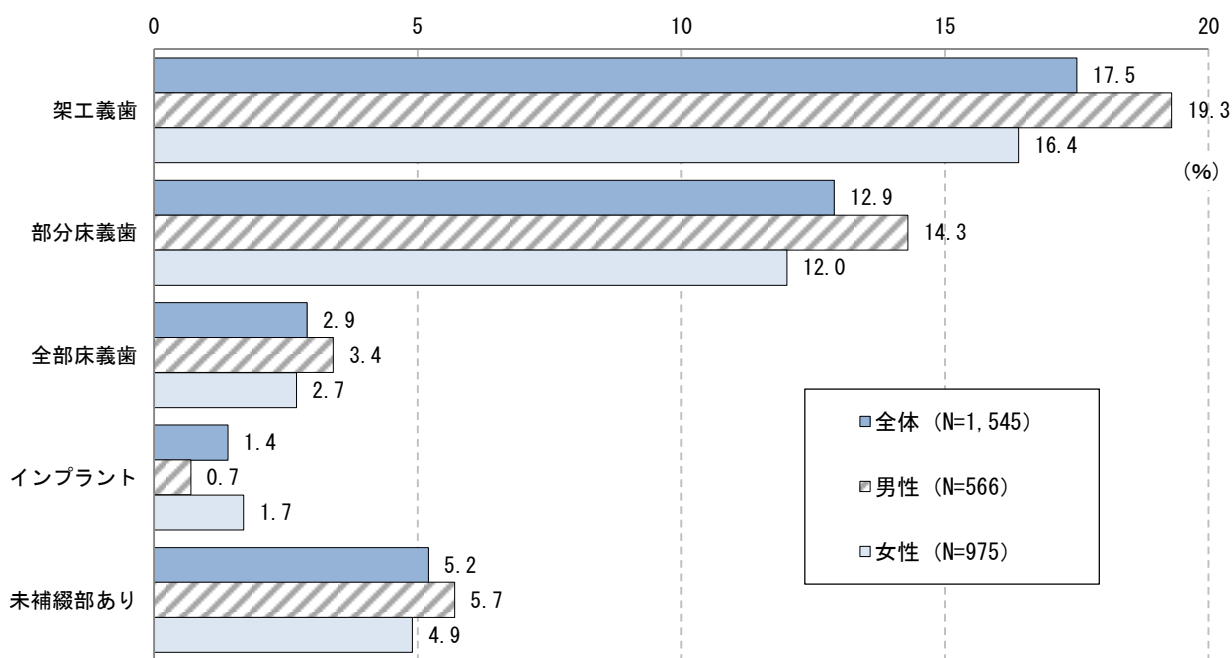
【図10 性別・年齢別 むし歯有病者の処置状況】



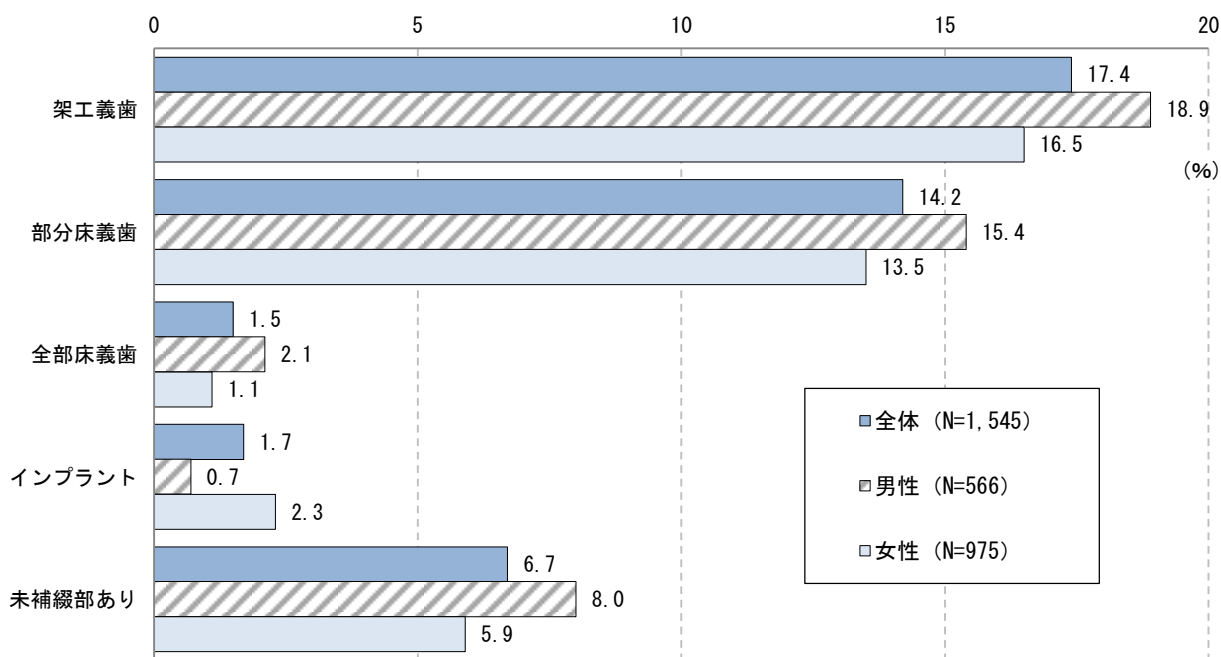
(2) 欠損補綴の状況 (複数回答)

欠損補綴は上下顎とも、「架工義歯」が2割弱と最も多く、次いで「部分床義歯」が1割台となっている。「インプラント」は上下顎の平均が1.6%と少ないが、前回(0.8%)に比べて増加傾向である。一方、「未補綴部あり」は上下顎とも5～6%台となっている。

【図11 欠損補綴の状況 (上顎)】

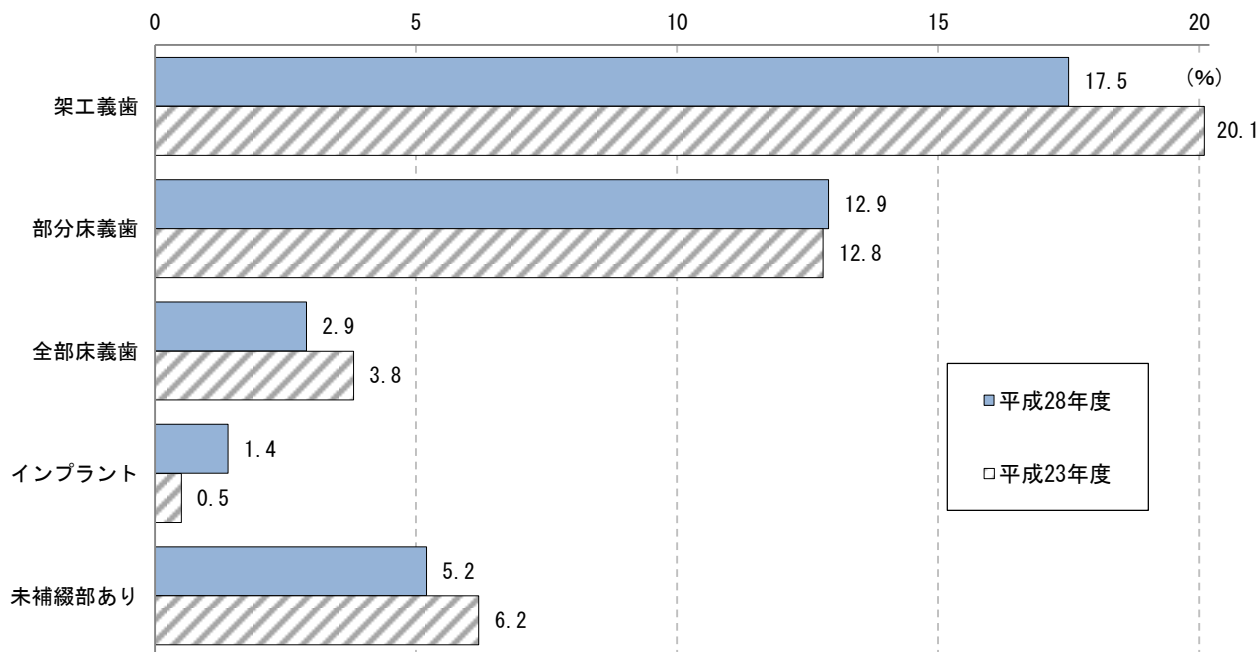


【図12 欠損補綴の状況 (下顎)】

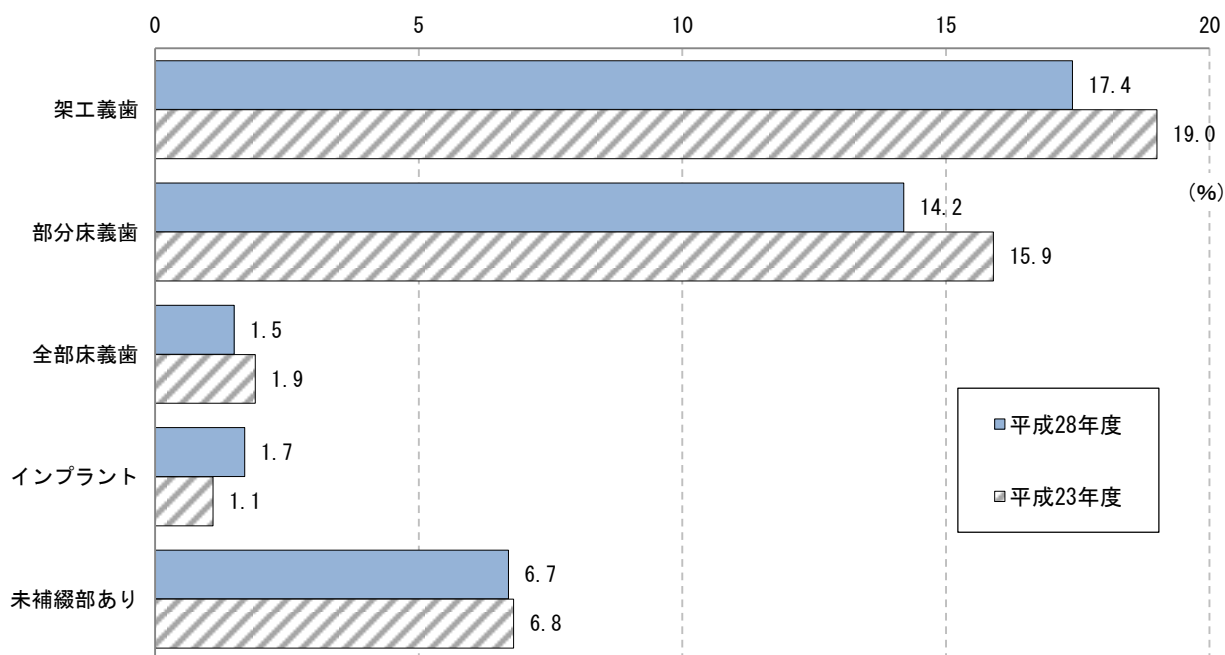


前回調査と比較すると、上下顎とも「架工義歯」は減少傾向にあり、上顎で2.6ポイント、下顎で1.6ポイント減っている。また、下顎では「部分床義歯」についても1.7ポイント減っている。

【図13 経年 欠損補綴の状況（上顎）】



【図14 経年 欠損補綴の状況（下顎）】

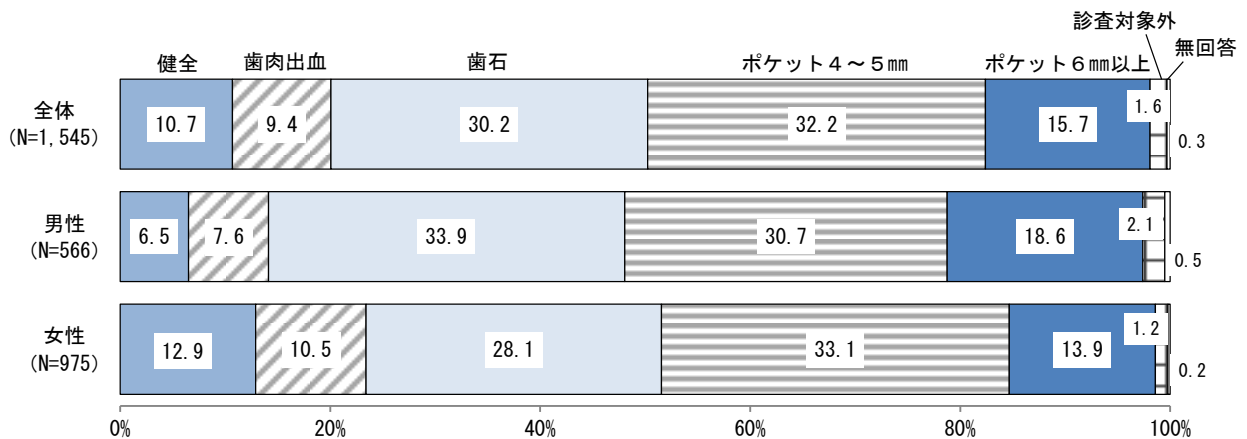


(3) 歯肉の状況

1) 歯肉の所見 (CPI による)

CPI プローブを用いた歯肉の検査において、「歯周ポケット 4～5 mm (コード 3)」が 32.2%、と最も多く、次いで「歯石」が 30.2%、「歯周ポケット 6 mm 以上 (コード 4)」が 15.7%となっている。また、歯肉に炎症所見を有する人 (コード 3 または 4) の割合は、全体の半数弱 (47.9%) みられる。性別にみると、コード 1 以上は女性で 85.6% に対し、男性では 90.8% と 5.2 ポイント高い。

【図 15 歯肉の所見 (CPI による)】



【表 19 年齢別 歯肉の所見 (CPI による)】

	健全	歯肉出血	歯石	ポケット 4～5 mm	ポケット 6 mm 以上	診査対象外	無回答	調査数
20歳代	26 18.3%	23 16.2%	49 34.5%	31 21.8%	10 7.0%	0 0.0%	3 2.1%	142 100.0%
30歳代	33 15.8%	28 13.4%	79 37.8%	57 27.3%	12 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	209 100.0%
40歳代	29 10.7%	21 7.8%	99 36.7%	94 34.8%	26 9.6%	0 0.0%	1 0.4%	270 100.0%
50歳代	26 10.0%	22 8.5%	81 31.2%	76 29.2%	53 20.4%	1 0.4%	1 0.4%	260 100.0%
60歳代	27 7.8%	25 7.2%	96 27.7%	117 33.8%	76 22.0%	5 1.4%	0 0.0%	346 100.0%
70歳代	19 7.7%	19 7.7%	48 19.4%	99 40.1%	53 21.5%	9 3.6%	0 0.0%	247 100.0%
80歳以上	4 5.9%	6 8.8%	13 19.1%	24 35.3%	12 17.6%	9 13.2%	0 0.0%	68 100.0%
全体	165 10.7%	145 9.4%	466 30.2%	498 32.2%	242 15.7%	24 1.6%	5 0.3%	1,545 100.0%

【表 20 年齢別・保健所圏域別 歯肉の所見 (CPI による) ①】

		健全	歯肉出血	歯石	ポケット 4～5mm	ポケット 6mm以上	診査 対象外	無回答	調査数
乙訓	20歳代	2 28.6%	1 14.3%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
	30歳代	6 23.1%	3 11.5%	8 30.8%	8 30.8%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	26 100.0%
	40歳代	3 8.3%	4 11.1%	18 50.0%	6 16.7%	5 13.9%	0 0.0%	0 0.0%	36 100.0%
	50歳代	4 13.8%	3 10.3%	7 24.1%	9 31.0%	6 20.7%	0 0.0%	0 0.0%	29 100.0%
	60歳代	9 16.1%	3 5.4%	10 17.9%	10 17.9%	24 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	56 100.0%
	70歳代	4 10.3%	3 7.7%	6 15.4%	13 33.3%	13 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	39 100.0%
	80歳以上	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	4 44.4%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%
	全体	29 14.4%	17 8.4%	53 26.2%	51 25.2%	51 25.2%	1 0.5%	0 0.0%	202 100.0%
	山城北	20歳代	8 15.4%	7 13.5%	19 36.5%	14 26.9%	4 7.7%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代		12 20.0%	6 10.0%	22 36.7%	17 28.3%	3 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	60 100.0%
40歳代		10 10.9%	11 12.0%	25 27.2%	39 42.4%	7 7.6%	0 0.0%	0 0.0%	92 100.0%
50歳代		5 5.9%	6 7.1%	32 37.6%	25 29.4%	16 18.8%	1 1.2%	0 0.0%	85 100.0%
60歳代		1 1.0%	6 6.1%	29 29.3%	46 46.5%	14 14.1%	3 3.0%	0 0.0%	99 100.0%
70歳代		2 3.0%	4 6.0%	17 25.4%	29 43.3%	14 20.9%	1 1.5%	0 0.0%	67 100.0%
80歳以上		0 0.0%	3 13.6%	5 22.7%	7 31.8%	3 13.6%	4 18.2%	0 0.0%	22 100.0%
全体		39 8.1%	44 9.2%	149 31.1%	177 37.0%	61 12.7%	9 1.9%	0 0.0%	479 100.0%
山城南		20歳代	2 18.2%	0 0.0%	4 36.4%	4 36.4%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	2 7.4%	3 11.1%	16 59.3%	5 18.5%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	27 100.0%
	40歳代	4 14.8%	1 3.7%	10 37.0%	8 29.6%	4 14.8%	0 0.0%	0 0.0%	27 100.0%
	50歳代	3 18.8%	1 6.3%	6 37.5%	5 31.3%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%
	60歳代	2 7.4%	2 7.4%	12 44.4%	5 18.5%	6 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	27 100.0%
	70歳代	0 0.0%	1 9.1%	5 45.5%	3 27.3%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%
	80歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	全体	13 10.6%	8 6.5%	53 43.1%	33 26.8%	16 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	123 100.0%
	南丹	20歳代	6 20.7%	7 24.1%	5 17.2%	4 13.8%	4 13.8%	0 0.0%	3 10.3%
30歳代		4 15.4%	4 15.4%	8 30.8%	7 26.9%	3 11.5%	0 0.0%	0 0.0%	26 100.0%
40歳代		5 13.9%	3 8.3%	8 22.2%	14 38.9%	5 13.9%	0 0.0%	1 2.8%	36 100.0%
50歳代		5 13.5%	2 5.4%	6 16.2%	13 35.1%	10 27.0%	0 0.0%	1 2.7%	37 100.0%
60歳代		2 5.3%	1 2.6%	13 34.2%	13 34.2%	9 23.7%	0 0.0%	0 0.0%	38 100.0%
70歳代		3 10.0%	1 3.3%	2 6.7%	13 43.3%	11 36.7%	0 0.0%	0 0.0%	30 100.0%
80歳以上		2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
全体		27 13.3%	18 8.9%	43 21.2%	67 33.0%	43 21.2%	0 0.0%	5 2.5%	203 100.0%

【表 21 年齢別・保健所圏域別 歯肉の所見 (CPI による) ②】

		健全	歯肉出血	歯石	ポケット 4～5mm	ポケット 6mm以上	診査 対象外	無回答	調査数
中 丹 西	20歳代	0 0.0%	0 0.0%	7 77.8%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	30歳代	2 9.1%	3 13.6%	12 54.5%	5 22.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
	40歳代	0 0.0%	0 0.0%	14 56.0%	10 40.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 100.0%
	50歳代	3 14.3%	2 9.5%	3 14.3%	8 38.1%	5 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	21 100.0%
	60歳代	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	6 42.9%	5 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	14 100.0%
	70歳代	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	3 37.5%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%
	80歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	全体	6 6.0%	8 8.0%	36 36.0%	34 34.0%	16 16.0%	0 0.0%	0 0.0%	100 100.0%
	中 丹 東	20歳代	5 23.8%	6 28.6%	6 28.6%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代		6 18.8%	8 25.0%	6 18.8%	10 31.3%	2 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	32 100.0%
40歳代		7 18.4%	1 2.6%	15 39.5%	13 34.2%	2 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	38 100.0%
50歳代		5 10.0%	6 12.0%	23 46.0%	7 14.0%	9 18.0%	0 0.0%	0 0.0%	50 100.0%
60歳代		10 11.1%	10 11.1%	25 27.8%	28 31.1%	15 16.7%	2 2.2%	0 0.0%	90 100.0%
70歳代		9 13.8%	4 6.2%	14 21.5%	27 41.5%	6 9.2%	5 7.7%	0 0.0%	65 100.0%
80歳以上		1 6.3%	2 12.5%	4 25.0%	5 31.3%	2 12.5%	2 12.5%	0 0.0%	16 100.0%
全体		43 13.7%	37 11.8%	94 30.0%	94 30.0%	36 11.5%	9 2.9%	0 0.0%	313 100.0%
丹 後		20歳代	3 23.1%	2 15.4%	5 38.5%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	1 6.3%	1 6.3%	7 43.8%	5 31.3%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%
	40歳代	0 0.0%	1 6.3%	9 56.3%	4 25.0%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%
	50歳代	1 4.5%	2 9.1%	4 18.2%	9 40.9%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
	60歳代	2 9.1%	1 4.5%	7 31.8%	9 40.9%	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
	70歳代	1 3.7%	5 18.5%	4 14.8%	11 40.7%	3 11.1%	3 11.1%	0 0.0%	27 100.0%
	80歳以上	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	2 22.2%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	9 100.0%
	全体	8 6.4%	13 10.4%	38 30.4%	42 33.6%	19 15.2%	5 4.0%	0 0.0%	125 100.0%

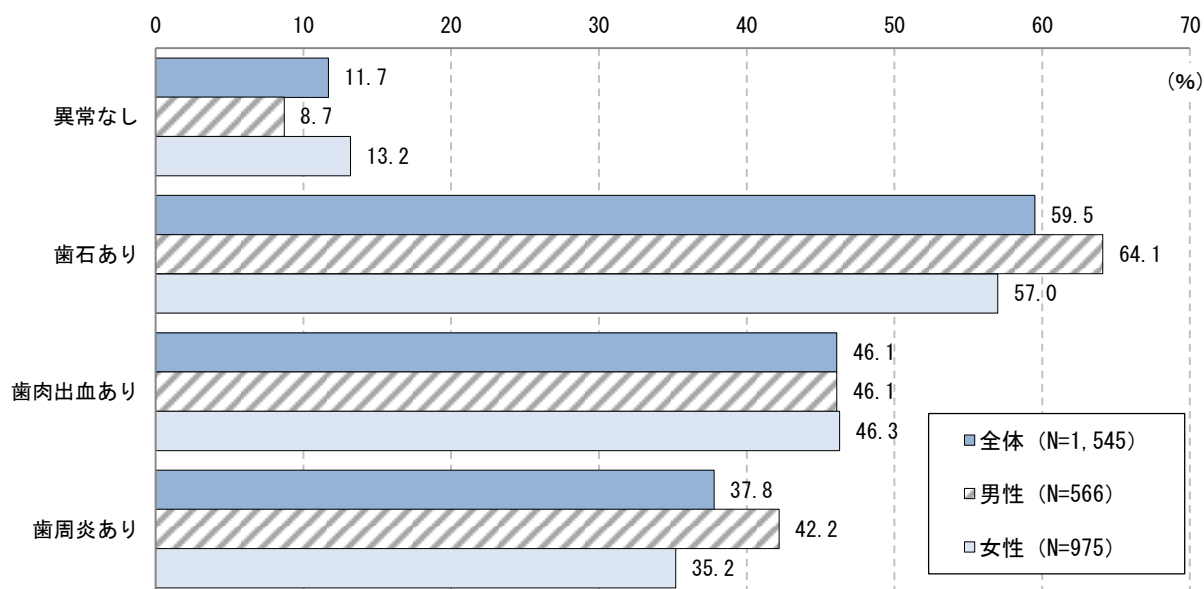
2) 視診判定 (複数回答)

視診による歯肉に所見がある人の割合は、「歯石あり」が約6割 (59.5%) と最も多く、次いで「歯肉出血あり」が46.1%、「歯周炎あり」が37.8%となっている。一方、「異常なし」は1割台 (11.7%) みられる。

性別にみると、「歯石あり」(男性64.1%、女性57.0%)、「歯周炎あり」(男性42.2%、女性35.2%) については女性に比べて男性のほうが7ポイント程度高くなっている。

年齢別にみると、歯肉に何らかの所見がある人の割合は、男性では40歳代で94.4%、女性では60歳代で91.7%と、それぞれ最も多くなっている。

【図16 視診判定 (複数回答)】



【表 22 性別・年齢別 視診判定 (複数回答)】

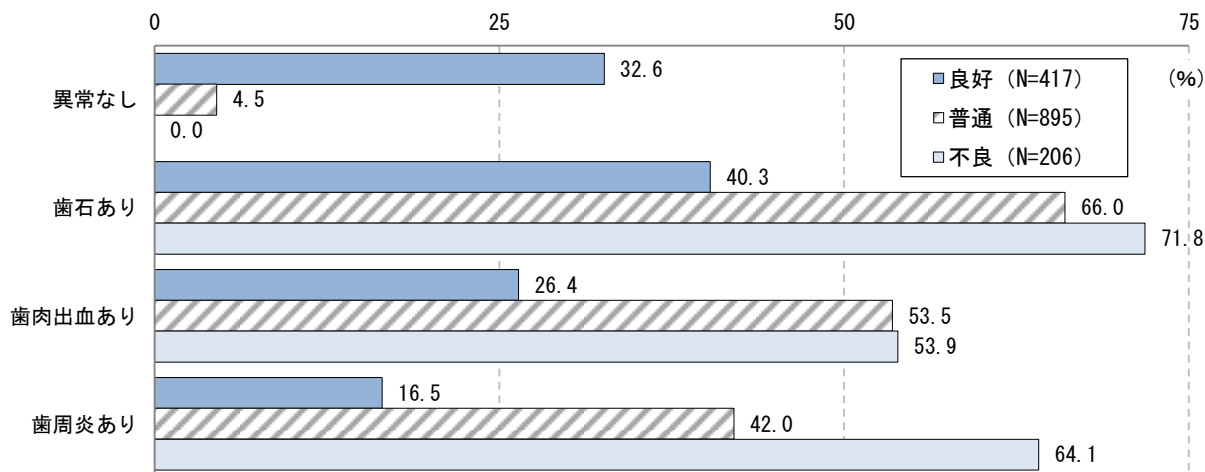
		異常なし	歯肉に所見あり			無回答	調査数	
			小計	歯石あり	歯肉出血あり			歯周炎あり
全体	20歳代	30 21.1%	110 77.5%	75 52.8%	67 47.2%	22 15.5%	2 1.4%	142 100.0%
	30歳代	33 15.8%	176 84.2%	134 64.1%	107 51.2%	50 23.9%	0 0.0%	209 100.0%
	40歳代	31 11.5%	238 88.1%	179 66.3%	130 48.1%	81 30.0%	1 0.4%	270 100.0%
	50歳代	25 9.6%	230 88.5%	163 62.7%	121 46.5%	101 38.8%	5 1.9%	260 100.0%
	60歳代	29 8.4%	311 89.9%	211 61.0%	164 47.4%	171 49.4%	6 1.7%	346 100.0%
	70歳代	24 9.7%	220 89.1%	127 51.4%	99 40.1%	131 53.0%	3 1.2%	247 100.0%
	80歳以上	7 10.3%	55 80.9%	29 42.6%	23 33.8%	28 41.2%	6 8.8%	68 100.0%
	全体	180 11.7%	1,342 86.9%	919 59.5%	712 46.1%	584 37.8%	23 1.5%	1,545 100.0%
	男性	20歳代	10 19.6%	41 80.4%	28 54.9%	24 47.1%	7 13.7%	0 0.0%
30歳代		5 6.1%	77 93.9%	65 79.3%	46 56.1%	29 35.4%	0 0.0%	82 100.0%
40歳代		4 4.5%	84 94.4%	68 76.4%	52 58.4%	28 31.5%	1 1.1%	89 100.0%
50歳代		7 7.4%	87 91.6%	65 68.4%	42 44.2%	39 41.1%	1 1.1%	95 100.0%
60歳代		14 10.8%	113 86.9%	77 59.2%	54 41.5%	67 51.5%	3 2.3%	130 100.0%
70歳代		7 7.4%	86 90.5%	48 50.5%	33 34.7%	54 56.8%	2 2.1%	95 100.0%
80歳以上		2 8.7%	21 91.3%	12 52.2%	9 39.1%	15 65.2%	0 0.0%	23 100.0%
全体		49 8.7%	510 90.1%	363 64.1%	261 46.1%	239 42.2%	7 1.2%	566 100.0%
女性		20歳代	20 22.0%	69 75.8%	47 51.6%	43 47.3%	15 16.5%	2 2.2%
	30歳代	28 22.2%	98 77.8%	69 54.8%	61 48.4%	20 15.9%	0 0.0%	126 100.0%
	40歳代	27 14.9%	154 85.1%	111 61.3%	78 43.1%	53 29.3%	0 0.0%	181 100.0%
	50歳代	16 9.8%	143 87.7%	98 60.1%	79 48.5%	62 38.0%	4 2.5%	163 100.0%
	60歳代	15 6.9%	198 91.7%	134 62.0%	110 50.9%	104 48.1%	3 1.4%	216 100.0%
	70歳代	17 11.2%	134 88.2%	79 52.0%	66 43.4%	77 50.7%	1 0.7%	152 100.0%
	80歳以上	5 11.4%	33 75.0%	17 38.6%	14 31.8%	12 27.3%	6 13.6%	44 100.0%
	全体	129 13.2%	830 85.1%	556 57.0%	451 46.3%	343 35.2%	16 1.6%	975 100.0%

<歯と口の健康づくりに関する目標項目>

	目標値	今回調査結果
50歳代で歯肉に所見を有する者の割合	70%以下	88.5%

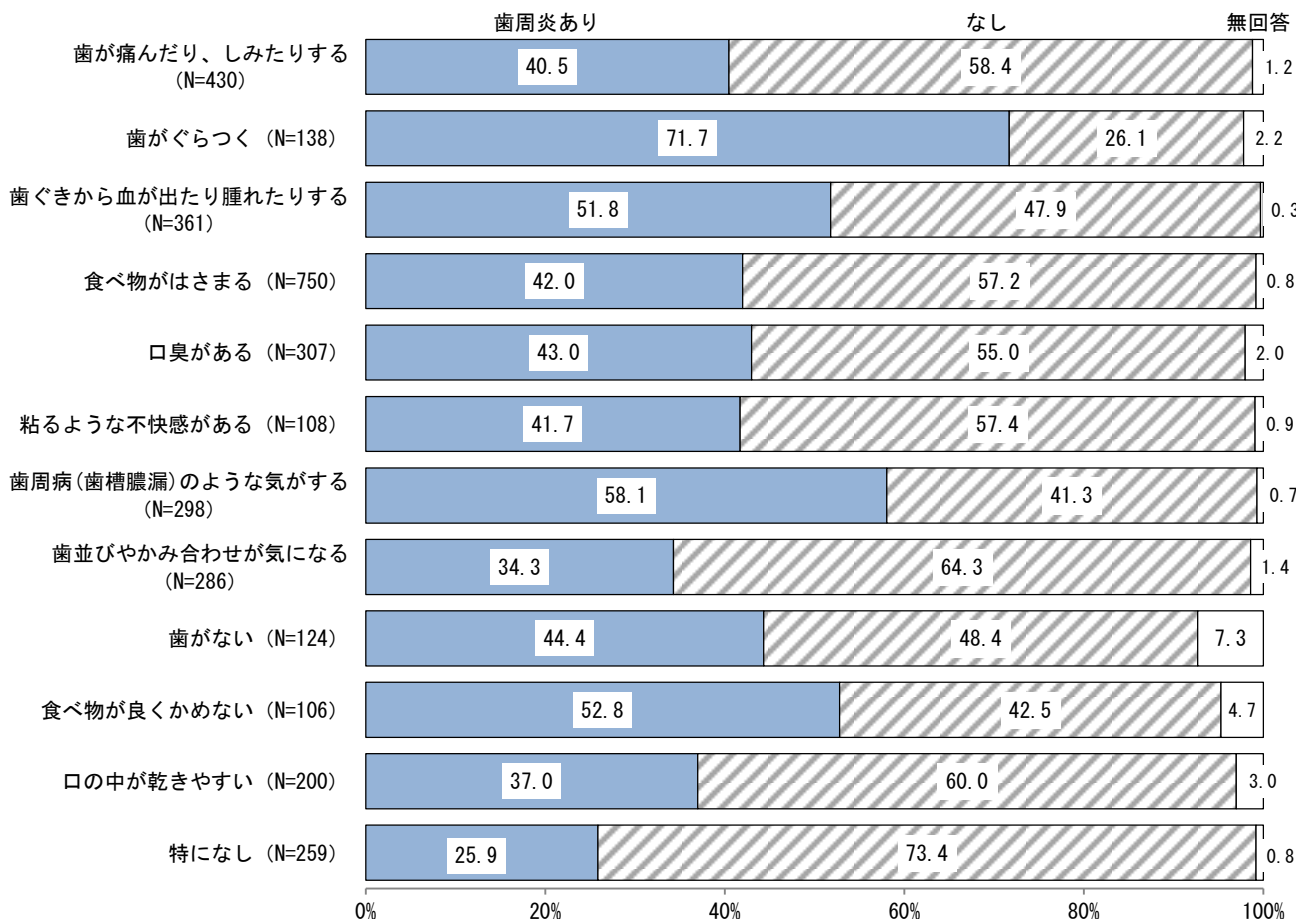
口腔清掃状態別にみると、所見ありの項目はいずれも清掃状態が悪いほど多くなる傾向にある。また、「異常なし」は“良好”では3割台（32.6%）みられるものの、“普通”では4.5%、“不良”では0.0%となっている。

【図 17 口腔清掃状態別 視診判定（複数回答）】



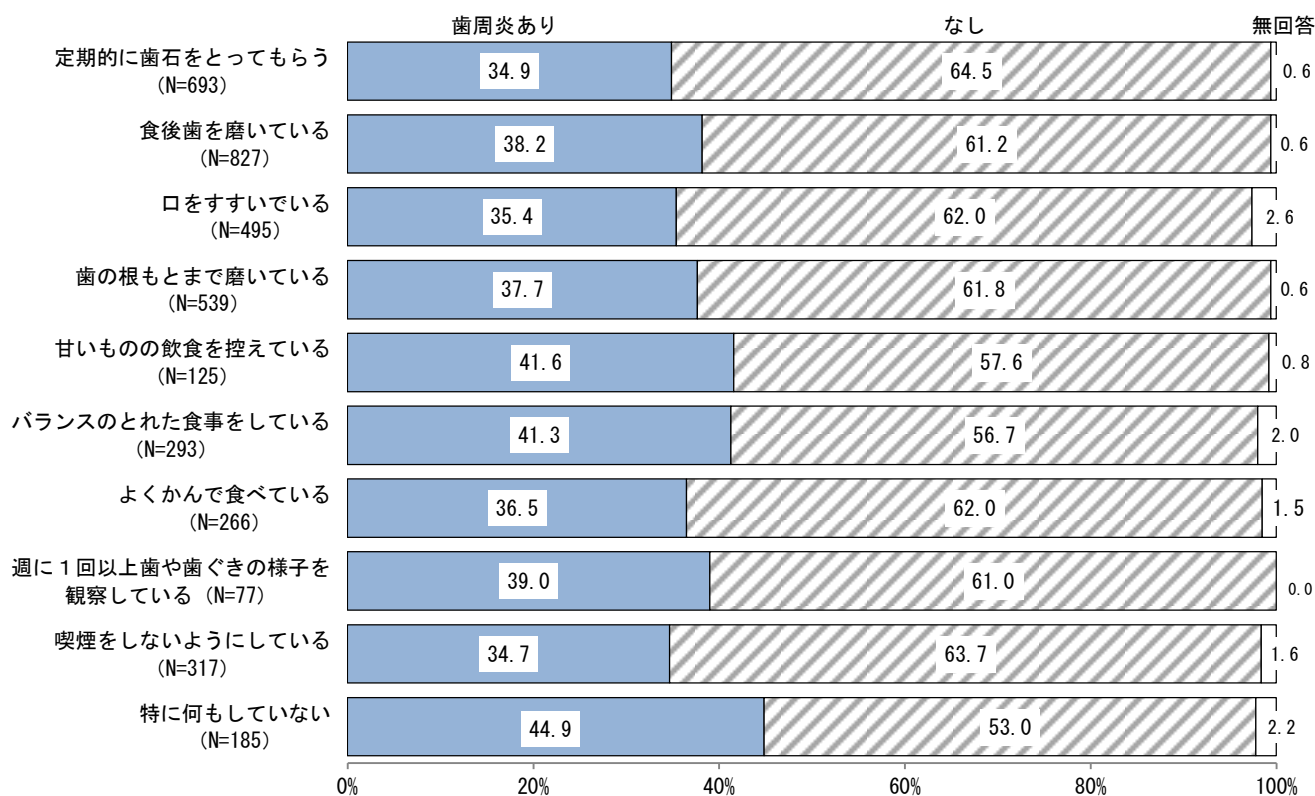
歯周炎の所見について、歯の中や口についての悩み等別にみると、「歯周炎あり」は“歯がぐらつく”で7割台（71.7%）と最も多く、次いで“歯周病（歯槽膿漏）のような気がする”で58.1%、“食べ物が良くかめない”で52.8%、“歯ぐきから血が出たり腫れたりする”で51.8%となっている。

【図 18 歯や口の中についての悩み等（複数回答）別 歯周炎の有無】



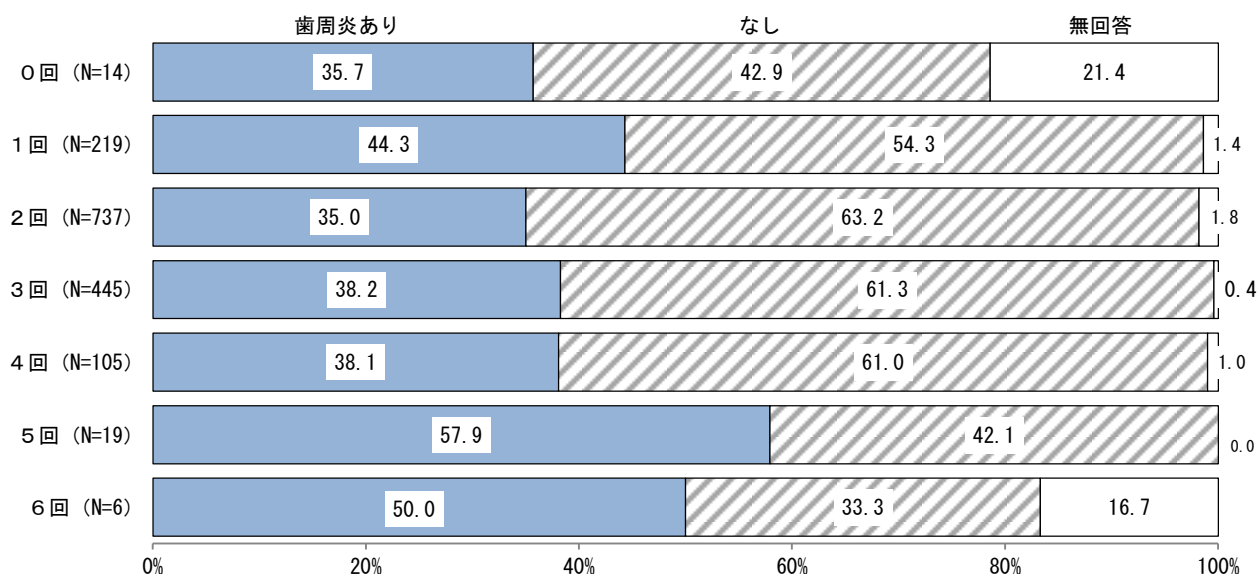
歯や歯ぐきの健康について注意していること別にみると、「歯周炎あり」は“特に何もしていない”で44.9%と最も多く、次いで“甘いものの飲食を控えている”で41.6%、“バランスのとれた食事をしている”で41.3%となっている。

【図 19 歯や歯ぐきの健康について注意していること（複数回答）別 歯周炎の有無】



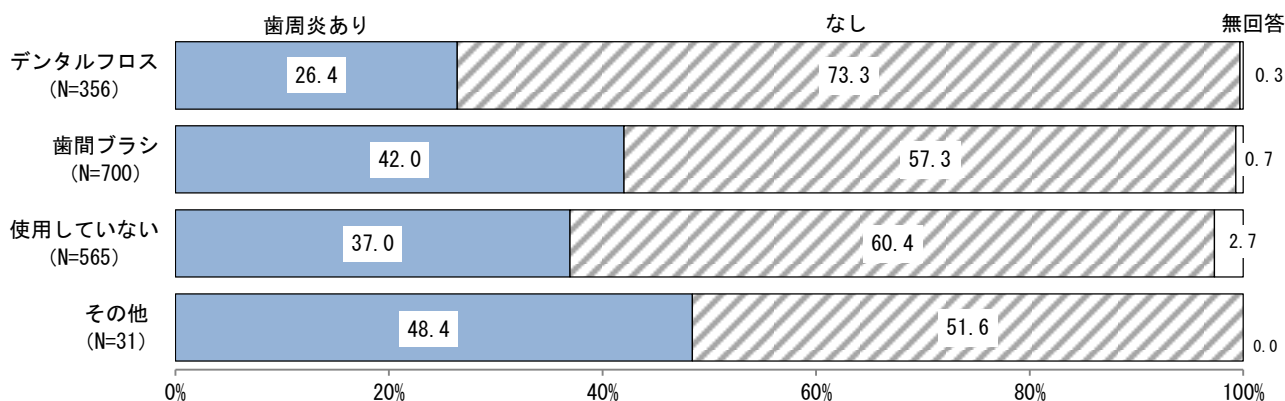
歯みがきの回数別にみると、「歯周炎あり」は5回以上で5割台となっており、これに次いで“1回”で44.3%となっている。一方、“2回”が35.0%と最も少ない。

【図 20 歯みがきの回数別 歯周炎の有無】



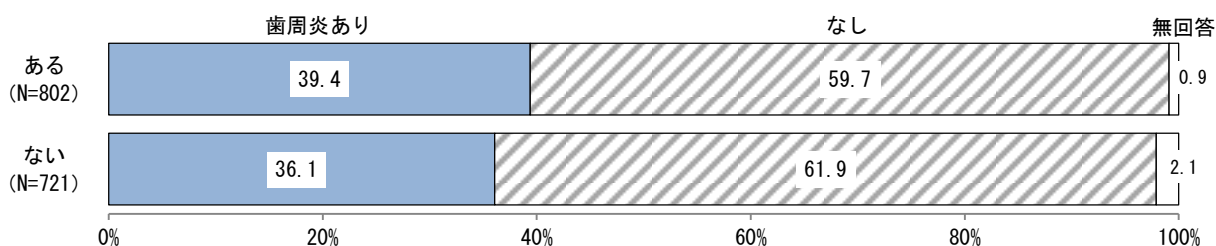
歯間清掃補助用具の使用状況別にみると、「歯周炎あり」は「歯間ブラシ」が42.0%みられ、「使用していない」(37.0%)よりも多くなっている。

【図 21 歯間清掃補助用具の使用状況（複数回答）別 歯周炎の有無】



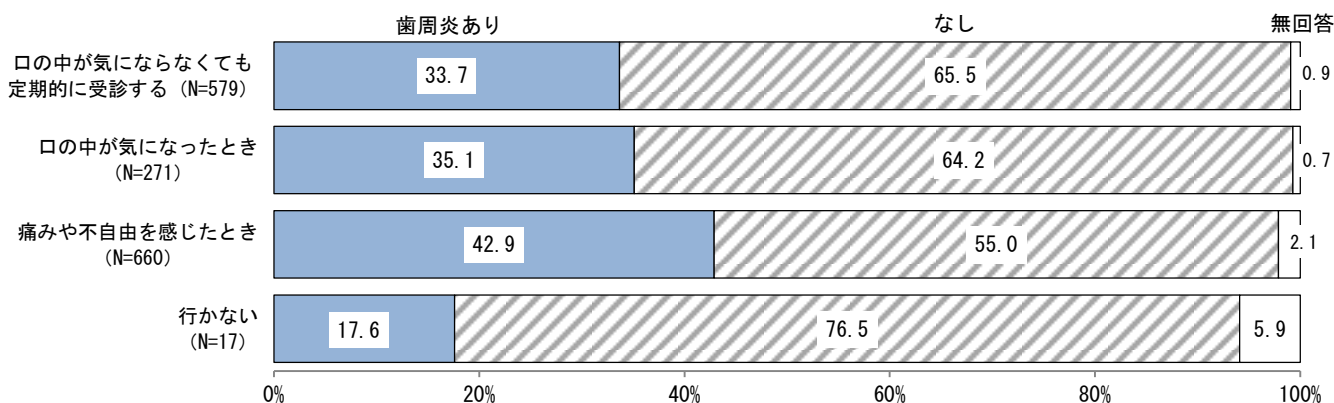
この1年間に歯みがきの指導を受けたことがある人の状況別にみると、「歯周炎あり」は指導を受けたことがある人で39.4%、ない人で36.1%となっている。

【図 22 この1年間に歯みがきの指導を受けたことがある人の状況別 歯周炎の有無】



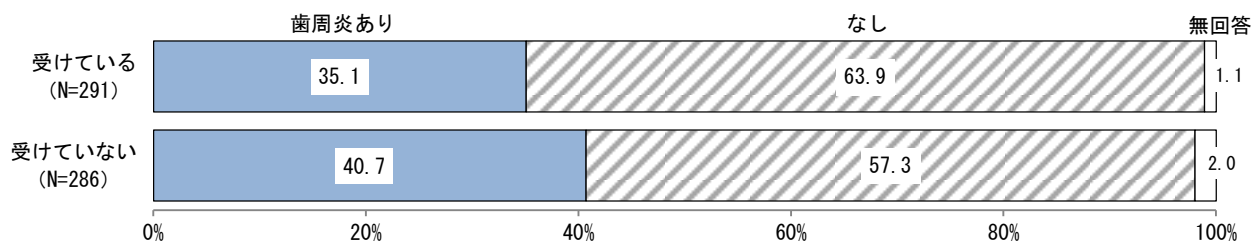
歯科医院受診理由別にみると、「歯周炎あり」は「痛みや不自由を感じたとき」で42.9%と最も高くなっている。

【図 23 歯科医院受診理由別 歯周炎の有無】



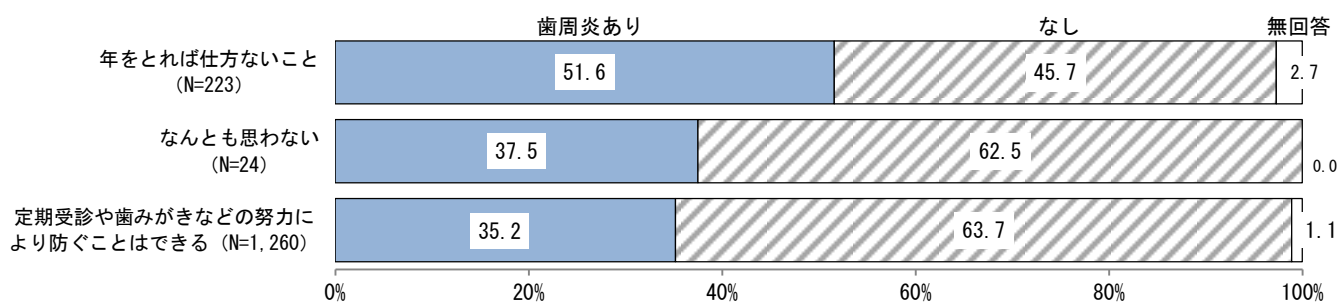
定期的な歯科健診の受診状況別にみると、「歯周炎あり」は歯科健診を定期的に受けている人で35.1%に対し、受けていない人では40.7%と多くなっている。

【図 24 定期的な歯科健診の受診状況別 歯周炎の有無】



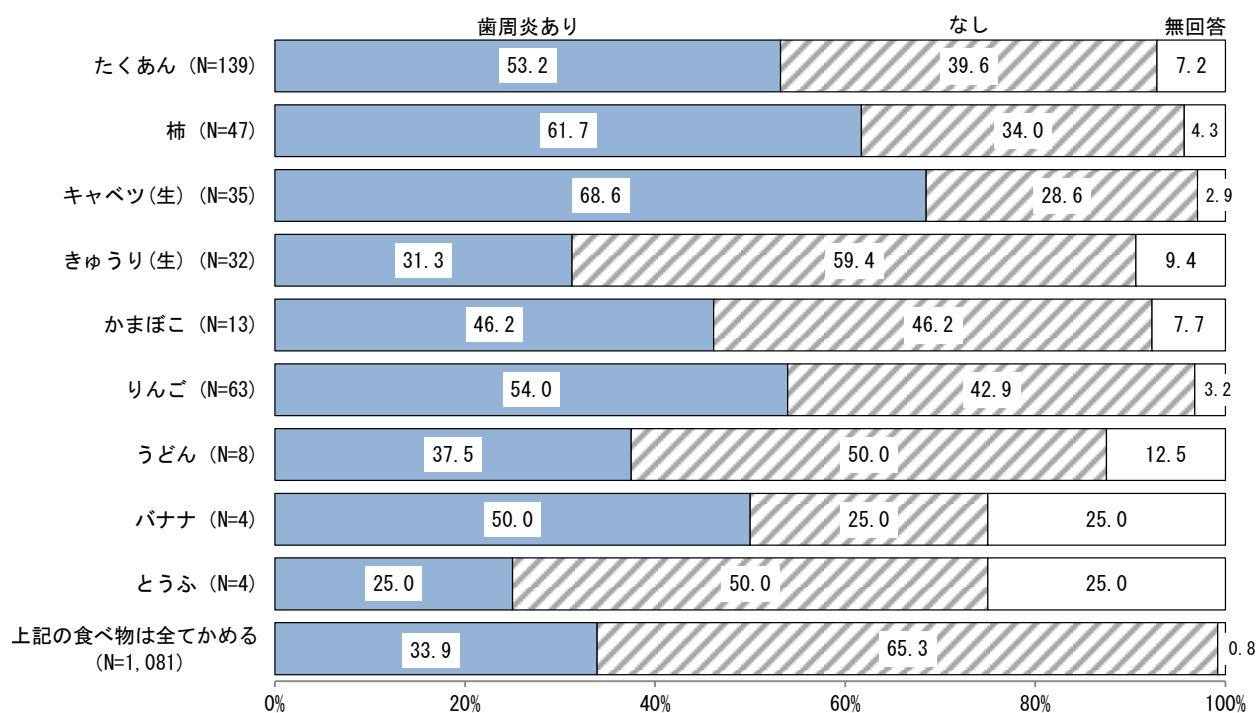
歯を失うことについての意識別にみると、努力で防ぐことができると思っている人ほど「歯周炎あり」の割合は少なくなっている。

【図 25 歯を失うことについての意識別 歯周炎の有無】



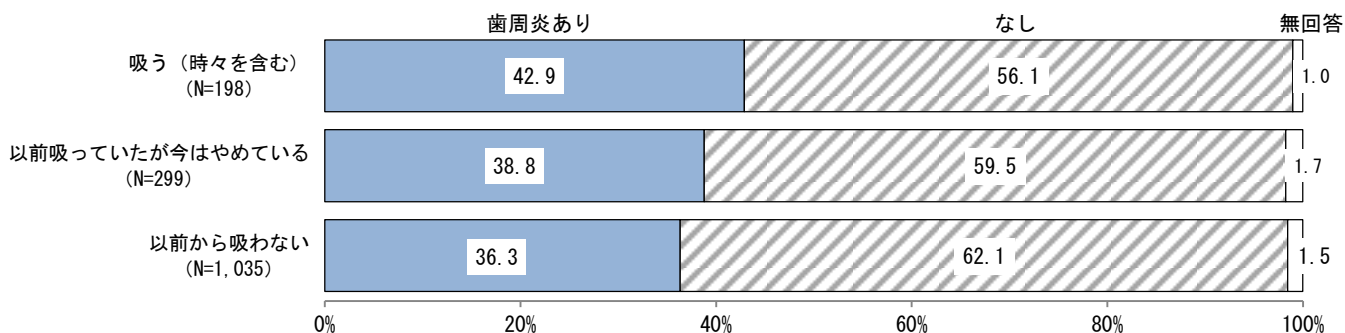
かみにくい食べ物別にみると、「歯周炎あり」は“きゃべつ(生)”で68.6%と最も多く、次いで“柿”で61.7%、“りんご”で54.0%、“たくあん”で53.2%、“バナナ”で50.0%となっている。

【図 26 かみにくい食べ物(複数回答)別 歯周炎の有無】



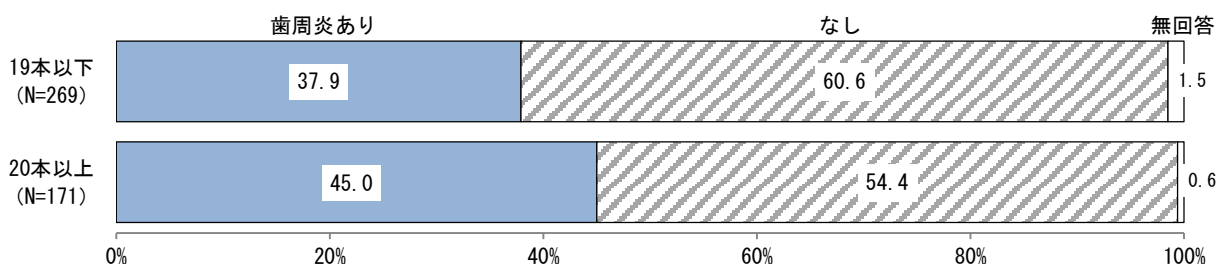
喫煙の状況別にみると、「歯周炎あり」は喫煙経験のない人に比べてある人のほうが多くなっており、“吸う（時々を含む）”で4割台（42.7%）と最も多い。

【図 27 喫煙の状況別 歯周炎の有無】



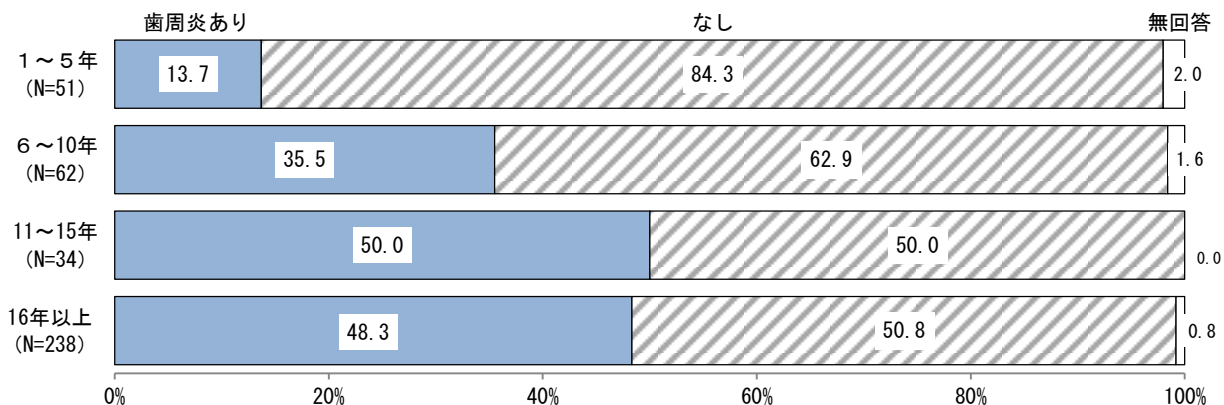
喫煙経験者の喫煙本数別にみると、「歯周炎あり」は“19本以下”で37.9%に対し、“20本以上”では45.0%と多くなっている。

【図 28 喫煙の状況別 歯周炎の有無】



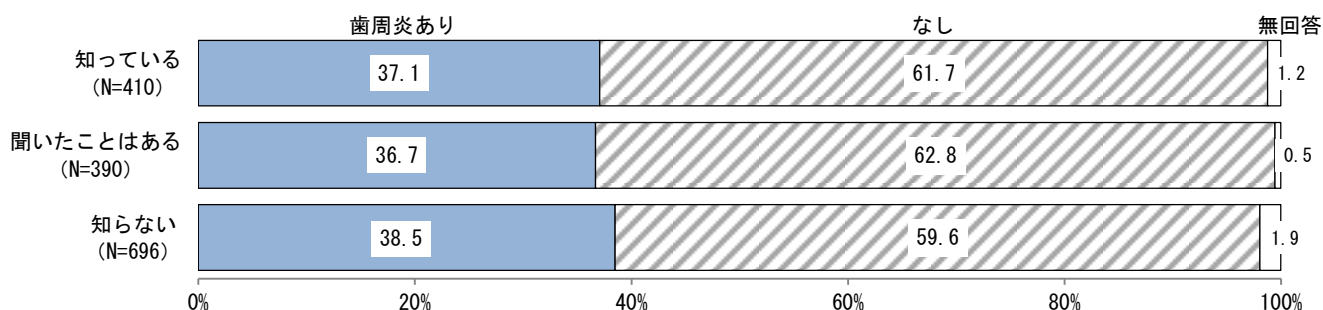
喫煙経験者の喫煙年数別にみると、「歯周炎あり」は“11～15年”で50.0%、“16年以上”で48.3%みられ、喫煙年数が長いほど多くなる傾向にある。

【図 29 喫煙年数別 歯周炎の有無】



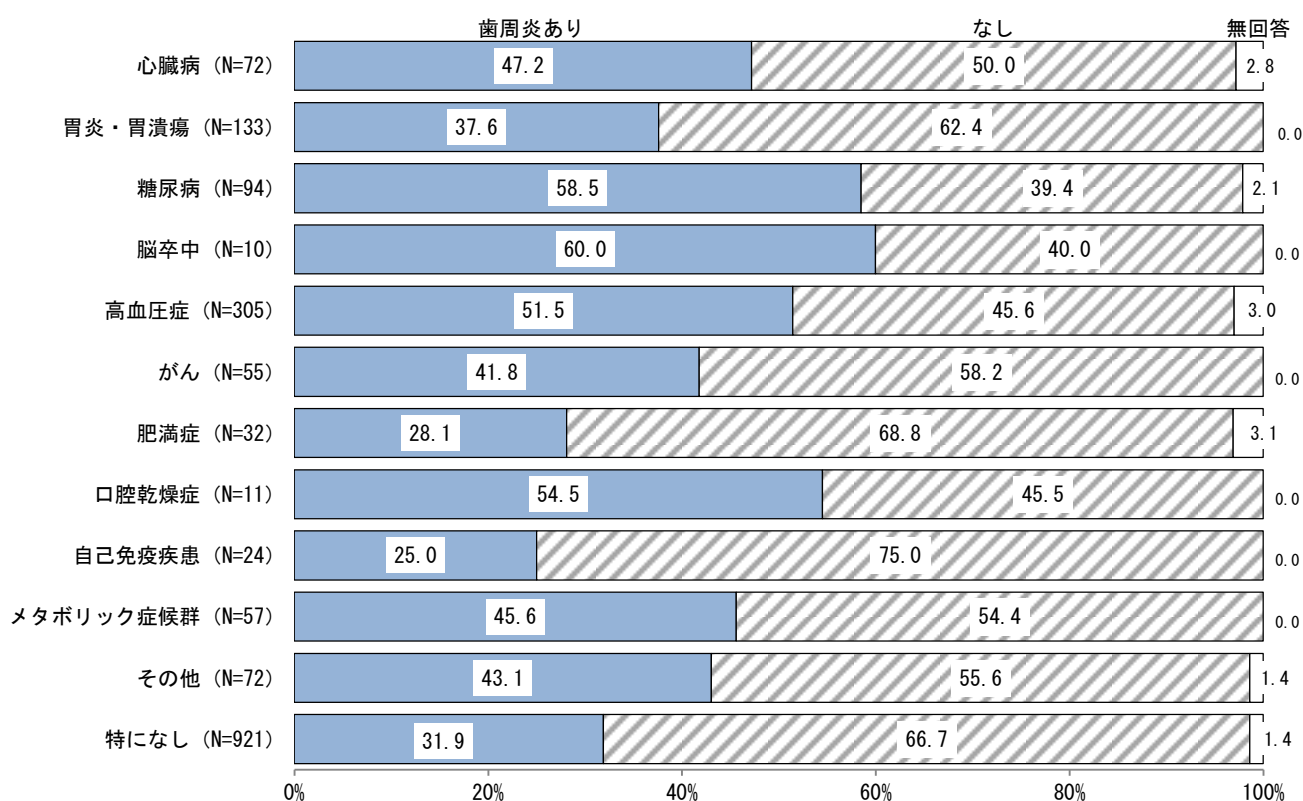
たばこと歯周病の関係についての知識別にみると、「歯周炎あり」は“知らない”で38.5%と最も多くなっているものの、知識の有無による差はさほどみられない。

【図 30 たばこと歯周病の関係についての知識別 歯周炎の有無】



治療中・既往歴のある基礎疾患別にみると、「歯周炎あり」は“脳卒中”で60.0%、“糖尿病”で58.5%と多く、次いで“口腔乾燥症”で54.5%、“高血圧症”で51.5%となっている。

【図 31 治療中・既往歴のある基礎疾患（複数回答）別 歯周炎の有無】

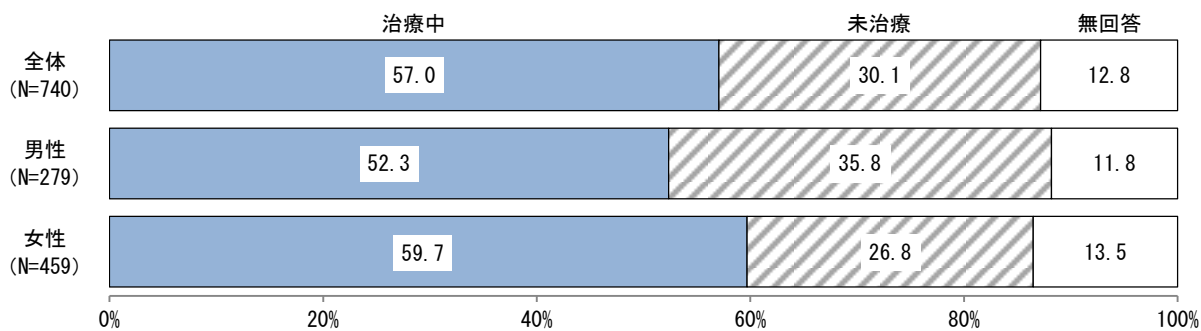


3) 歯周炎の治療

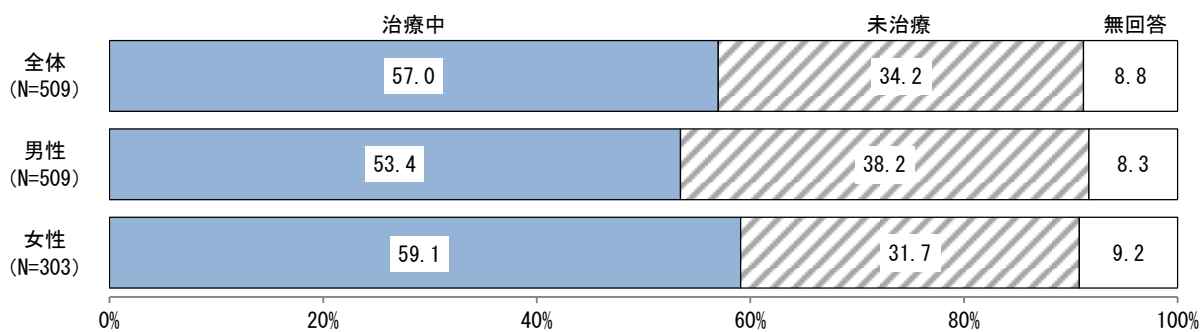
歯肉に炎症所見を有する人（CPI コード3または4）の歯周炎の治療状況としては、「治療中」が57.0%、「未治療」は30.1%となっている。

視診判定で歯周炎ありの人についてみると、「未治療」が34.2%みられた。

【図 32 歯周炎の治療】



【図 33 歯周炎の治療（視診判定「歯周炎あり」のみ）】

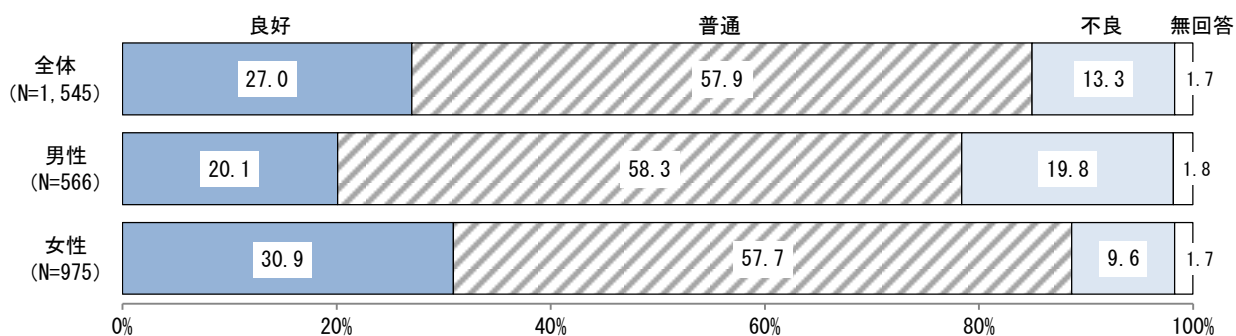


(4) 口腔清掃状態

口腔清掃状態としては、「普通」が57.9%と最も多く、次いで「良好」が27.0%、「不良」が13.3%となっている。

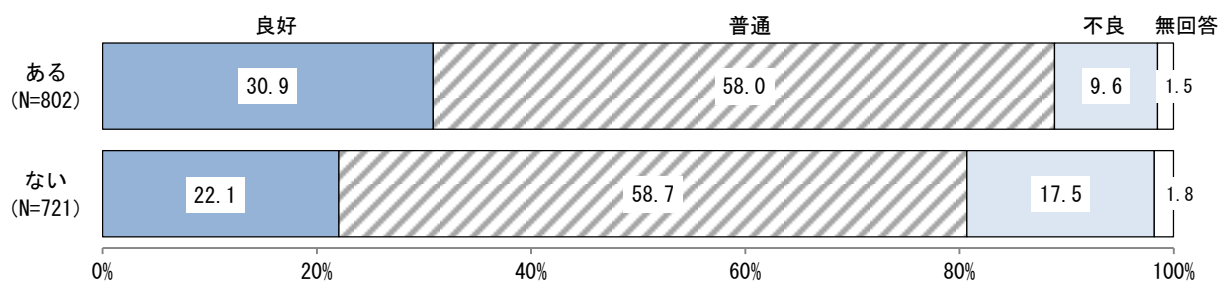
性別にみると、「良好」が男性で20.1%に対し、女性では30.9%、「不良」が女性で9.6%に対し、男性では19.8%と、それぞれ10ポイント以上高くなっている。

【図34 口腔清掃状態】



この1年間に歯みがきの指導を受けたことがある人の状況別にみると、「良好」が指導を受けたことがない人で22.1%に対し、ある人では30.9%と8.8ポイント高くなっている。

【図35 この1年間に歯みがきの指導を受けたことがある人の状況別 口腔清掃状態】



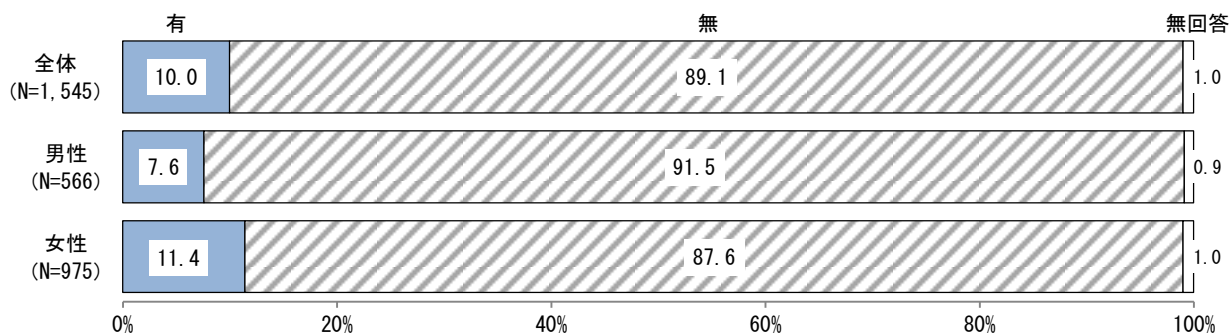
(5) 顎関節の異常

1) 顎関節の異常

顎関節の異常所見を認めた人（「有」）は全体の1割（10.0%）となっている。

性別にみると、「有（異常所見あり）」は男性で7.6%に対し、女性では11.4%と3.8ポイント高い。

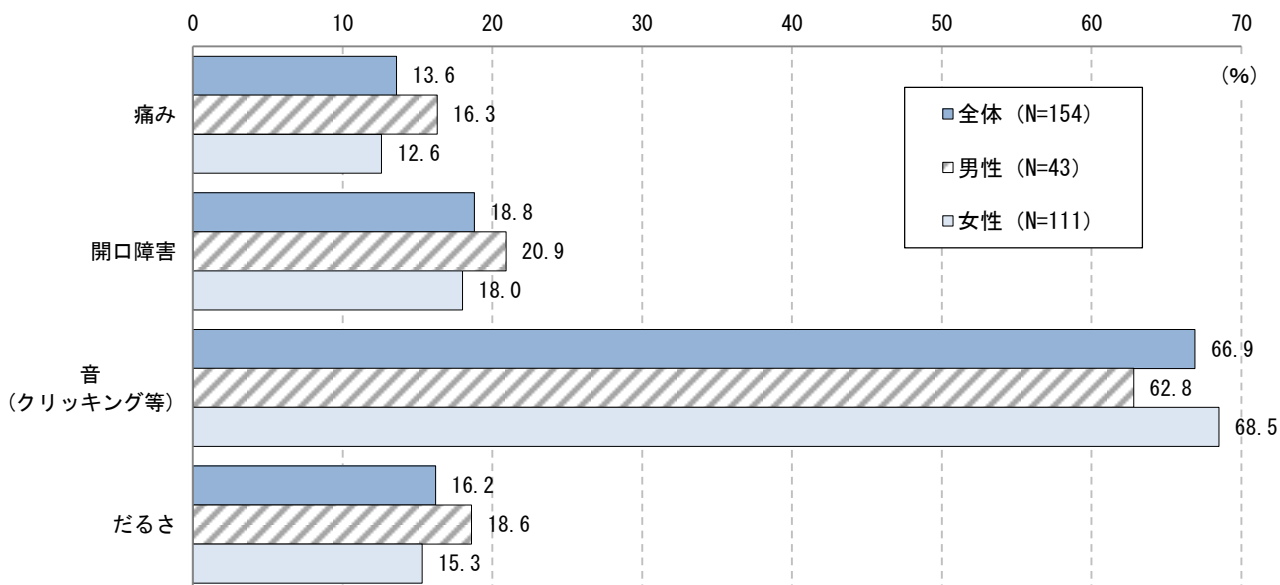
【図 36 顎関節の異常】



2) 顎関節の自覚症状（複数回答）

顎関節の異常所見を認めた人の自覚症状としては、「音（クリッキング等）」が66.9%と最も多くなっている。

【図 37 顎関節の自覚症状（複数回答）】



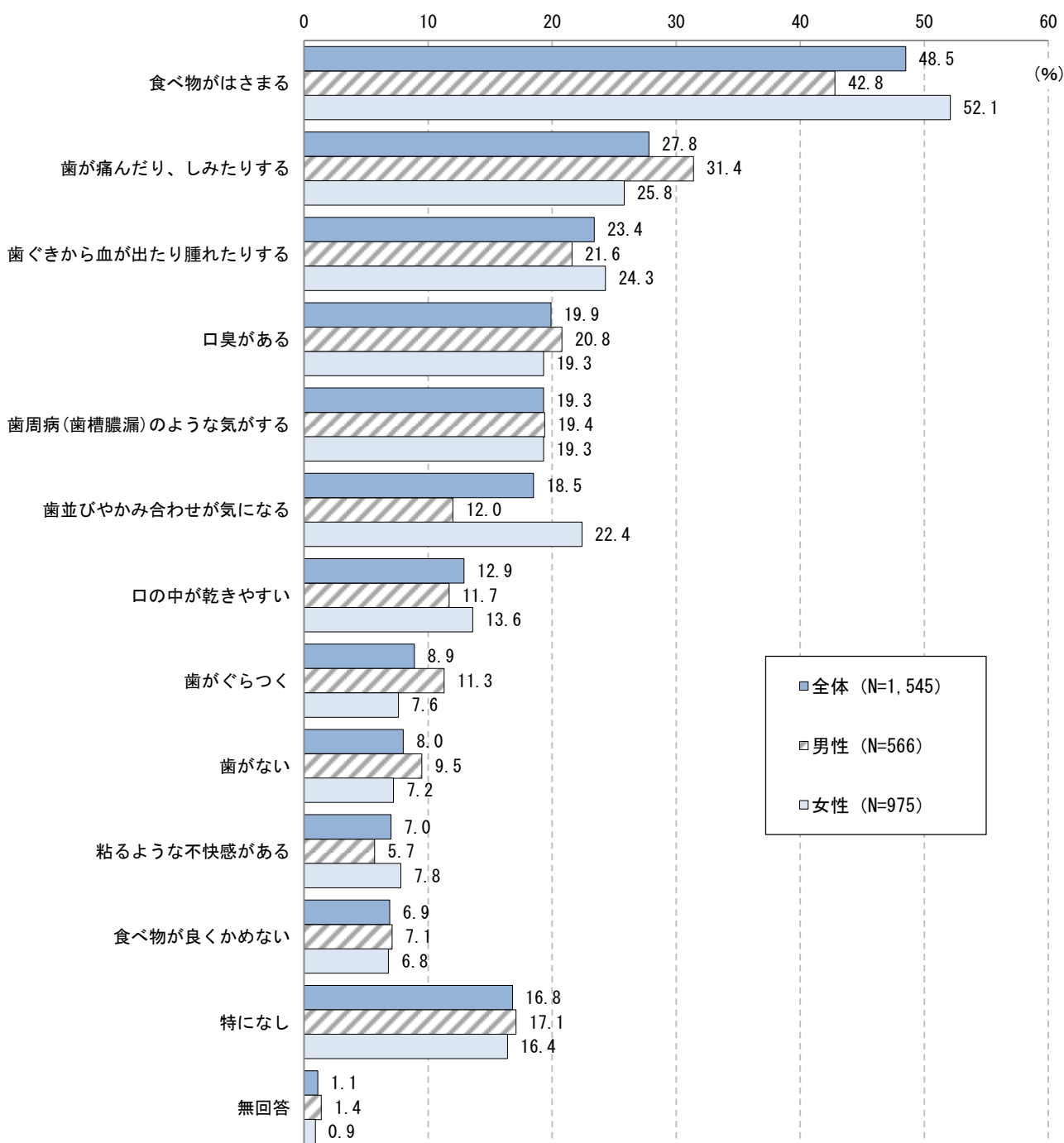
3 アンケート調査

問1 歯や口の中についての悩み等（複数回答）

歯や口の中についての悩み等としては、「食べ物がはさまる」が48.5%と最も多く、次いで「歯が痛んだり、しみたりする」が27.8%、「歯ぐきから血が出たり腫れたりする」が23.4%となっている。

性別にみると、「食べ物がはさまる」（男性42.8%、女性52.1%）、「歯並びやかみ合わせが気になる」（男性12.0%、女性22.4%）では女性のほうが多く、「歯が痛んだり、しみたりする」（男性31.4%、女性25.8%）では男性のほうが多くなっており、それぞれ5～10ポイント程度の差がみられる。

【図38 歯や口の中についての悩み等（複数回答）】

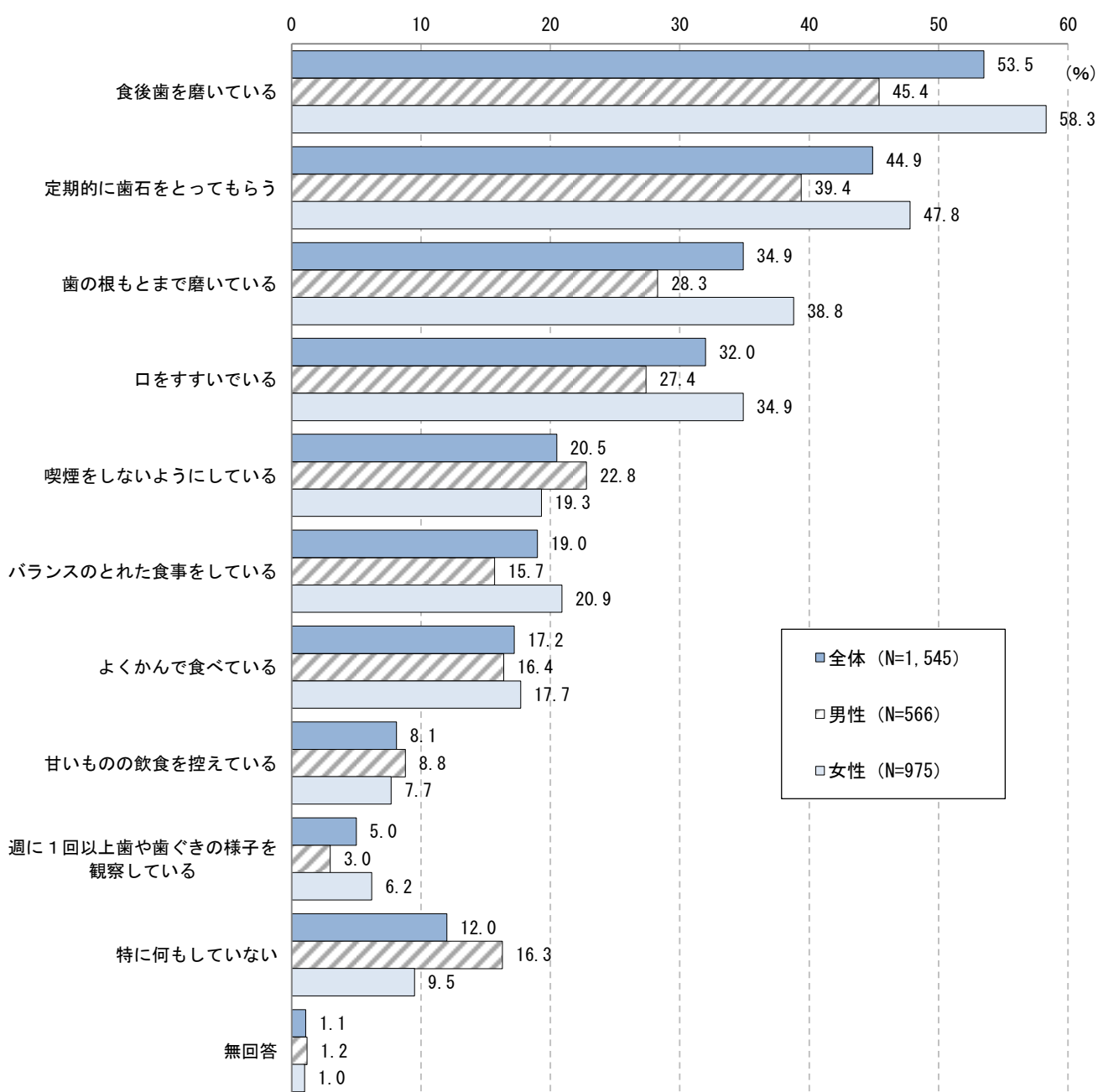


問2 歯や歯ぐきの健康について注意していること（複数回答）

歯や歯ぐきの健康について注意していることとしては、「食後歯を磨いている」が53.5%と最も多く、次いで「定期的に歯石をとってもらう」が44.9%、「歯の根もとまで磨いている」が34.9%、「口をすすいでいる」が32.0%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「食後歯を磨いている」が最も多くなっているものの、男性で45.4%に対し、女性では58.3%と12.9ポイント高い。このほか「定期的に歯石をとってもらう」（男性39.4%、女性47.8%）、「歯の根もとまで磨いている」（男性28.3%、女性38.8%）、「口をすすいでいる」（男性27.4%、女性34.9%）においても女性のほうが10ポイント前後高くなっている。

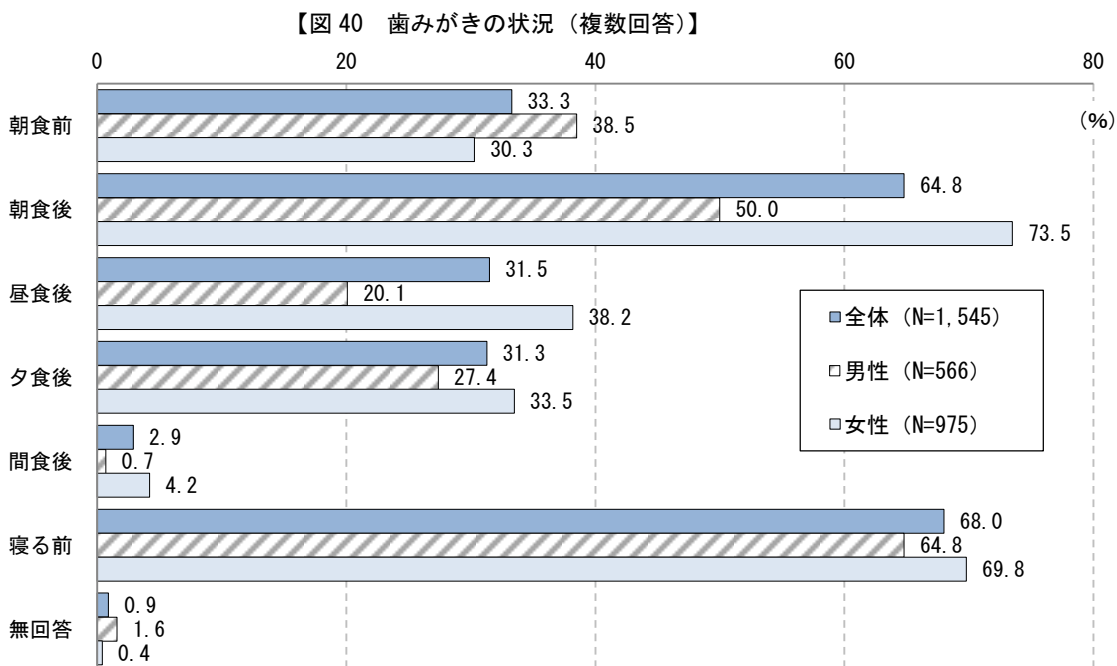
【図39 歯や歯ぐきの健康について注意していること（複数回答）】



問3 歯みがきの状況（複数回答）

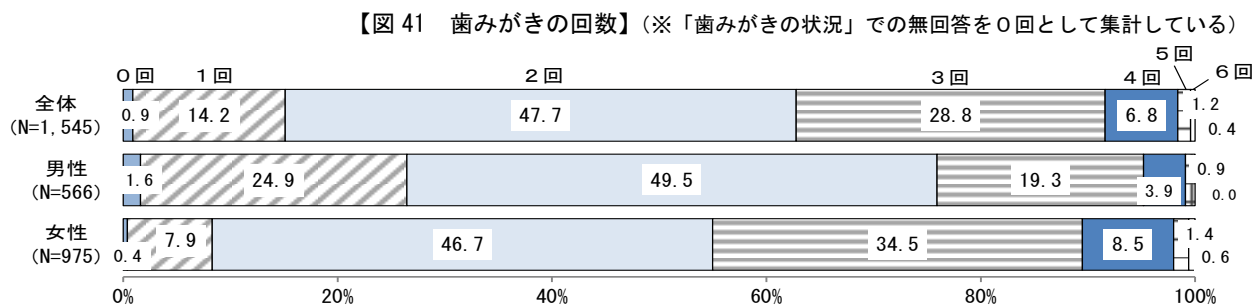
歯みがきの状況としては、「寝る前」（68.0%）、「朝食後」（64.8%）が6割台と多くなっている。朝食前、昼食後、夕食後の歯みがきを行っているのは約3割となっている。

性別にみると、「朝食前」を除いていずれも女性のほうが多く、特に「朝食後」（男性 50.0%、女性 73.5%、「昼食後」（男性 20.1%、女性 38.2%）では女性のほうが20ポイント前後高くなっている。



歯みがきの回数としては、「2回」が47.7%と最も多く、次いで「3回」が28.8%となっており、1日に2回以上歯みがきをする割合は8割台（84.9%）を占める。

性別にみると、1日に2回以上歯みがきをする割合は男性で73.6%に対し、女性では91.7%と、18.1ポイント高くなっている。また、歯みがきの平均回数でみると、男性で2.0回に対し、女性では2.5回と頻度が高い。



【表23 性別・年齢別 歯みがきの回数】 (回)

	平成28年度			平成23年度		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
20歳代	2.2	2.0	2.4	2.3	2.0	2.4
30歳代	2.2	1.9	2.4	2.4	2.2	2.6
40歳代	2.4	2.0	2.6	2.4	2.1	2.5
50歳代	2.4	2.1	2.7	2.4	2.0	2.5
60歳代	2.4	2.1	2.6	2.4	2.0	2.6
70歳代	2.2	1.9	2.4	2.3	2.0	2.4
80歳以上	2.0	2.1	2.0	1.8	1.8	1.7
全体	2.3	2.0	2.5	2.3	2.0	2.5

問4 歯間清掃補助用具の使用状況（複数回答）

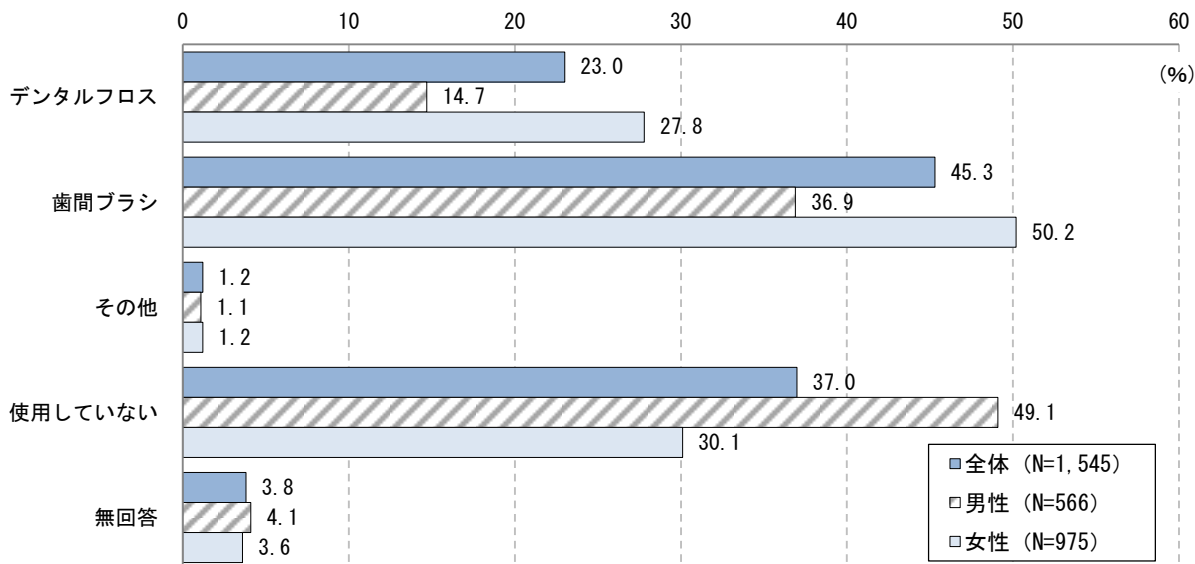
歯間清掃補助用具の使用状況としては、「歯間ブラシ」が45.3%と最も多く、次いで「使用していない」が37.0%、「デンタルフロス」が23.0%となっている。

性別にみると、いずれかの歯間清掃補助用具を使用している割合は、男性で46.8%に対し、女性では66.4%と19.6ポイント高い。

【表24 性別・年齢別 歯間清掃補助用具の使用状況（複数回答）】

	全体					男性					女性							
	フデ ロ ン ス タ ル	歯 間 ブ ラ シ	そ の 他	い 使 用 し て い な い	無 回 答	調 査 数	フデ ロ ン ス タ ル	歯 間 ブ ラ シ	そ の 他	い 使 用 し て い な い	無 回 答	調 査 数	フデ ロ ン ス タ ル	歯 間 ブ ラ シ	そ の 他	い 使 用 し て い な い	無 回 答	調 査 数
20歳代	37 26.1%	20 14.1%	1 0.7%	85 59.9%	6 4.2%	142 100.0%	9 17.6%	6 11.8%	0 0.0%	37 72.5%	0 0.0%	51 100.0%	28 30.8%	14 15.4%	1 1.1%	48 52.7%	6 6.6%	91 100.0%
30歳代	79 37.8%	59 28.2%	2 1.0%	89 42.6%	2 1.0%	209 100.0%	18 22.0%	18 22.0%	1 1.2%	49 59.8%	0 0.0%	82 100.0%	61 48.4%	40 31.7%	1 0.8%	40 31.7%	2 1.6%	126 100.0%
40歳代	89 33.0%	116 43.0%	2 0.7%	99 36.7%	4 1.5%	270 100.0%	12 13.5%	29 32.6%	0 0.0%	52 58.4%	3 3.4%	89 100.0%	77 42.5%	87 48.1%	2 1.1%	47 26.0%	1 0.6%	181 100.0%
50歳代	75 28.8%	133 51.2%	4 1.5%	87 33.5%	5 1.9%	260 100.0%	24 25.3%	34 35.8%	1 1.1%	43 45.3%	1 1.1%	95 100.0%	50 30.7%	98 60.1%	3 1.8%	44 27.0%	3 1.8%	163 100.0%
60歳代	53 15.3%	199 57.5%	4 1.2%	103 29.8%	18 5.2%	346 100.0%	12 9.2%	60 46.2%	1 0.8%	55 42.3%	10 7.7%	130 100.0%	41 19.0%	139 64.4%	3 1.4%	48 22.2%	8 3.7%	216 100.0%
70歳代	20 8.1%	141 57.1%	3 1.2%	79 32.0%	18 7.3%	247 100.0%	8 8.4%	49 51.6%	2 2.1%	34 35.8%	7 7.4%	95 100.0%	12 7.9%	92 60.5%	1 0.7%	45 29.6%	11 7.2%	152 100.0%
80歳以上	3 4.4%	31 45.6%	1 1.5%	28 41.2%	6 8.8%	68 100.0%	0 0.0%	12 52.2%	1 4.3%	8 34.8%	2 8.7%	23 100.0%	2 4.5%	19 43.2%	0 0.0%	20 45.5%	4 9.1%	44 100.0%
全体	356 23.0%	700 45.3%	18 1.2%	571 37.0%	59 3.8%	1,545 100.0%	83 14.7%	209 36.9%	6 1.1%	278 49.1%	23 4.1%	566 100.0%	271 27.8%	489 50.2%	12 1.2%	293 30.1%	35 3.6%	975 100.0%

【図42 歯間清掃補助用具の使用状況（複数回答）】



<歯と口の健康づくりに関する目標項目>

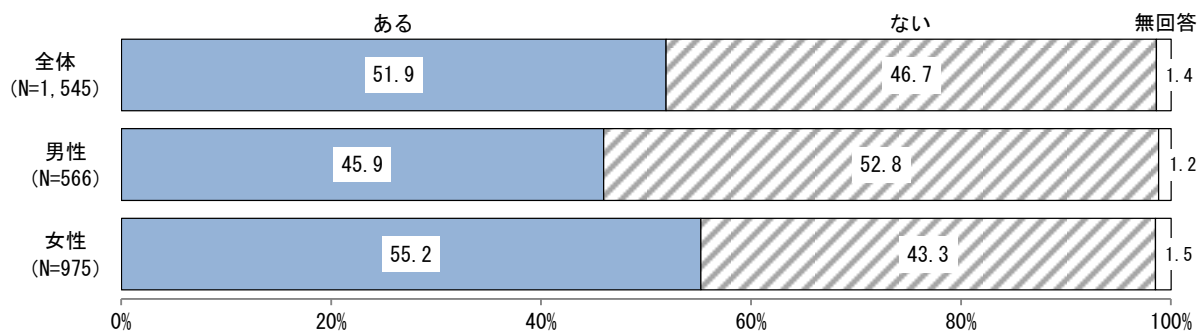
	目標値	今回調査結果
20歳以上で歯間清掃補助用具を使用している者の割合	60%以上	59.2%
壮年期(30～64歳)で歯間清掃補助用具を使用している者の割合	60%以上	61.3%

問5 この1年間に歯みがきの指導を受けたことがある人の状況

この1年間に歯みがきの指導を受けたことがある人（「ある」）は、全体の5割台（51.9%）となっている。

性別にみると、指導を受けた人（「ある」）は男性で45.9%に対し、女性では55.2%と9.3ポイント高い。

【図43 この1年間に歯みがきの指導を受けたことがある人の状況】



<歯と口の健康づくりに関する目標項目>

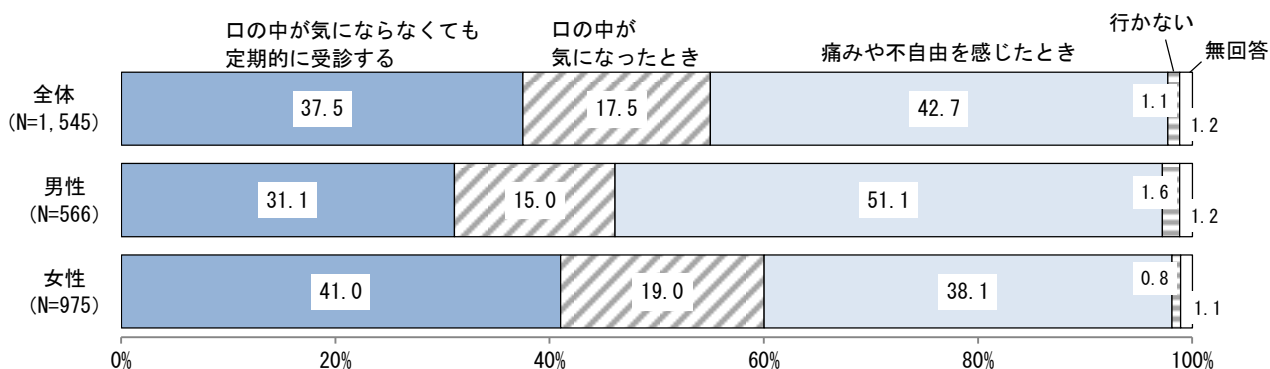
	目標値	今回調査結果
20～64歳で過去1年間に正しい歯磨きの仕方について指導を受けた者の割合	55%以上	48.7%

問6 歯科医院受診理由

歯科医院受診の理由としては、「痛みや不自由を感じたとき」で4割台（42.7%）と最も多く、次いで「口の中が気にならなくても定期的に受診する」が37.5%、「口の中が気になったとき」が17.5%となっている。

性別にみると、男性では「痛みや不自由を感じたとき」が過半数（51.1%）を占めるのに対し、女性では「口の中が気にならなくとも定期的に受診する」が41.0%と最も多くなっている。

【図44 歯科医院受診理由】



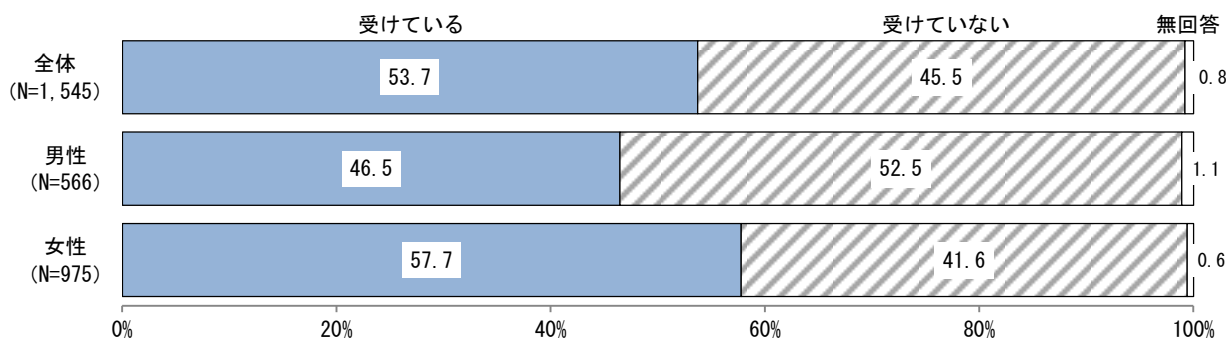
問7 定期的な歯科健診の受診状況

定期的に歯科健診を受けている人（「受けている」）は、全体の5割台（53.7%）となっている。

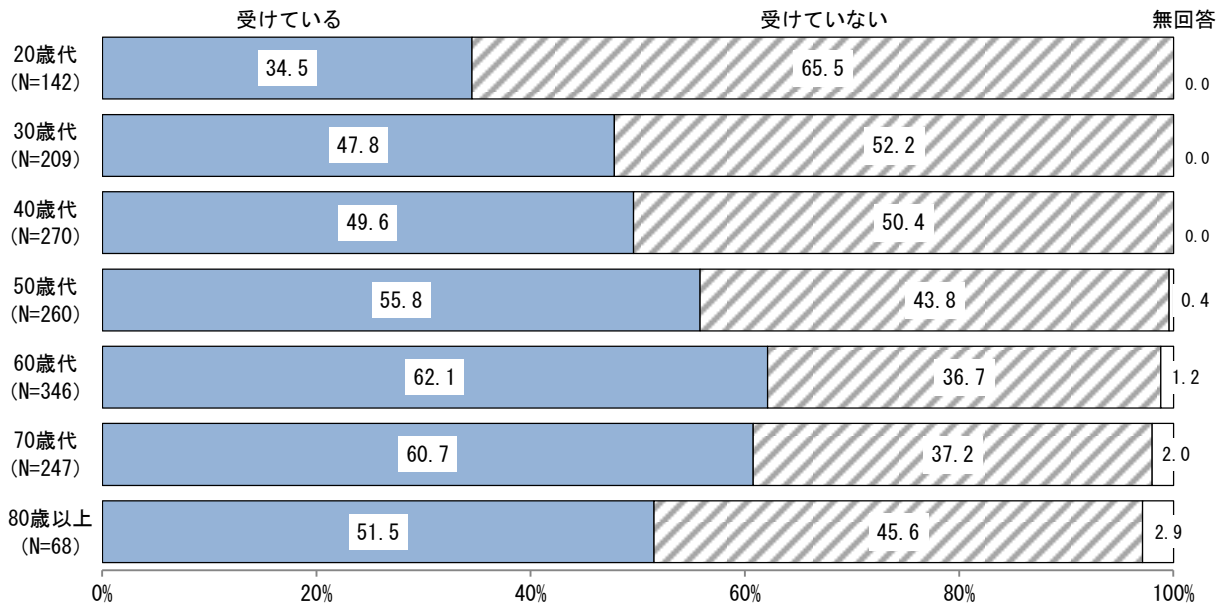
性別にみると、受診している人（「受けている」）は男性で46.5%に対し、女性では57.7%と11.2ポイント高い。

年齢別にみると、受診している人（「受けている」）は60歳代で62.1%と最も多く、次いで70歳代で60.7%となっており、50歳代以上で過半数を占めている。一方、20歳代では3割台（34.5%）にとどまっている。

【図45 性別 定期的な歯科健診の受診状況】



【図46 年齢別 定期的な歯科健診の受診状況】



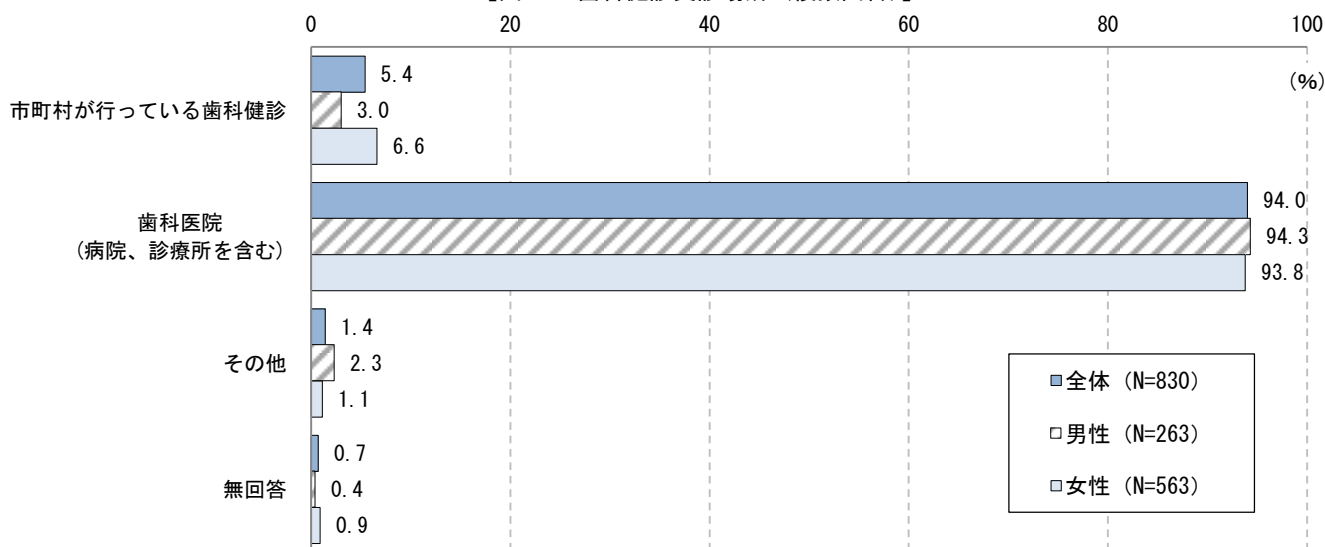
<歯と口の健康づくりに関する目標項目>

	目標値	今回調査結果
20歳以上で定期的に歯科健診を受けている者の割合	55%以上	53.7%

問7付問1 歯科健診受診場所（複数回答）

定期的に歯科健診を受けている人の受診場所としては、「歯科医院（病院、診療所を含む）」が94.0%と最も多く、「市町村が行っている歯科健診」は5.4%にとどまっている。

【図47 歯科健診受診場所（複数回答）】

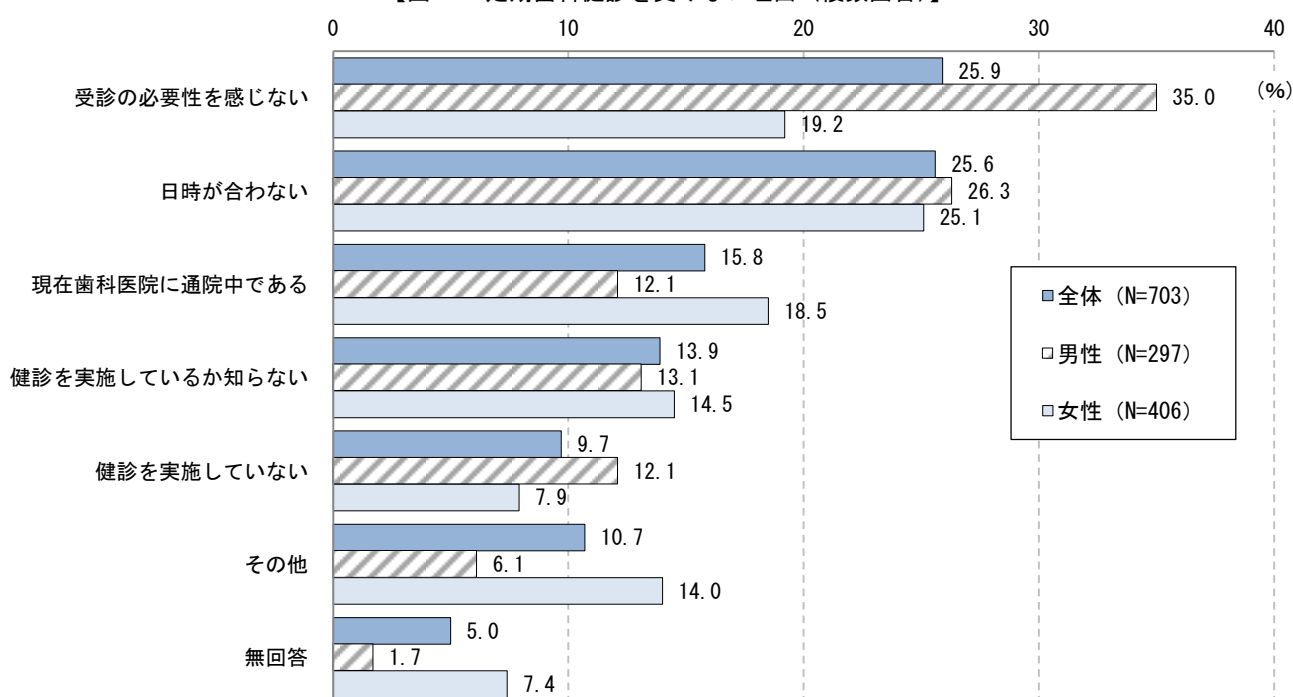


問7付問2 定期歯科健診を受けない理由（複数回答）

定期的に歯科健診を受けていない人の理由としては、「受診の必要性を感じない」が25.9%、「日時が合わない」が25.6%と多くなっている。

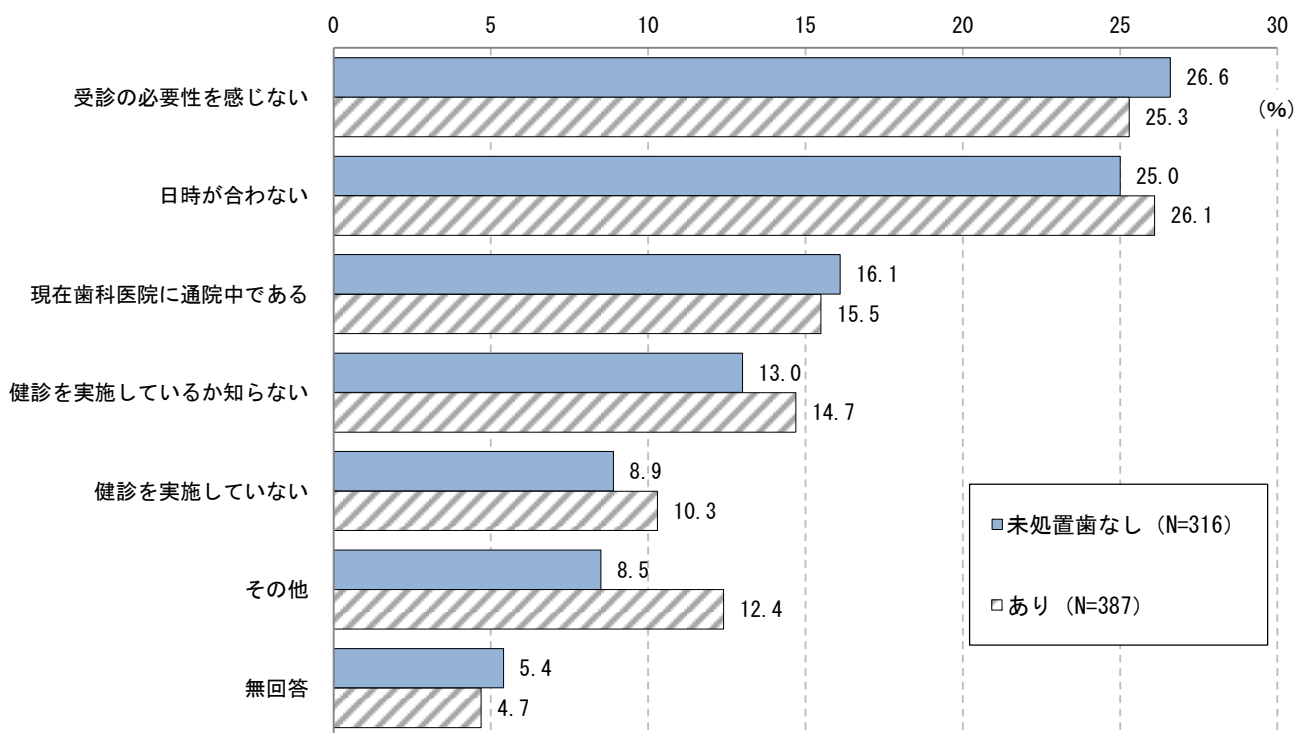
性別にみると、男性では「受診の必要性を感じない」が35.0%、女性では「日時が合わない」が25.1%とそれぞれ最も多くなっている。

【図48 定期歯科健診を受けない理由（複数回答）】



未処置歯の有無別にみると、未処置歯がある人では「日時が合わない」が26.1%、ない人では「受診の必要性を感じない」が26.6%とそれぞれ最も多くなっている。

【図 49 未処置歯の有無別 定期歯科健診を受けない理由（複数回答）】

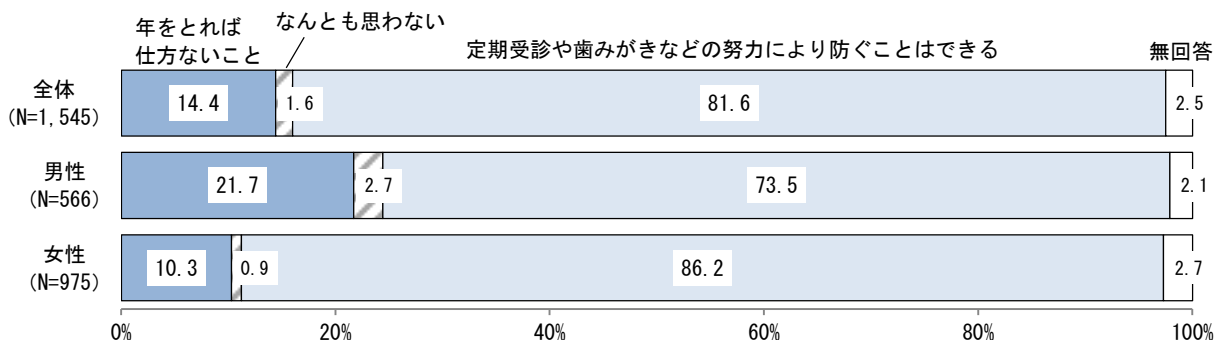


問8 歯を失うことについての意識

歯を失うことについての意識としては、「定期受診や歯みがきなどの努力により防ぐことはできる」が8割台（81.6%）を占めており、「年をとれば仕方ないこと」が14.4%と続いている。

性別にみると、「年をとれば仕方ないこと」が女性で10.3%に対し、男性では21.7%と11.4ポイント高くなっている。

【図 50 歯を失うことについての意識】

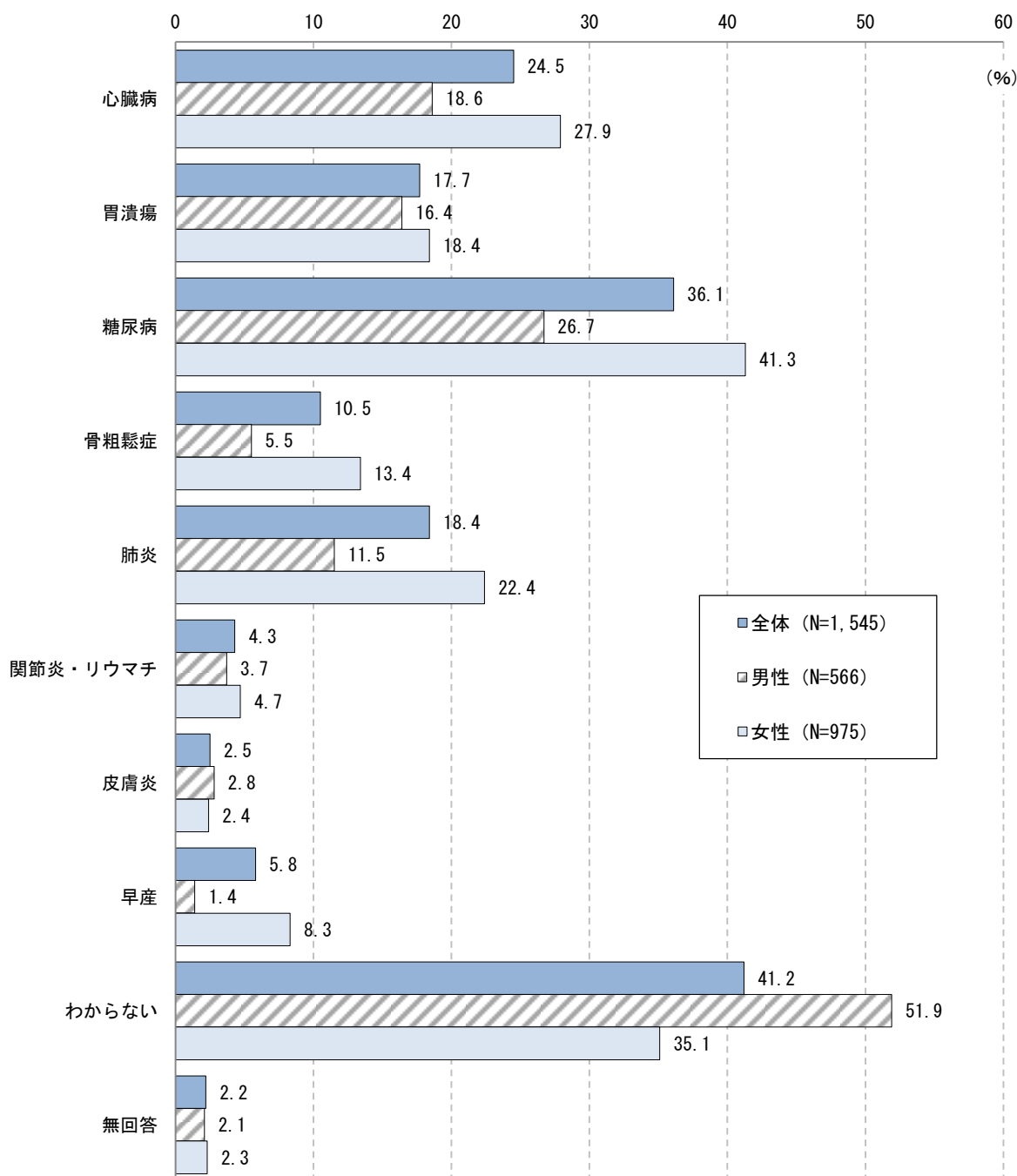


問9 口の中の細菌についての知識（複数回答）

口の中の細菌と関係があると思うものとしては「わからない」が4割台（41.2%）を占める。いずれかとの関係があるうちでは「糖尿病」が36.1%と多く、次いで「心臓病」が24.5%となっている。

性別にみると、関係があるとされる概ねいずれの項目も男性に比べて女性のほうが割合が多くなっている。一方、男性では「わからない」が過半数（51.9%）を占める。

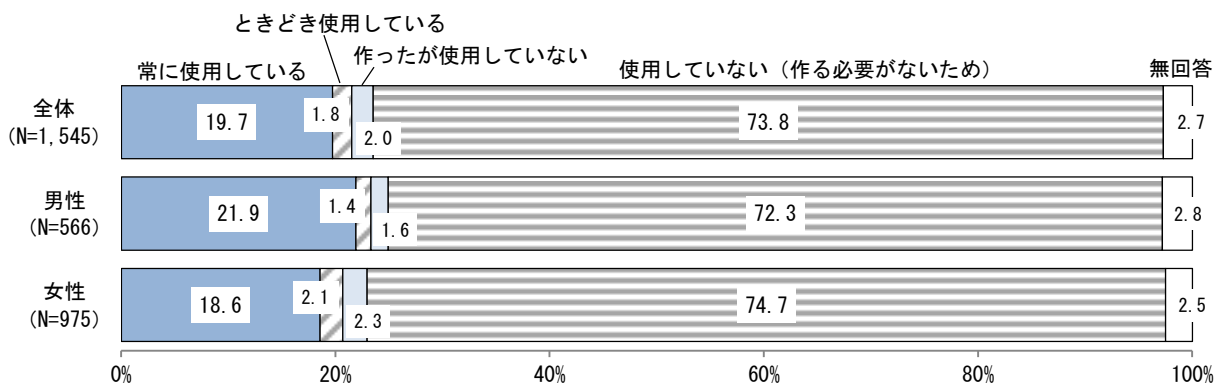
【図 51 口の中の細菌についての知識（複数回答）】



問 10 入れ歯の使用状況

入れ歯の使用状況としては、「使用していない（作る必要がないため）」が7割台（73.8%）となっており、「常に使用している」が19.7%と続いている。

【図 52 入れ歯の使用状況】

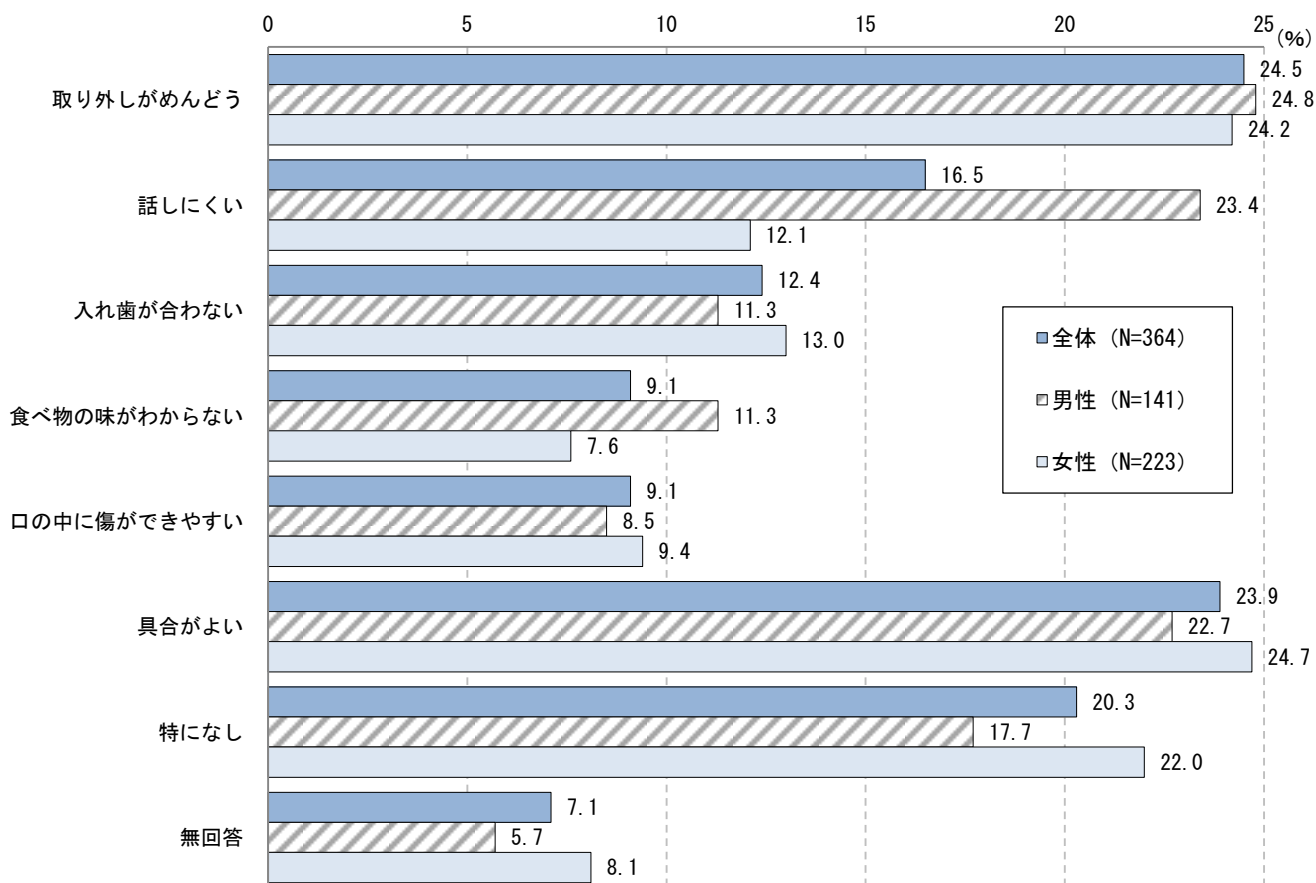


問 10 付問 入れ歯を使用した時の感想（複数回答）

入れ歯を使用している人の感想としては、「取り外しがめんどろ」が24.5%と最も多い。一方、「具合がよい」が23.9%、「特になし」が20.3%と次いで多くなっている。

性別にみると、「話しにくい」が女性で12.1%に対し、男性では23.4%と11.3ポイント高い。

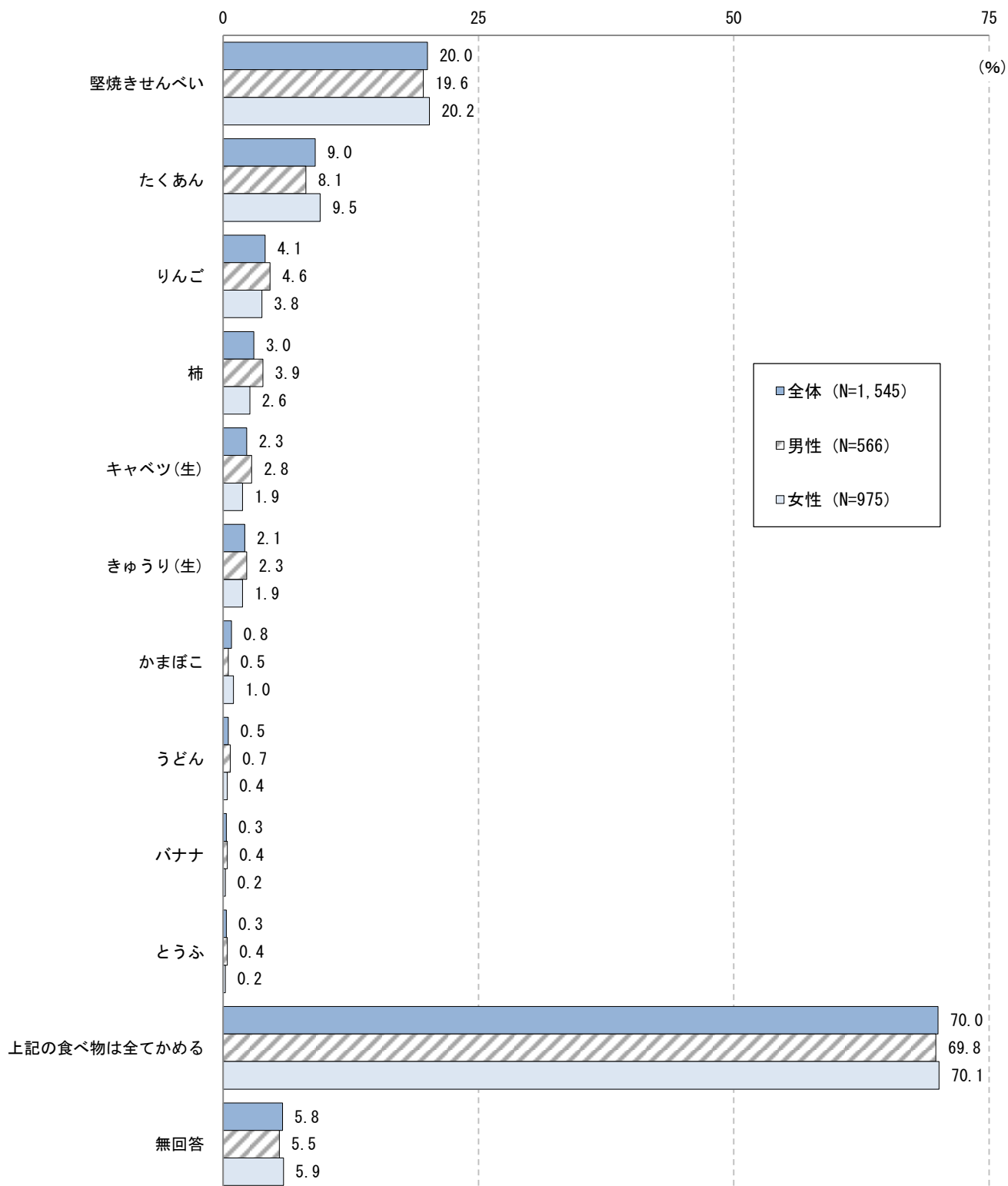
【図 53 入れ歯を使用した時の感想（複数回答）】



問 11 かみにくい食べ物（複数回答）

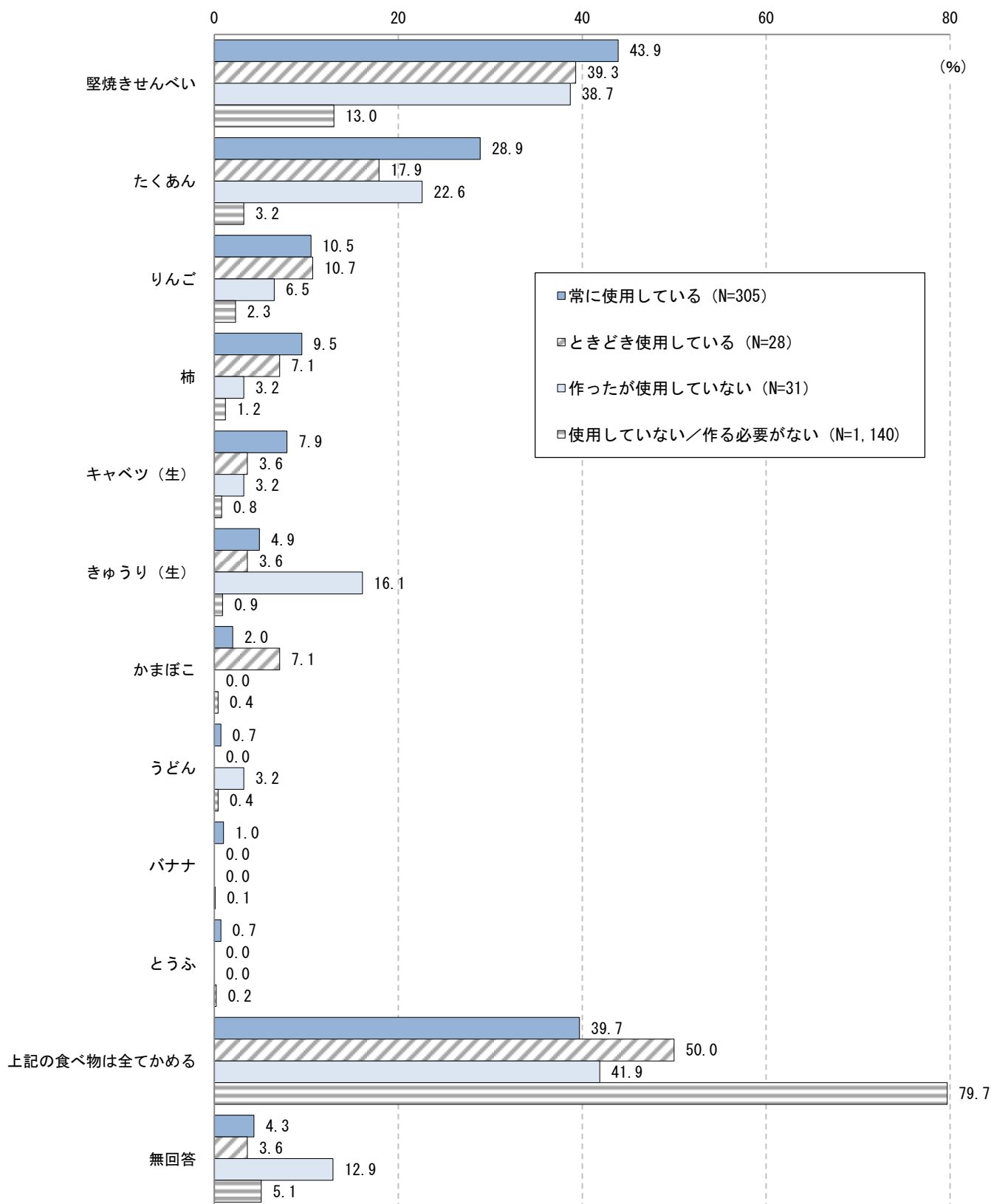
かみにくい食べ物があるという人は全体の2割台（24.2%）となっており、その内訳でみると「堅焼きせんべい」が20.0%と多く、次いで「たくあん」が9.0%、「りんご」が4.1%、「柿」が3.0%となっている。

【図 54 かみにくい食べ物（複数回答）】



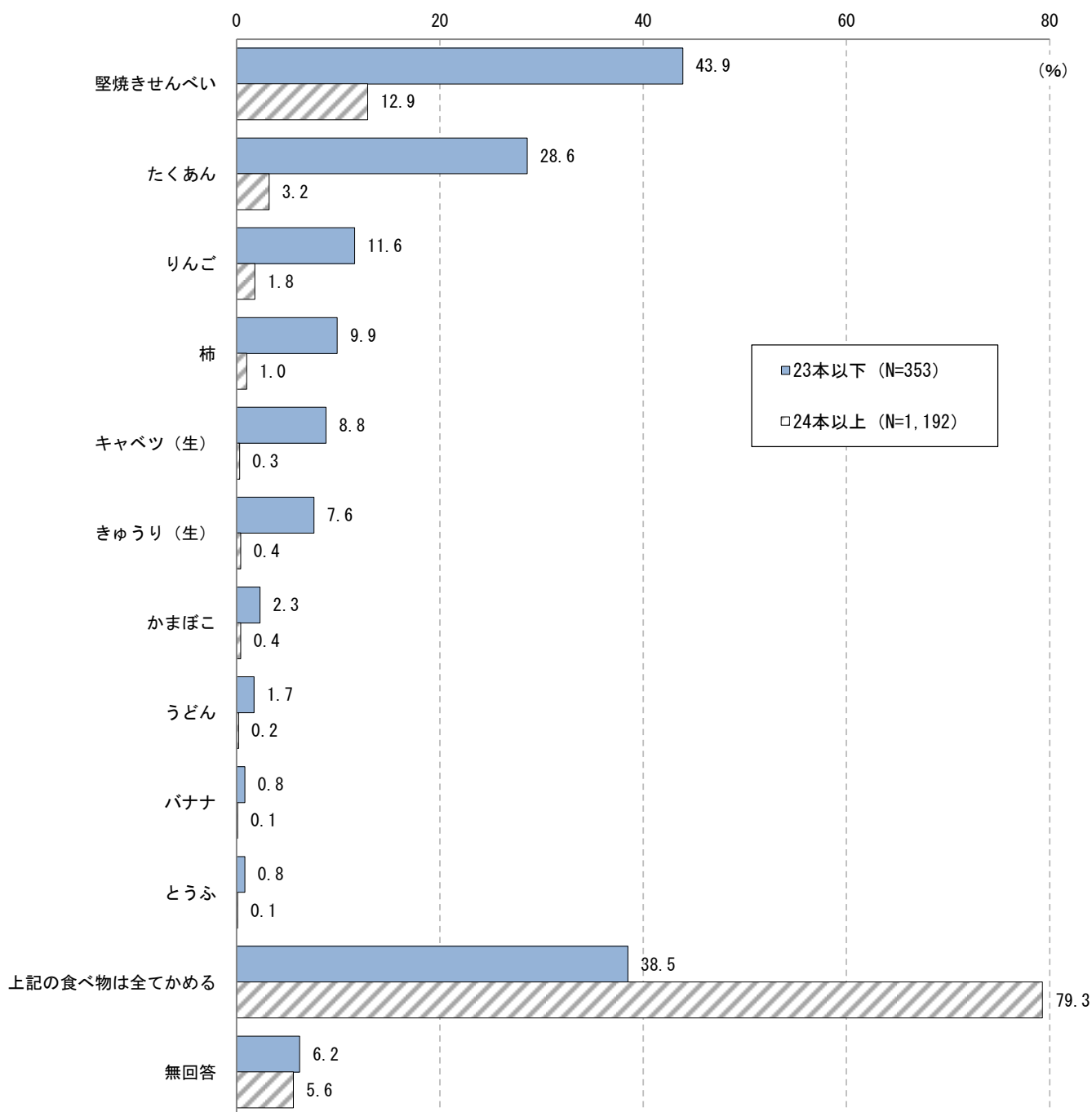
入れ歯の使用状況別にみると、「上記の食べ物は全てかめる」は“使用していない”で約8割(79.7%)を占めるのに対し、“常に使用している”では約4割(39.7%)にとどまっている。また、概ねいずれの食べ物についても、入れ歯使用者で割合が最も多くなっている。

【図 55 入れ歯の使用状況別 かみにくい食べ物（複数回答）】



現在歯数別にみると、「上記の食べ物は全てかめる」は“24本以上*”で約8割（79.3%）を占めるのに対し、“23本以下”では3割台（38.5%）にとどまっている。また、いずれの食べ物についても、“23本以下”のほうが割合が多くなっている。

【図 56 現在歯数別 かみにくい食べ物（複数回答）】



※「8020（ハチマル・ニイマル）運動」：80歳になっても自分の歯を20本以上保とうという運動

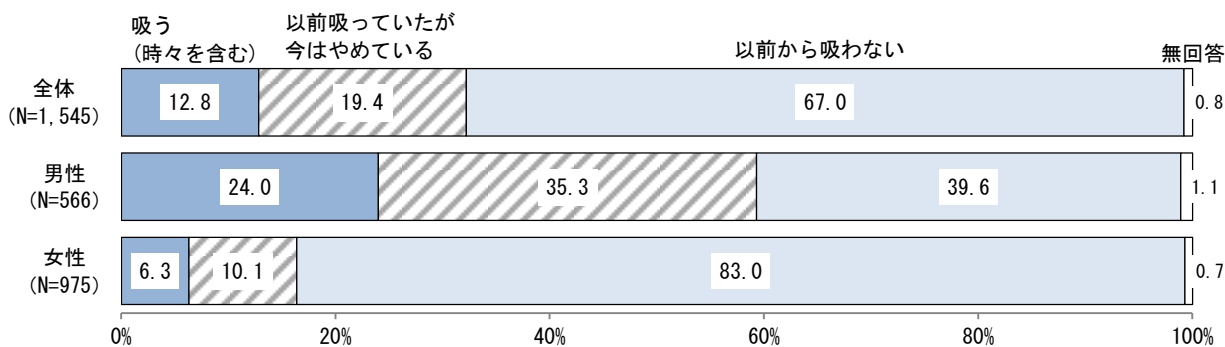
「6024（ロクマル・ニイヨン）運動」：60歳で自分の歯を24本以上*保とうという運動

問 12 喫煙の状況

喫煙の状況としては、「以前から吸わない」が 67.0%と最も多く、次いで「以前吸っていたが今はやめている」が 19.4%、「吸う（時々を含む）」が 12.8%となっている。

性別にみると、女性では「以前から吸わない」が 8割台（83.0%）を占めるのに対し、男性では喫煙経験者が約 6割（59.3%）みられる。

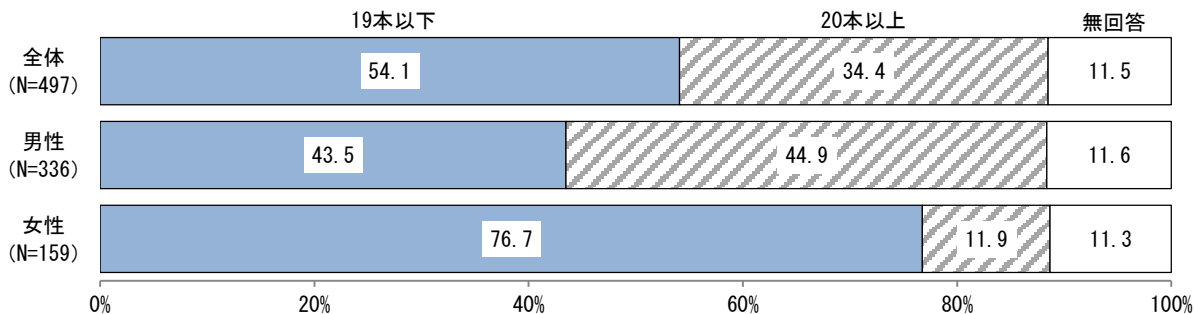
【図 57 喫煙の状況】



問 12 付問 1 喫煙本数

喫煙経験者の 1 日の喫煙本数としては、「19 本以下」が 54.1%、「20 本以上」が 34.4%となっている。性別にみると、「20 本以上」が女性で 11.9%に対し、男性では 44.9%と 33 ポイント高い。

【図 58 喫煙本数】

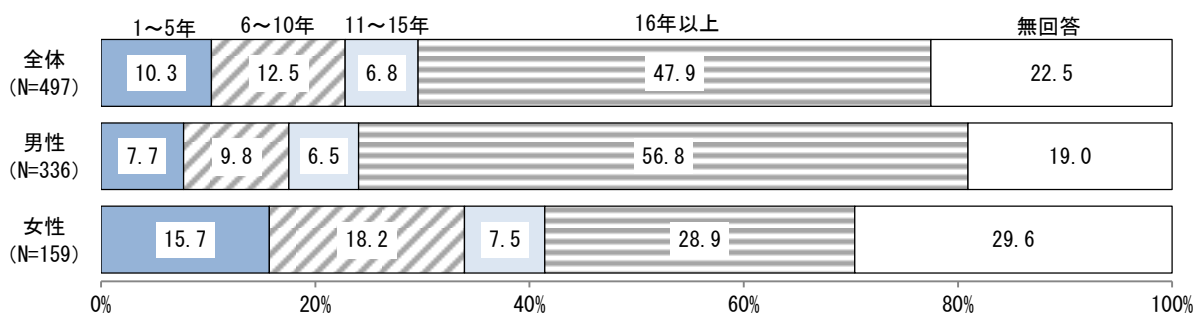


問 12 付問 2 喫煙年数

喫煙経験者の喫煙年数としては、「16 年以上」が 47.9%と最も多く、次いで「6～10 年」が 12.5%、「1～5 年」が 10.3%となっている。

性別にみると、「16 年以上」が女性で 28.9%に対し、男性では 56.8%と 27.9 ポイント高い。

【図 59 喫煙年数】

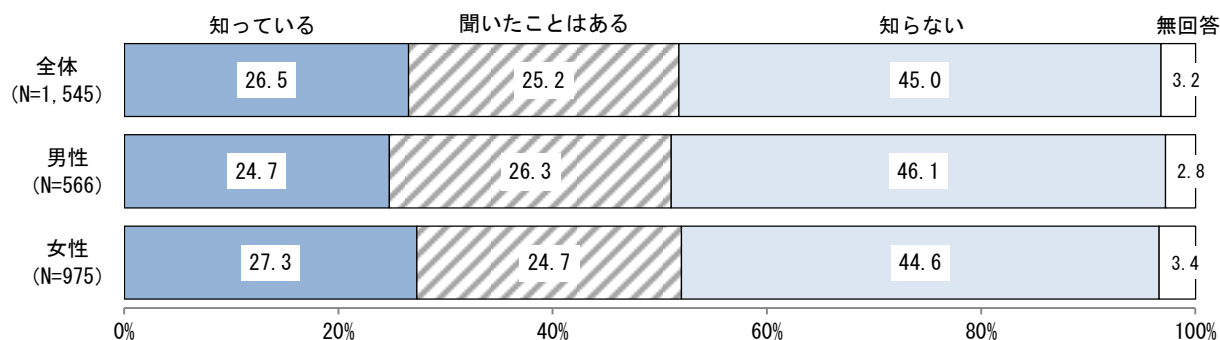


問 13 たばこと歯周病の関係についての知識

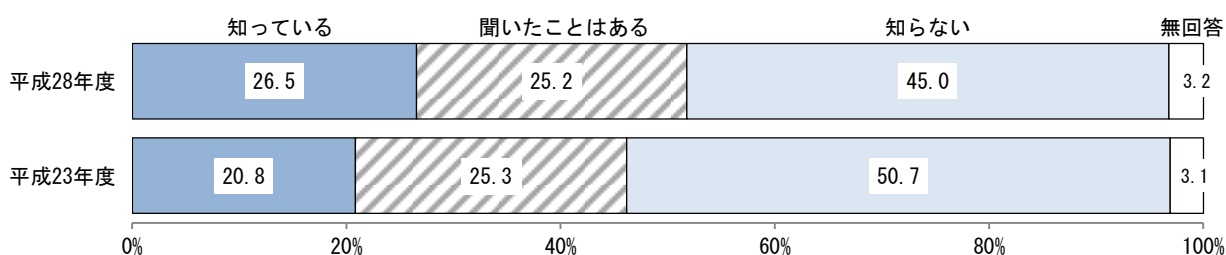
たばこと歯周病の関係について、「知らない」が45.0%と最も多く、次いで「知っている」が26.5%、「聞いたことはある」が25.2%となっている。

前回調査と比較すると、「知っている」（前回20.8%）は5.7ポイント増加している。

【図 60 たばこと歯周病の関係についての知識】



【図 61 経年 たばこと歯周病の関係についての知識】



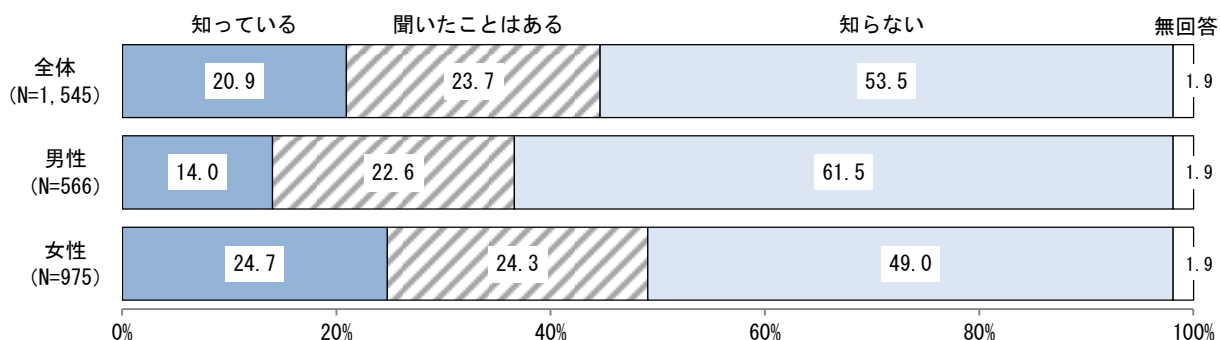
問 14 糖尿病と歯周病の治療効果の関係についての知識

糖尿病と歯周病の治療効果の関係について、「知らない」が過半数（53.5%）を占めており、次いで「聞いたことはある」が23.7%、「知っている」が20.9%となっている。

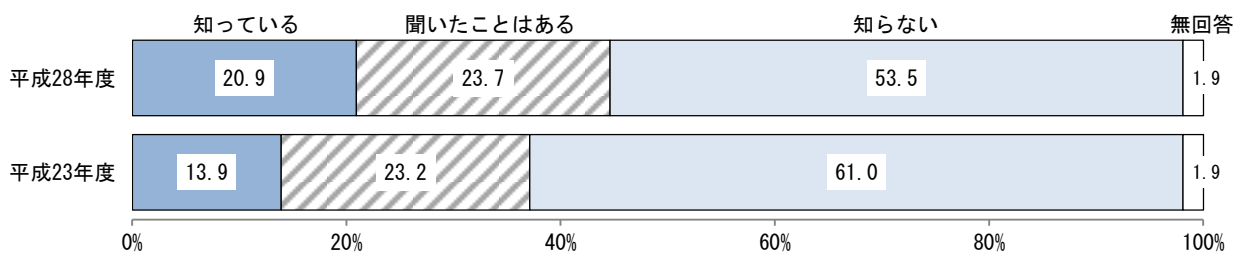
性別にみると、「知っている」が男性で14.0%に対し、女性では24.7%と10.7ポイント高い。

前回調査と比較すると、「知っている」（前回13.9%）は7ポイント増加している。

【図 62 糖尿病と歯周病の治療効果の関係についての知識】



【図 63 経年 糖尿病と歯周病の治療効果の関係についての知識】

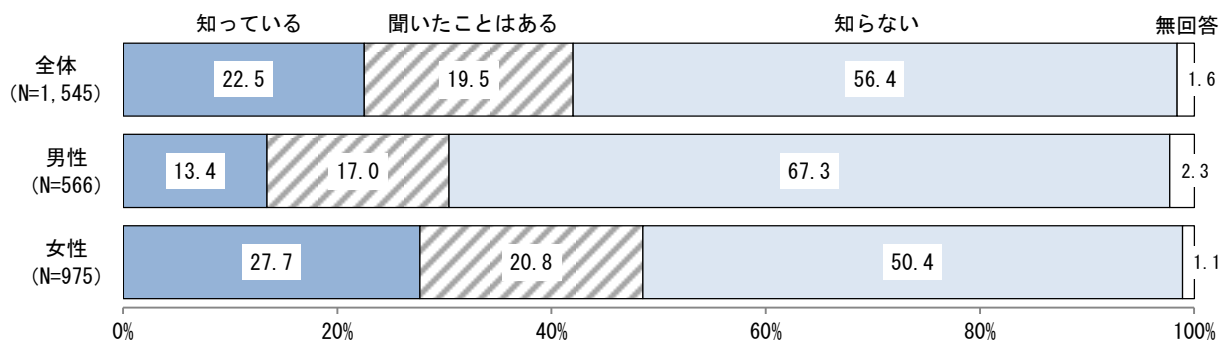


問 15 口腔ケアと誤嚥性肺炎の予防の関係についての知識

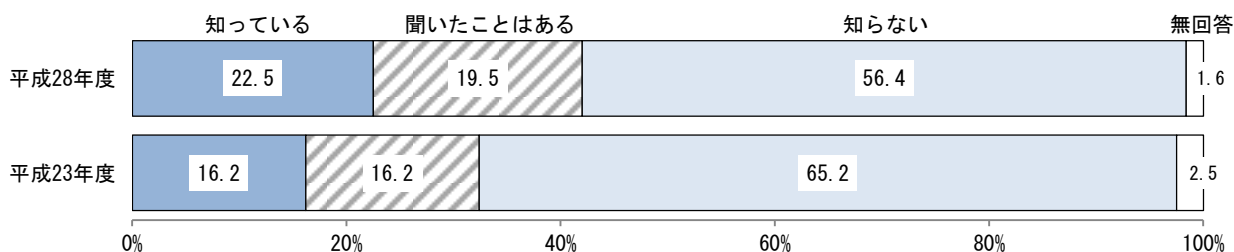
口腔ケアと誤嚥性肺炎の予防の関係について、「知らない」が過半数（56.4%）を占めており、次いで「知っている」が22.5%、「聞いたことはある」が19.5%となっている。

性別にみると、「知っている」が男性で13.4%に対し、女性では27.7%と14.3ポイント高い。前回調査と比較すると、「知っている」（前回16.2%）は6.3ポイント増加している。

【図 64 口腔ケアと誤嚥性肺炎の予防の関係についての知識】



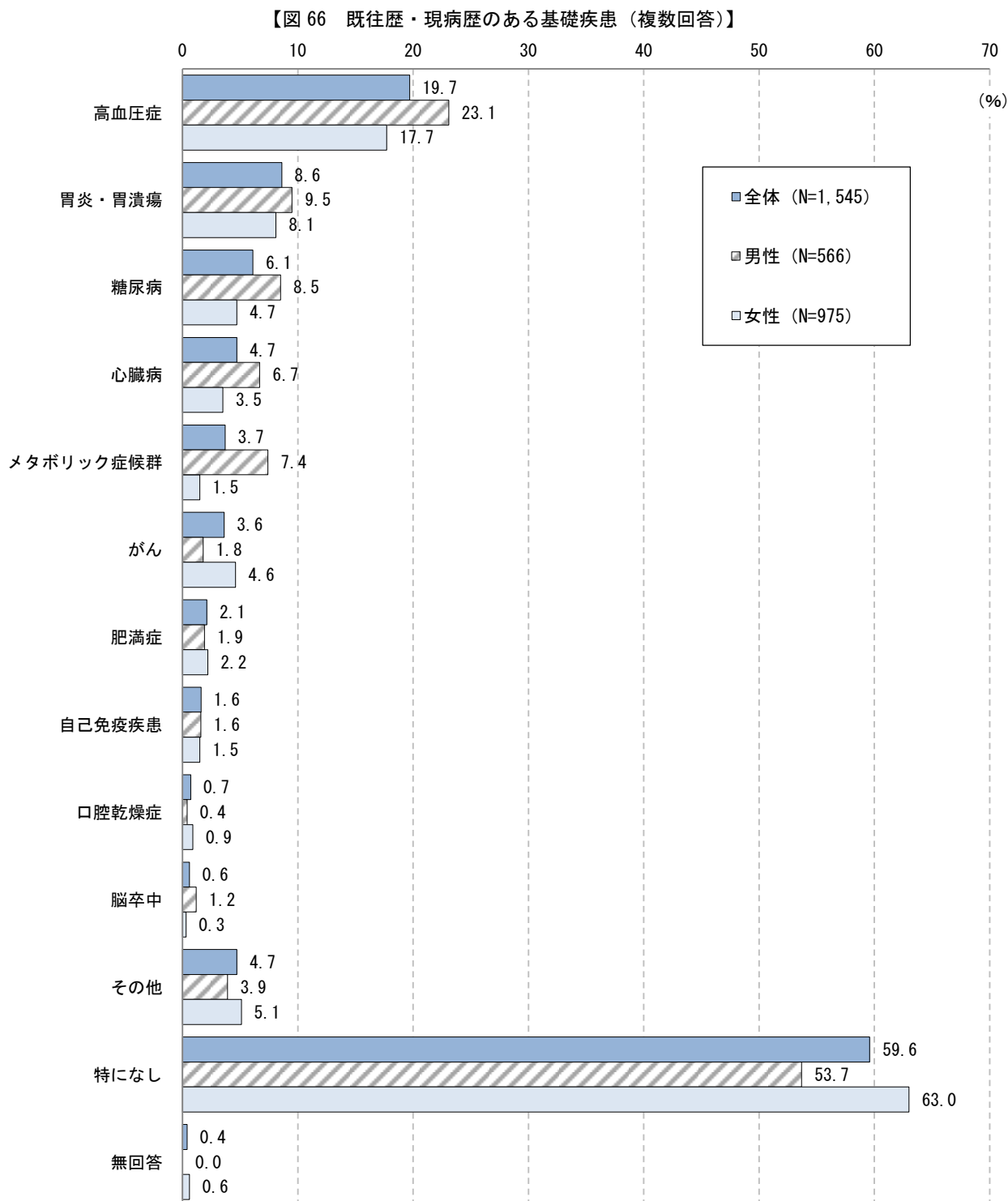
【図 65 経年 口腔ケアと誤嚥性肺炎の予防の関係についての知識】



問 16 既往歴・現病歴のある基礎疾患（複数回答） ※口腔診査票<6>といずれかで回答の基礎疾患についてに集計

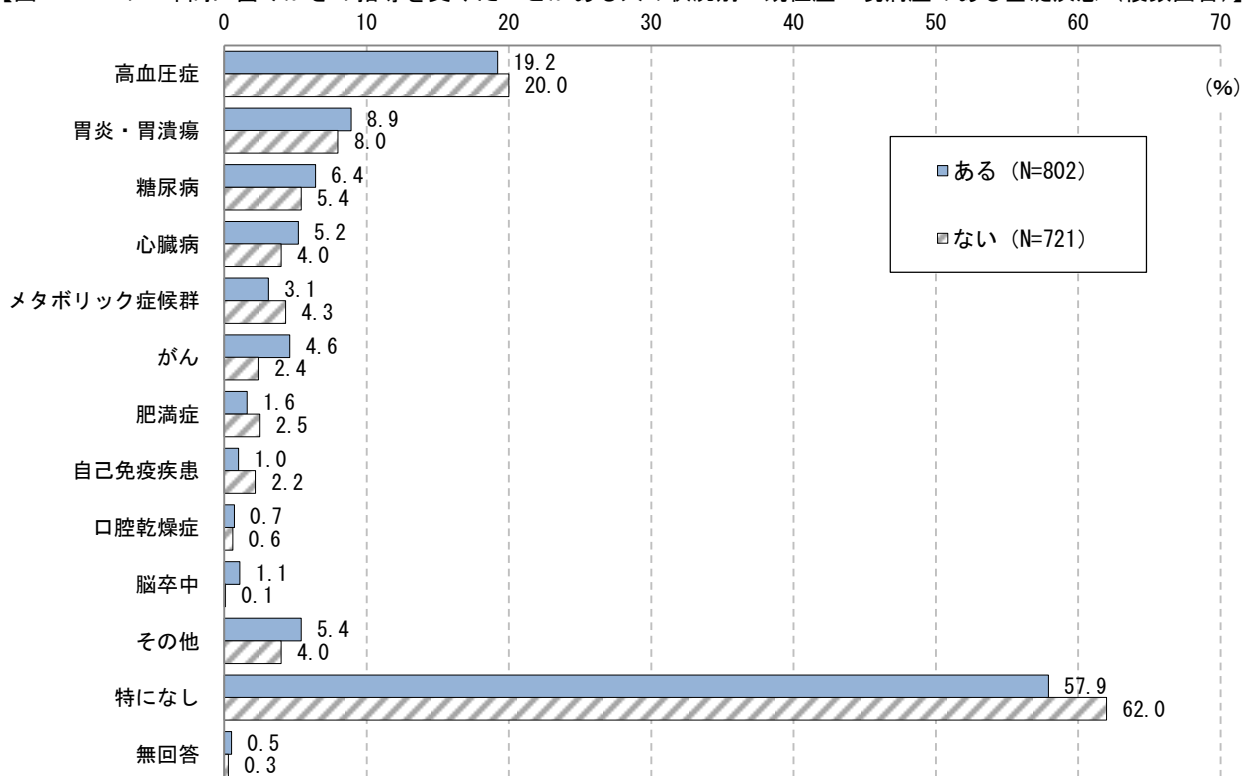
いずれかの治療中または既往歴のある基礎疾患がある人は全体の4割（40.0%）となっており、その内訳としては、「高血圧症」が19.7%と多く、次いで「胃炎・胃潰瘍」が8.6%、「糖尿病」が6.1%、「心臓病」が4.7%となっている。

性別にみると、いずれかの基礎疾患があるうちではほとんどの項目で男性のほうが割合が多く、特に「高血圧症」（男性23.1%、女性17.7%）、「メタボリック症候群」（男性7.4%、女性1.5%）では5ポイント以上高くなっている。



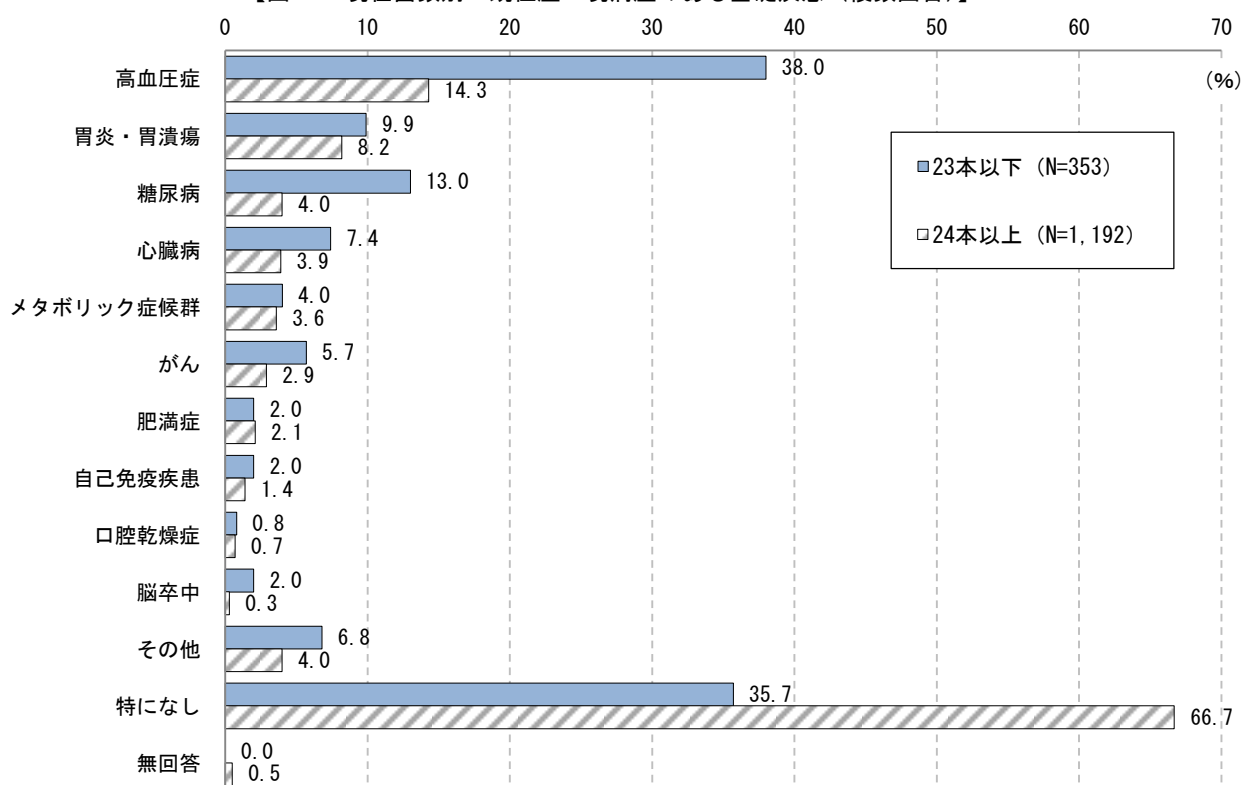
この1年間に歯みがきの指導を受けたことがある人の状況別にみると、いずれかの基礎疾患がある人は、指導を受けたことがない人で37.7%に対し、ある人では41.6%と3.9ポイント高い。

【図 67 この1年間に歯みがきの指導を受けたことがある人の状況別 既往歴・現病歴のある基礎疾患（複数回答）】



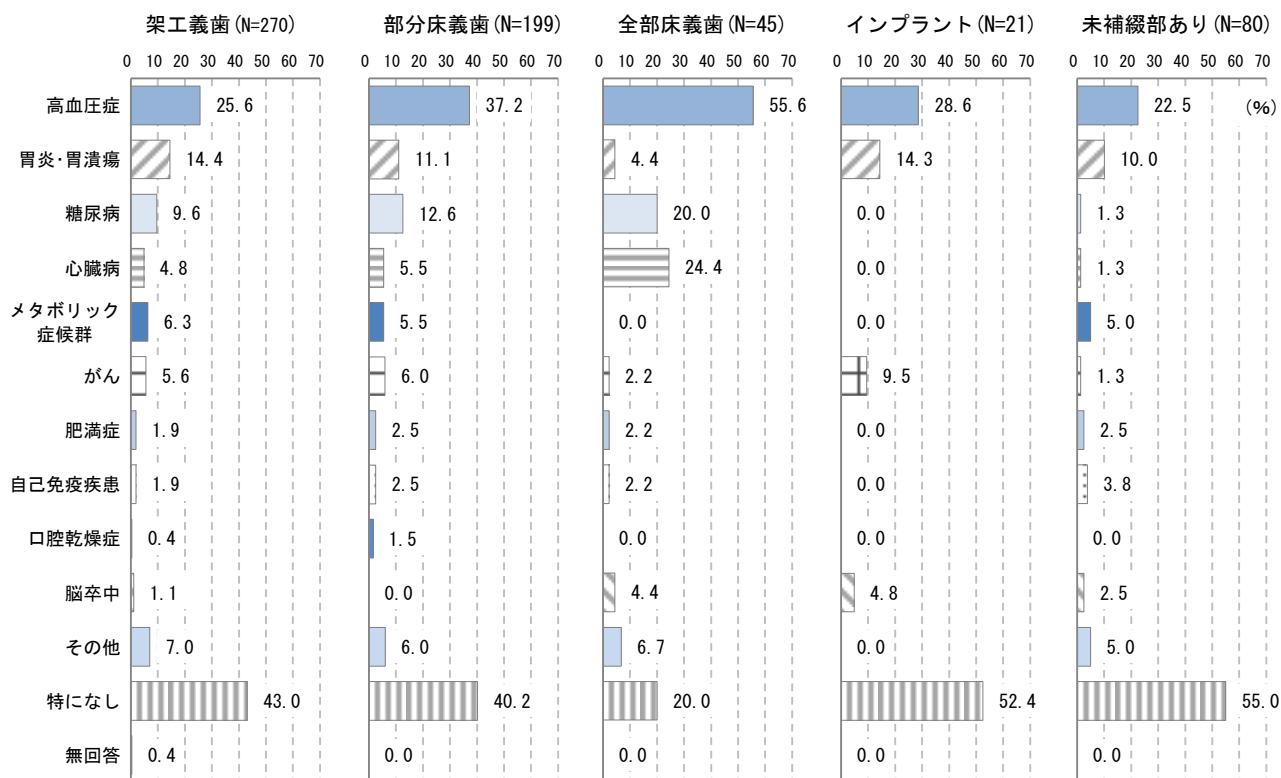
現在歯数別にみると、いずれの基礎疾患についても“24本以上”に比べて“23本以下”のほうが多くなっており、特に「高血圧症」（23本以下38.0%、24本以上14.3%）では23.7ポイント高い。

【図 68 現在歯数別 既往歴・現病歴のある基礎疾患（複数回答）】

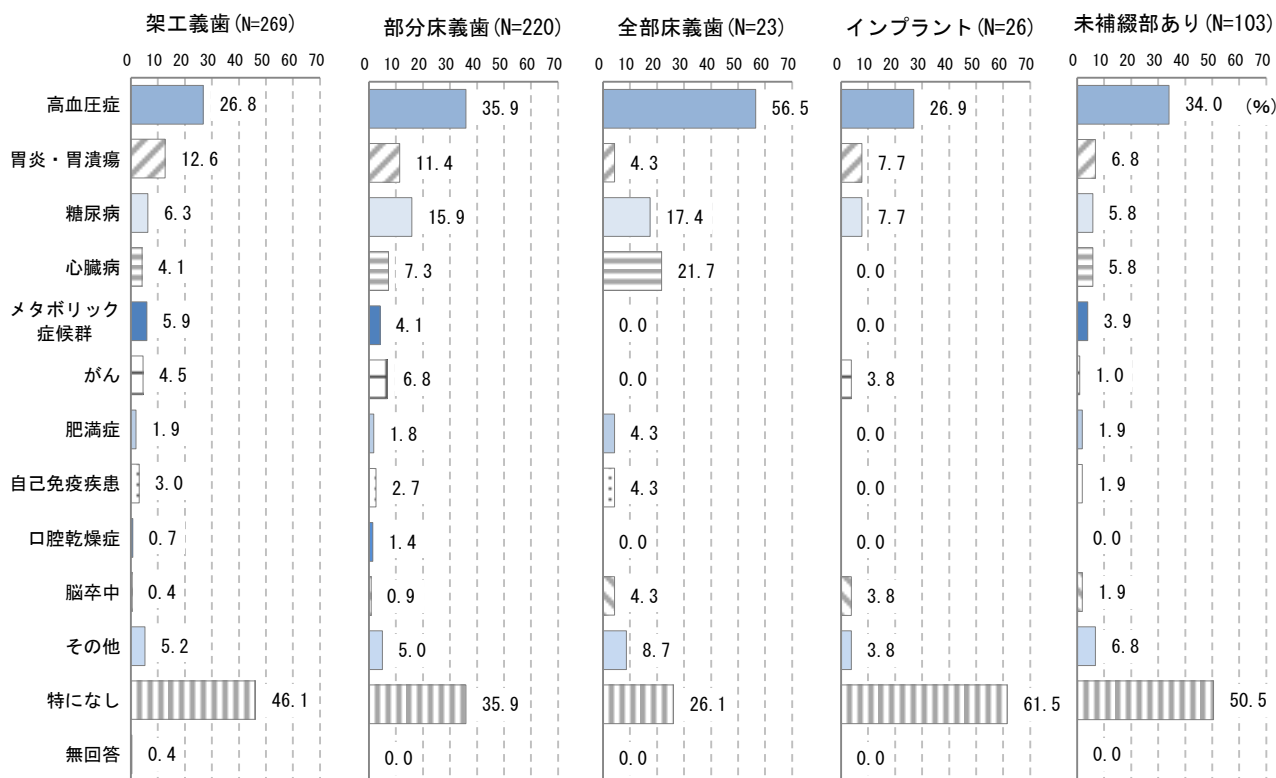


欠損補綴の状況別にみると、いずれか該当の基礎疾患のうちではいずれの欠損補綴の状況においても「高血圧症」の割合が最も多くなっており、上顎・下顎ともに“全部床義歯”で5割台と多く、次いで“部分床義歯”で3割台となっている。

【図 69 欠損補綴の状況『上顎』別 既往歴・現病歴のある基礎疾患（複数回答）】

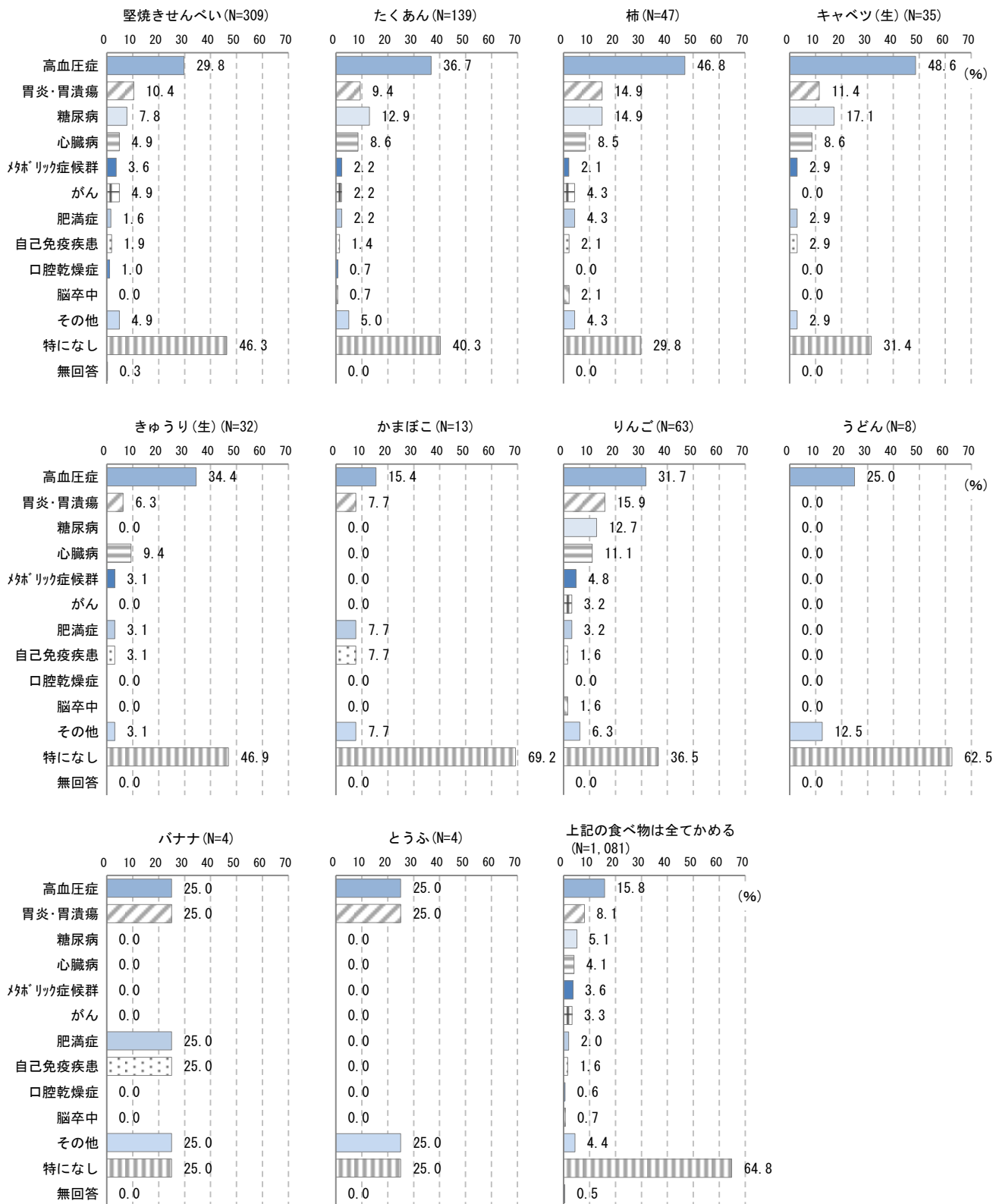


【図 70 欠損補綴の状況『下顎』別 既往歴・現病歴のある基礎疾患（複数回答）】



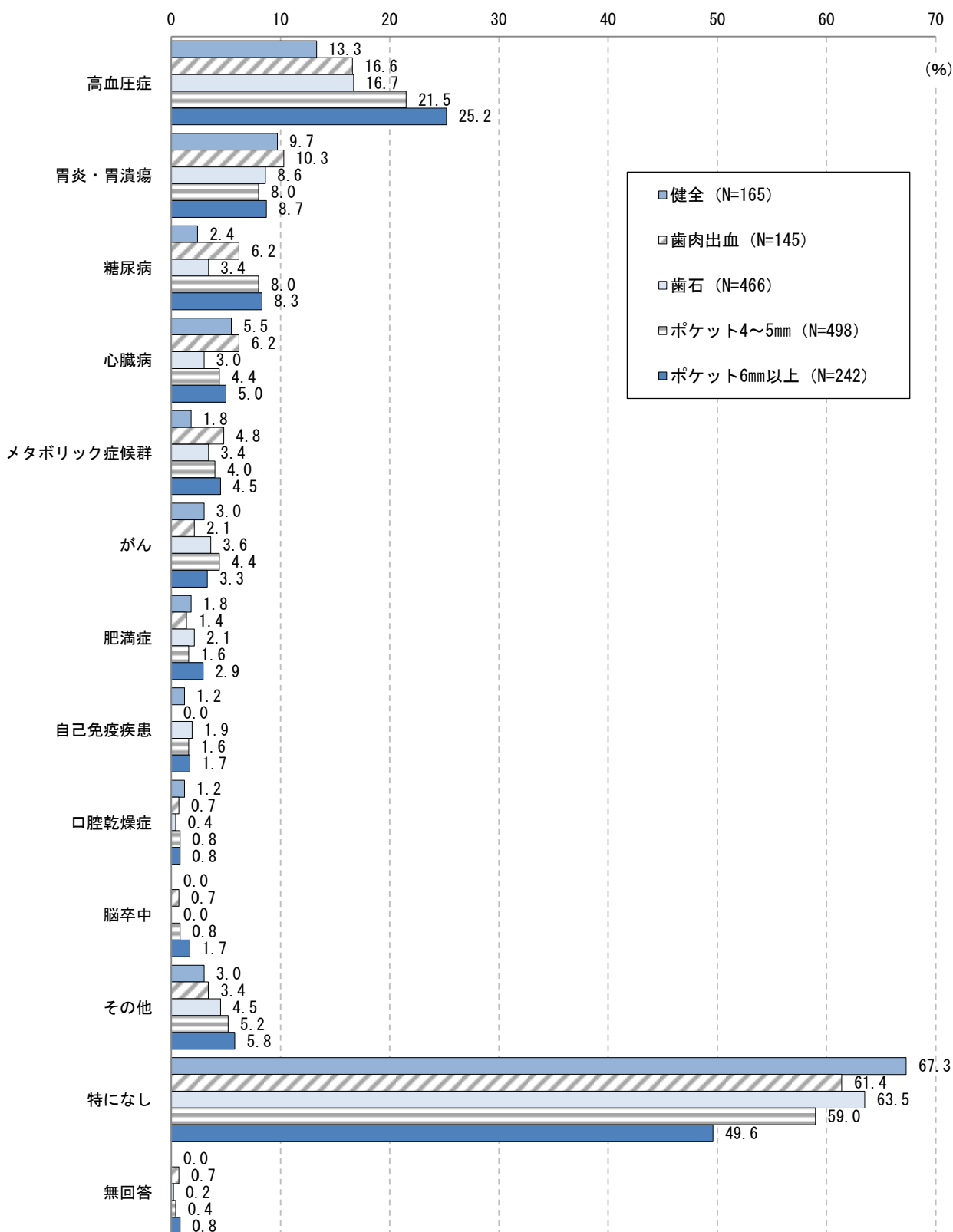
かみにくい食べ物別にみると、“上記の食べ物は全てかめる”ではいずれかの基礎疾患がある割合が34.7%と、比較的少なくなっている。

【図71 かみにくい食べ物別 既往歴・現病歴のある基礎疾患（複数回答）】



歯肉の状況（CPIコード）別にみると、いずれかの基礎疾患がある割合は、“ポケット6mm”で約5数（49.6%）と最も多くなっている。また、「高血圧症」が“ポケット6mm”で25.2%、“ポケット4～5mm”で21.5%と、歯肉に炎症所見を有する人で割合が多くなっている。

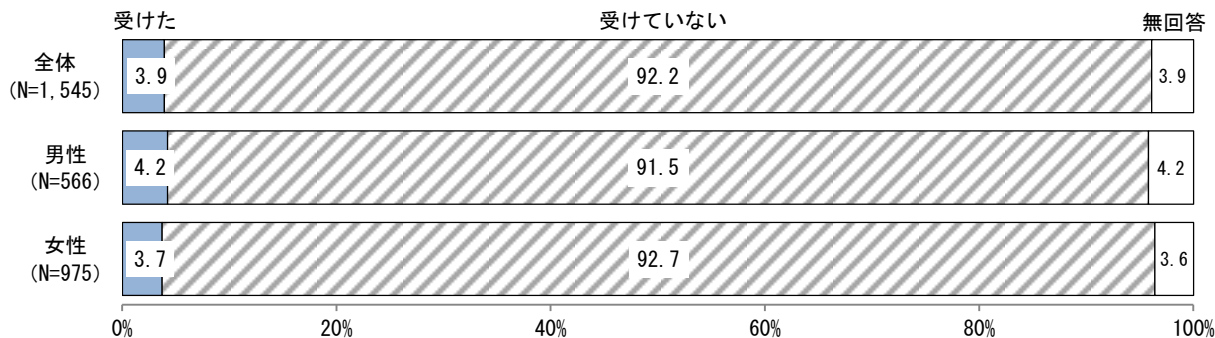
【図 72 歯肉の状況（CPIコード）別 既往歴・現病歴のある基礎疾患（複数回答）】



問 17（1） 心臓病やがん等の手術または化学療法・放射線治療の経験

心臓病やがん等の手術または化学療法・放射線治療を「受けた」という人は3.9%となっている。

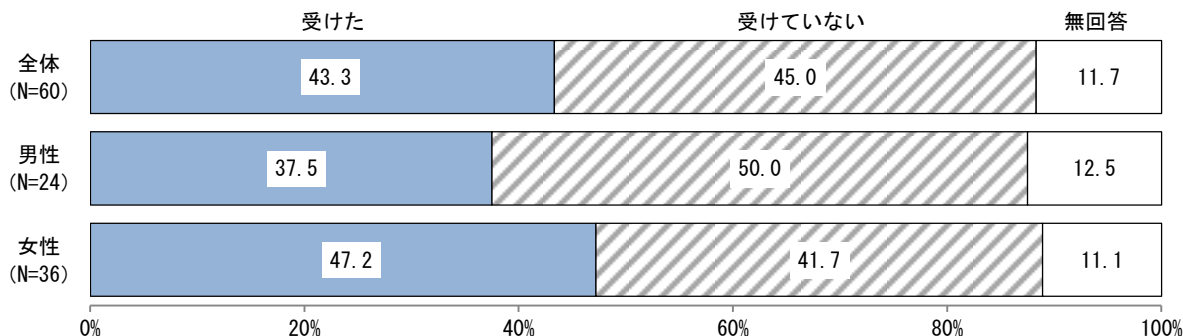
【図 73 心臓病やがん等の手術または化学療法・放射線治療の経験】



問 17（2） 手術等を受けた際の口腔ケアの状況

手術や化学療法・放射線治療を受けた際に口腔ケアを「受けた」という人は43.3%となっている。

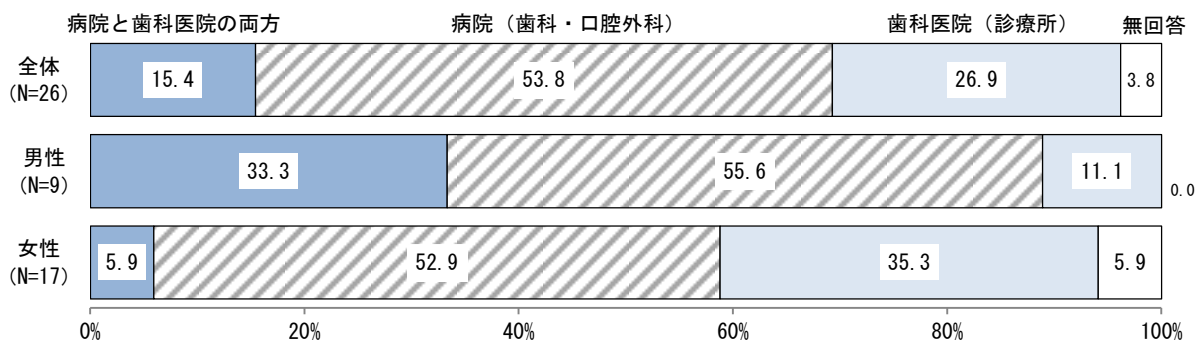
【図 74 手術等を受けた際の口腔ケアの状況】



問 17（2） 付問 口腔ケアを受けた場所

手術や化学療法・放射線治療の際の口腔ケアについて、病院で受けた人が69.2%、歯科医院で受けた人が42.3%となっている。

【図 75 口腔ケアを受けた場所】

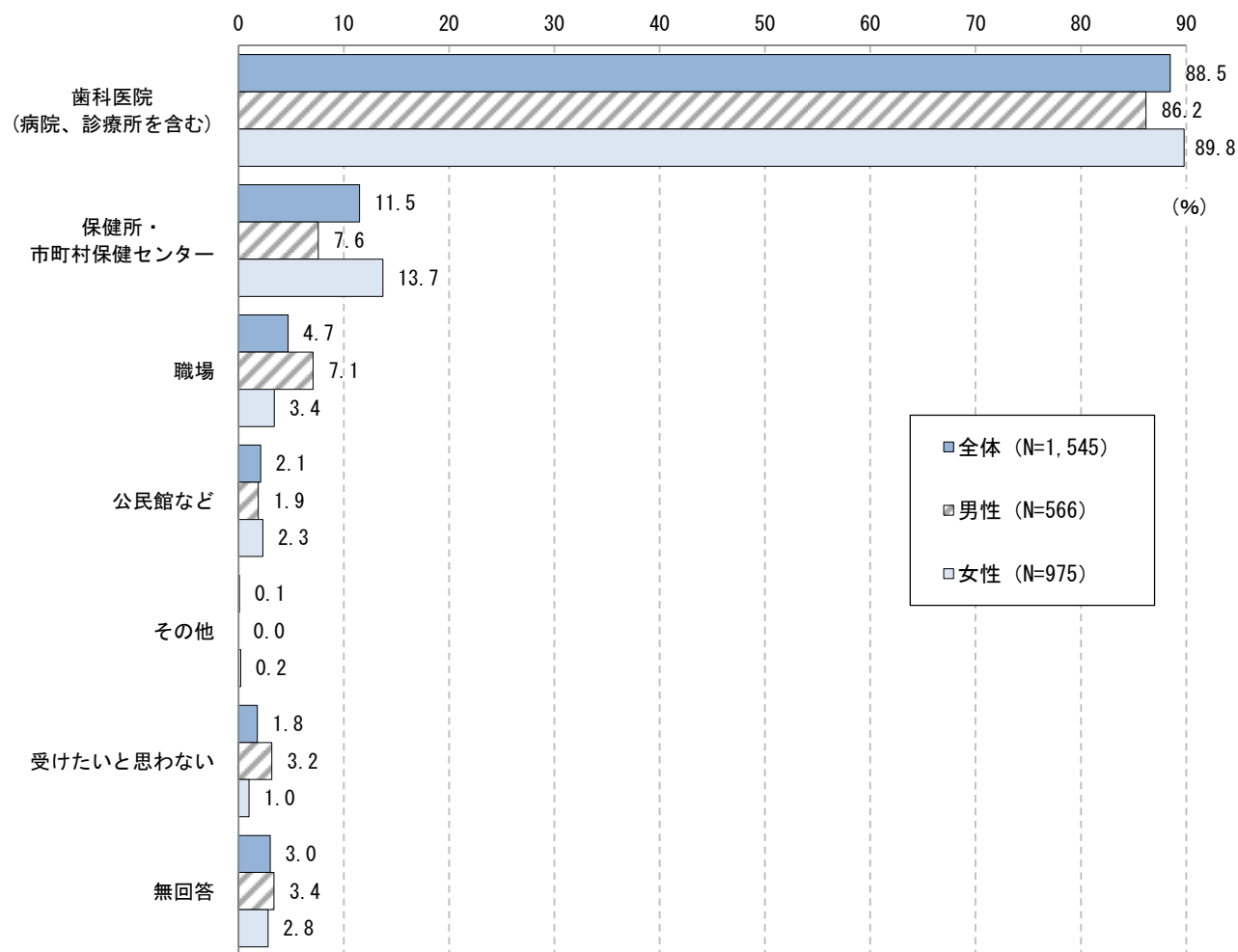


問 18 歯科健康相談・指導場所についての希望

歯科健康相談・指導場所についての希望としては、「歯科医院（病院、診療所を含む）」が88.5%と最も多く、次いで「保健所・市町村保健センター」が11.5%、「職場」が4.7%となっている。

性別にみると、「歯科医院（病院、診療所を含む）」「保健所・市町村保健センター」については女性のほうが多く、「職場」については男性のほうが多くなっている。

【図 76 歯科健康相談・指導場所についての希望】

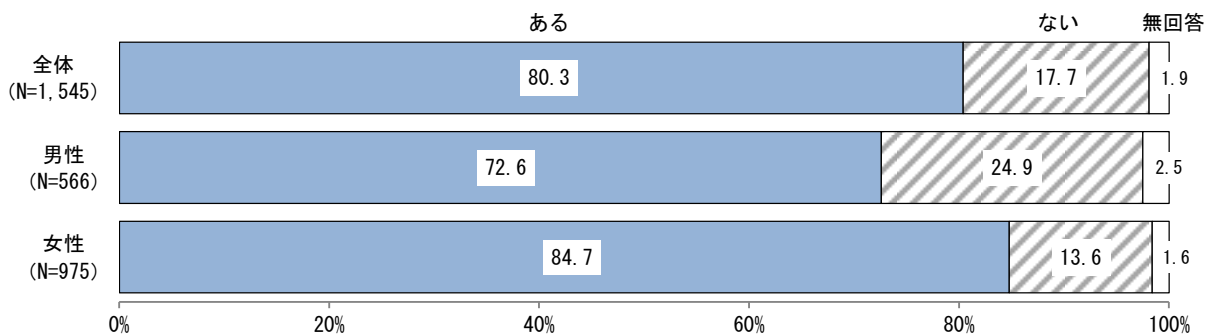


問 19 かかりつけ歯科医の有無

かかりつけ歯科医がいる人（「ある」）は、全体の約8割（80.3%）となっている。

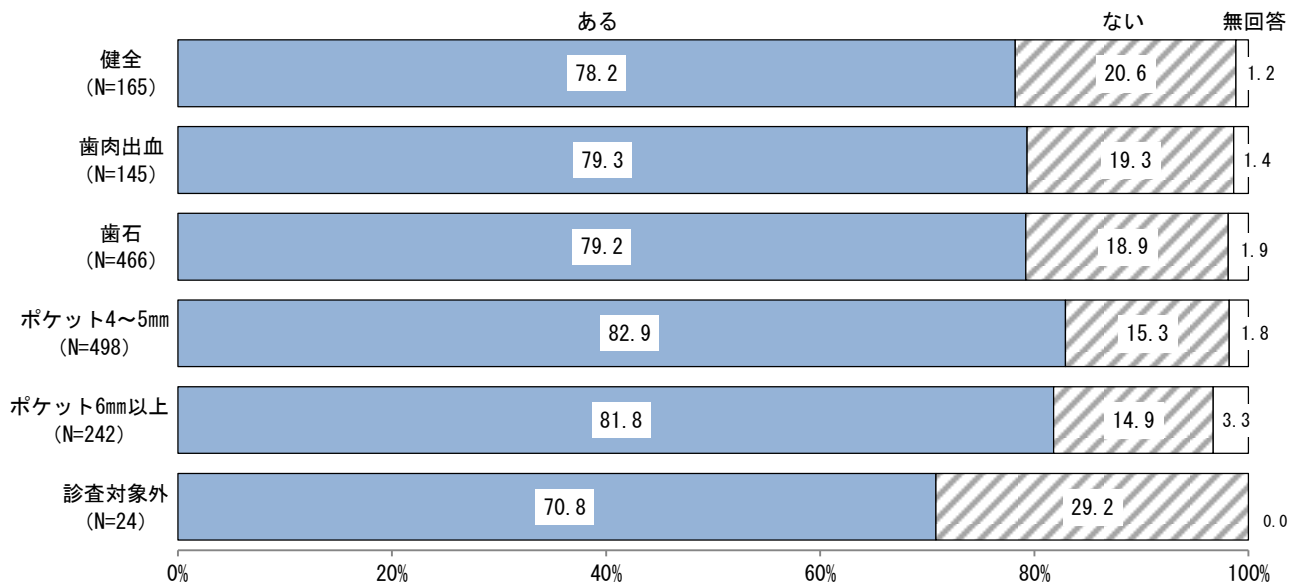
性別にみると、かかりつけ歯科医がいる人（「ある」）は、男性で72.6%に対し、女性では84.7%と12.1ポイント高い。

【図 77 かかりつけ歯科医の有無】



歯肉の状況（CPI コード）別にみると、かかりつけ歯科医がいる人（「ある」）は、“ポケット4～5mm”で82.9%、“ポケット6mm以上”で81.8%と多く、歯肉に炎症所見を有する人で8割台を占めている。

【図 78 歯肉の状況（CPI コード）別 かかりつけ歯科医の有無】

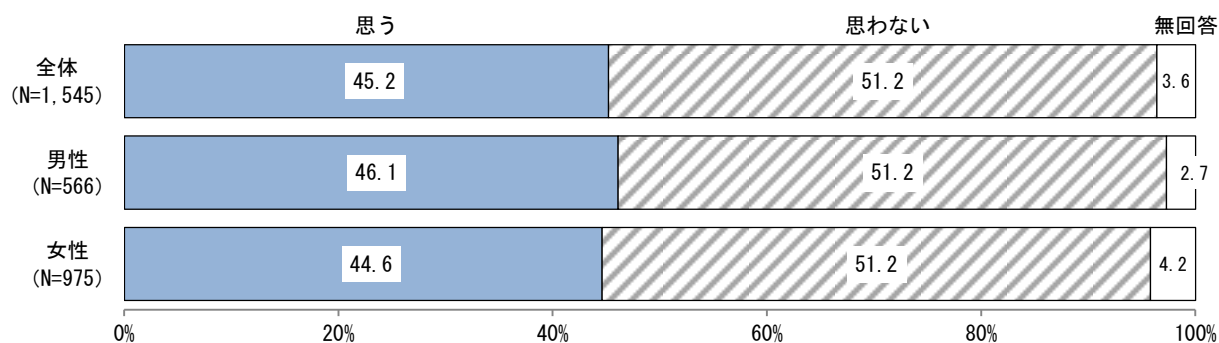


問 20 歯周病の自己認識

自分が歯周病だと思う人は、全体の4割台（45.2%）となっている。

性別にみても、歯周病だと思う人は男性・女性ともに4割台とさほど差はみられない。

【図 79 歯周病の自己認識】



視診判定において歯肉に所見を有する人の歯周病の自己認識としては、“歯周炎あり”で歯周病だと思う割合が6割台（61.6%）と最も多くなっている。

【図 80 歯肉の状況（視診判定）別 歯周病の自己認識】

